

(款)7商工費(項)1商工費(目)2商工振興費(細目)329商工業振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	34 地域性を活かしたモノづくりと新たなサービス創出が活発なまちづくり	平成 28 年度～平成 28 年度	01-07-01-02-329-51
	施策	3401 地域産業の高付加価値化	担当部署	部・課名等 産業振興部商工労働課
事務事業名	商工振興経費(繰越明許費分)		評価責任者・連絡先	課長 城北 博章 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	関係団体及び事業者		
	目的	伊賀市の商工業の振興・発展のため、関係団体や事業者に対し支援を行う。		
	内容	<p>・上野市街地及び地域拠点の個店魅力創出事業補助金 空き店舗等を活用した魅力ある店舗の開業や既存店舗の機能強化に取り組む事業者へ補助金を交付しました。事業の募集にあたっては、広報いが市、ホームページ、商工会議所や商工会会員へのチラシの配布等により周知を行いました。 【空き店舗等活用支援事業】 中心市街地1件、地域拠点等1件 【個店魅力向上事業】 中心市街地1件</p> <p>・伊賀ブランド推進事業費補助金 関係団体で組織する伊賀ブランド推進協議会へ補助金を交付し、伊賀ブランド認定品や認定事業者の価値向上及び販路開拓に繋げました。 ※平成27年度 25事業者の35品を認定 ※平成28年度 25事業者の32品を認定</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	5,190,000円	上野市街地及び地域拠点の個店魅力創出事業補助金 2,190,000円 伊賀ブランド推進事業費補助金 3,000,000円	
	計	5,190,000円		

全体コスト(千円)	事業費	項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	人件費					
		国県支出金			9,000	5,190		(国庫支出金)地方創生加速化交付金
		地方債			0	0		
		その他			0	0		
		一般財源			0	0		
		合計(A)		0	9,000	5,190	0	
	人件費	正規職員	業務量	人	0.60	0.60	人	
			人件費	0	4,675	4,675	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
		小計(B)		0	4,675	4,675	0	
		合計(A+B)		0	13,675	9,865	0	
		市民1人当たりのコスト(円)		0	146	105	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	伊賀ブランド認定品	伊賀ブランドの認定品数(累計)	品	目標			55	
				実績			67	
	指標化できない成果		達成			121.8%		

方向	完了	課題及び改善案	事業者の意欲を高揚させ新たな事業展開の創出を図るため、伊賀ブランド認定品ならびに認定事業者を市内外へ積極的にPRしていく必要があります。 ※本事業は平成29年度においても現年度予算にて継続します。
----	----	---------	---

(款)7商工費(項)1商工費(目)2商工振興費(細目)331企業立地促進経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	35 だれもが働きやすく、働く意欲が持てるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-07-01-02-331-51
	施策	3503 若者の地元雇用に向けた就業支援	担当部署	部・課名等 産業振興部商工労働課
事務事業名	企業立地促進経費		評価責任者・連絡先	課長 城北 博章 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	伊賀市に新規立地もしくは増設した企業		
	目的	企業の立地を促進し、地域雇用の拡大を図る。		
	内容	伊賀市工場誘致条例に規定する奨励措置により、民間遊休地等への企業誘致並びに既存施設での増設等について支援しました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	旅費	265,660円	企業訪問等職員旅費	
	需用費	514,767円	消耗品費等	
	その他	117,840円	通信運搬費、有料道路通行料等	
	負担金、補助及び交付金	127,710,675円	三重県TLO特別会員負担金	300,000円
			用地取得助成金(8件)	97,204,250円
			立地奨励金(4件)	29,126,425円
			雇用促進奨励金(1件、9名)	1,080,000円
	計	128,608,942円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	182,510	130,927	128,609	100,756
		合計(A)	182,510	130,927	128,609	100,756
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.63 人	0.49 人	0.49 人	0.70 人
		人件費	4,717	3,818	3,818	5,489
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人
		人件費				
		小計(B)	4,717	3,818	3,818	5,489
合計(A+B)	187,227	134,745	132,427	106,245		
市民1人当たりのコスト(円)		1,970	1,430	1,405	1,131	

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
指標	雇用促進奨励金の対象人数	人	目標	18	20	95
			実績	10	12	9
指標化できない成果		達成		66.7%	45.0%	

方向	継続	課題及び改善案	市税収入の増強及び若年者の雇用拡大のためにも、企業誘致に適した用地の確保が必要である。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	33	中心市街地と各地域が連携した賑わいあるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-07-01-02-332-51
	施策	3303	個店の機能強化と商店街機能の充実	担当部署	部・課名等
事務事業名	中心市街地等商店街活性化事業		産業振興部商工労働課	課長 城北 博章 0595-22-9669	

事務事業の概要	対象	中心市街地の商店及び商店街、上野商工会議所、まちづくり伊賀上野等																																		
	目的	商店街などの誘客活動を支援することで、中心市街地における歩行者等の通行量を増加させ、にぎわい回復を目指します。																																		
	内容	<p>○各商店街等が実施するにぎわい創出に繋がる事業に対し支援を行いました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 城下町の灯り事業 灯りの城下町・バル事業による商店街のPR・中小小売商業の推進（来場者数：約11,000人） 2. 伊賀上野まちなかゼミナール開催事業 店主の持つ専門知識を伝えることによる商店街（店主）の魅力向上と誘客による活性化 参加（受講）者数：171人、開催店舗数：19事業所 3. 銀座商店街賑わい創出事業 銀座七夕まつり、クリスマス、初えびす等のイベント開催による年間を通じた商店街の賑わい創出 4. 上野中町商店会活性化事業 中町祭り開催による商店街の活性化（来場者数：約480人） 5. 灯りの芭蕉路事業 灯りをテーマにしたイベントの開催による商店会の活性化（来場者数：約1,200人） 6. 空き店舗改装費家賃補助 空き店舗等活用支援事業対象者に対する家賃（最長12ヶ月）補助による商店の定着化・活性化 																																		
事業に要した主な経費など	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:20%;">経費</th> <th style="width:20%;">金額</th> <th colspan="2" style="width:60%;">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助金</td> <td style="text-align: right;">1,315,476円</td> <td>城下町の灯り事業</td> <td style="text-align: right;">250,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>まちゼミ開催事業</td> <td style="text-align: right;">297,752円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>銀座商店街賑わい創出事業</td> <td style="text-align: right;">450,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>上野中町商店会活性化事業</td> <td style="text-align: right;">175,724円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>灯りの芭蕉路事業</td> <td style="text-align: right;">100,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>空き店舗改装家賃補助</td> <td style="text-align: right;">42,000円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">1,315,476円</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>				経費	金額	摘要		補助金	1,315,476円	城下町の灯り事業	250,000円			まちゼミ開催事業	297,752円			銀座商店街賑わい創出事業	450,000円			上野中町商店会活性化事業	175,724円			灯りの芭蕉路事業	100,000円			空き店舗改装家賃補助	42,000円	計	1,315,476円		
経費	金額	摘要																																		
補助金	1,315,476円	城下町の灯り事業	250,000円																																	
		まちゼミ開催事業	297,752円																																	
		銀座商店街賑わい創出事業	450,000円																																	
		上野中町商店会活性化事業	175,724円																																	
		灯りの芭蕉路事業	100,000円																																	
		空き店舗改装家賃補助	42,000円																																	
計	1,315,476円																																			

全体コスト（千円）	事業費	直接事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	2,010	2,092	1,316	2,050	
	合計(A)	2,010	2,092	1,316	2,050			
	人件費	正規職員	業務量	0.32 人	0.32 人	0.32 人	0.35 人	
			人件費	2,396	2,494	2,494	2,745	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		2,396	2,494	2,494	2,745			
合計(A+B)	4,406	4,586	3,810	4,795				
市民1人当たりのコスト(円)		47	49	41	52			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	歩行者通行量	中心市街地における歩行者、自転車の通行量	人	目標	4,000	4,000	4,000
				実績	4,096	4,420	4,827
指標化できない成果			達成	110.5%	120.7%		

方向	継続	課題及び改善案
		中心市街地のにぎわい創出のために、引き続き必要な事業であるため、今後も継続して実施していきます。

(款)7商工費(項)1商工費(目)2商工振興費(細目)333交流促進施設維持管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	721 財政の的確な運営	平成 16 年度～平成 32 年度	01-07-01-02-333-01
	施策	7213 市民の財産として継承する持続可能な公共施設マネジメント		
事務事業名	交流促進施設維持管理経費	担当 部署	部・課名等 産業振興部商工労働課	評価責任者・連絡先 課長 城北 博章 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	道の駅あやま利用者		
	目的	道の駅の利用者に対し、地域情報を提供するとともに、地域産業の振興を図る。		
	内容	<p>阿山交流促進施設(道の駅あやま)の運営、施設及び設備の維持管理を行うため、阿山物産振興協同組合へ指定管理を行いました。</p> <p>【指定管理内容】 道の駅利用者に対し、地域情報や道路情報等を提供するとともに、トイレ等の休憩施設の提供を行いました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	旅費	2,000円		
	修繕料	297,000円	道路舗装修繕工事費	
	委託料	5,000,000円	阿山交流促進施設指定管理料	
	負担金、補助及び交付金	70,000円	中部ブロック「道の駅」連絡会会費	50,000円
			全国「道の駅」連絡会会費	20,000円
	計	5,369,000円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	5,965	5,467	5,369	4,384
		合計(A)	5,965	5,467	5,369	4,384
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.27 人	0.27 人	0.27 人	0.20 人
		人件費	2,022	2,104	2,104	1,569
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人
		人件費				
		小計(B)	2,022	2,104	2,104	1,569
合計(A+B)	7,987	7,571	7,473	5,953		
市民1人当たりのコスト(円)		85	81	80	64	

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
施設利用者数	施設全体の利用者数(推計値) ※物産コーナー利用者×4人	人	目標		240,000	240,000
			実績	245,528	261,072	241,392
指標化できない成果		達成		108.8%	100.6%	

方向	継続	課題及び改善案	道の駅利用者に対し、快適な休憩施設や道路情報の提供のため、今後も継続して実施していく必要があります。
----	----	---------	--

整理番号
346 - 0

決算書頁
275

(款)7商工費(項)1商工費(目)2商工振興費(細目)334産学官連携研究開発拠点運営経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	34	地域性を活かしたモノづくりと新たなサービス創出が活発なまちづくり	平成 21 年度～平成 32 年度	01-07-01-02-334-51
	施策	3401	地域産業の高付加価値化	担当部署	部・課名等
	事務事業名	産学官連携研究開発拠点運営経費		産業振興部商工労働課	評価責任者・連絡先 課長 城北 博章 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	伊賀地域で起業を考えている個人及び2次起業を考えている法人											
	目的	地域資源の活用による地域産業の活性化と新産業の創出											
	内容	<p>○市内外事業者等15者との共同研究を実施したほか、理科教育振興のための出前授業実践など、地域産業の活性化とともに次世代の育成に取り組みました。</p> <p>○小学生を対象としたこども大学を年2回開催し、理科系人材育成に向けた理科実験授業を行いました。 ・第14回:参加人数58名 ・第15回:参加人数57名</p> <p>○IGA地域創業カフェを年2回開催し、創業・企業に向けた情報提供と、創業・起業者間のネットワーク構築を図りました。 ・第5回:参加人数65名 ・第6回:参加人数58名</p> <p>○創業・起業に向けた相談・訪問を529件行いました。</p>											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>984,000円</td> <td>産学官連携研究開発拠点駐車場賃借料</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>18,239,783円</td> <td>産学官連携研究開発拠点運営補助金</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>19,223,783円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	使用料及び賃借料	984,000円	産学官連携研究開発拠点駐車場賃借料	負担金、補助及び交付金	18,239,783円	産学官連携研究開発拠点運営補助金	計	19,223,783円
経費	金額	摘要											
使用料及び賃借料	984,000円	産学官連携研究開発拠点駐車場賃借料											
負担金、補助及び交付金	18,239,783円	産学官連携研究開発拠点運営補助金											
計	19,223,783円												

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	19,984	20,311	19,224	20,230		
	合計(A)	19,984	20,311	19,224	20,230		
人件費	正規職員	業務量	0.37 人	0.49 人	0.49 人	0.20 人	
		人件費	2,771	3,818	3,818	1,569	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	2,771	3,818	3,818	1,569		
	合計(A+B)	22,755	24,129	23,042	21,799		
市民1人当たりのコスト(円)			240	256	245	232	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	共同研究の成立数			件	目標	12	12	12
					実績	13	13	15
	指標化できない成果			達成	108.3%	125.0%		

方向	継続	課題及び改善案	<ul style="list-style-type: none"> ・大学が自然科学・環境だけでなく全学で対応する体制を整えたことを、ゆめテクノ伊賀等とともに市内企業等へ周知させていく必要がある。 ・施設の利用促進と光熱水費等経費節減の効果で決算額が抑えられた。今後も利用促進を図る。
----	----	---------	---

(款)7商工費(項)1商工費(目)3観光費(細目)336観光振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	31 地域資源とおもてなしの心を活かした観光のまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-07-01-03-336-01
	施策	3102 市内全域の魅力アップと「おもてなし」のしくみづくり	担当部署	部・課名等 産業振興部観光戦略課
事務事業名	観光戦略経費			評価責任者・連絡先 課長 小林 康志 0595-22-9670

事務事業の概要	対象	市内、市外及び県外の観光客																			
	目的	個人旅行に対応する、体験、交流メニューや、市内に滞在・周遊してもらえる商品の開発と情報発信を行い、観光客誘客の増加を図る。																			
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 伊賀市の観光資源を活かしたイベント(上野城薪能、城下町のおひなさんなど)を実施しました。 伊賀上野観光協会へ観光案内所業務(ハイトピア伊賀内、公園入り口前)を委託しました。 観光振興事業委託として、パンフレットや情報誌の作成、各種観光キャンペーンやインターネットを利用した情報発信業務など、効率的な観光振興業務を行えるよう伊賀上野観光協会へ委託しました。 伊賀よりみち通信作成協議会に参画、伊賀市から発送されるギフトに同封されるパンフレットを作成し、情報発信を行いました(1,479,000円)。 伊賀上野観光協会にだんじり会館を指定管理として委託しました。施設の運営管理の他、忍者変身処や地場産買物処を併設し、観光案内や拠点としての役割を担っています(14,260,368円)。 伊賀上野NINJAフェスタ実行委員会に委託し、東京(上野恩賜公園)、大阪(天神橋筋商店街)で伊賀上野NINJAフェスタを開催。忍者変身処の開設や物産振興団体による物産展等を行いました。 観光振興ビジョンを実現するため実態調査及び調査に基づく施策提案について近畿大学に委託しました(2,500,000円)。 各観光資源の開発・保存と観光客誘致促進による地域振興を図るため観光協会各支部事業を支援しました。 																			
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>旅費</td> <td>1,157,940円</td> <td>観光キャンペーン等出張旅費</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>40,139,488円</td> <td>観光誘客促進事業委託料 4,500,000円 観光案内所業務委託料 7,754,000円 観光振興事業委託料7,701,000円ほか</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>9,228,869円</td> <td>観光協会支部事業補助金4,865,869円ほか</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>8,141,803円</td> <td>使用料及び賃借料1,714,178円、 積立金3,374,903円ほか</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>58,668,100円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	旅費	1,157,940円	観光キャンペーン等出張旅費	委託料	40,139,488円	観光誘客促進事業委託料 4,500,000円 観光案内所業務委託料 7,754,000円 観光振興事業委託料7,701,000円ほか	負担金、補助及び交付金	9,228,869円	観光協会支部事業補助金4,865,869円ほか	その他経費	8,141,803円	使用料及び賃借料1,714,178円、 積立金3,374,903円ほか	計	58,668,100円			
経費	金額	摘要																			
旅費	1,157,940円	観光キャンペーン等出張旅費																			
委託料	40,139,488円	観光誘客促進事業委託料 4,500,000円 観光案内所業務委託料 7,754,000円 観光振興事業委託料7,701,000円ほか																			
負担金、補助及び交付金	9,228,869円	観光協会支部事業補助金4,865,869円ほか																			
その他経費	8,141,803円	使用料及び賃借料1,714,178円、 積立金3,374,903円ほか																			
計	58,668,100円																				

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	41,860	41,804	3,767	38,000		
	一般財源	7,369	20,735	54,902	18,370		
	合計(A)	49,229	62,539	58,669	62,870		
人件費	正規職員	業務量	1.80 人	1.80 人	1.80 人	1.80 人	
		人件費	13,477	14,024	14,024	14,114	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	13,477	14,024	14,024	14,114		
	合計(A+B)	62,706	76,563	72,693	76,984		
	市民1人当たりのコスト(円)	660	813	772	819		

指標	指標名	指標の説明	単位	年度				
				平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	メディア応報実績	各メディアで伊賀市内の観光資源が取り上げられた回数	件	目標		390	400	400
				実績	391	519	468	
	指標化できない成果	観光関連の経済効果	達成		133.0%	117.0%		

方向	継続	課題及び改善案	観光立市を推進するため、忍者をはじめとした観光コンテンツについて、あらゆるツールを利用して情報発信を行う。

(款)7商工費(項)1商工費(目)3観光費(細目)336観光振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	31 地域資源とおもてなしの心を活かした観光のまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-07-01-03-336-51
	施策	3101 観光・物産情報の発信と、市民ぐるみの誘客とPR	担当部署	部・課名等
事務事業名	地場産業振興事業	産業振興部観光戦略課	評価責任者・連絡先	課長 小林 康志 0595-22-9670

事務事業の概要	対象	特産品生産者、物産振興団体		
	目的	地域物産のPRを行い、販売実績の向上により、業績安定及び地域の雇用増を図る。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 伊賀焼振興協同組合に伊賀焼伝統産業会館及び伊賀・信楽古陶館を指定管理として委託しました。伊賀焼伝統産業会館では、陶器市などのイベントの他、年間を通じて陶芸教室を開催するなど、伊賀焼の普及に努めました。 伊賀市物産協会へ地場産業振興事業を委託。地場産業の振興を図るため、伊賀市物産協会へじばさんまつりのほか、県内外の観光・物産展の出展等、地場産業振興事業を委託しました。 着地型観光として体験プログラムの企画や、日本デザイナー学園とのコラボによる商品企画など、国指定の伝統的工芸品である伊賀焼の振興を図りました。 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	地場産業振興事業委託料	800,000円	じばさんまつり	
	伊賀焼伝統産業会館及び伊賀・信楽古陶館指定管理料	7,457,142円	伊賀焼振興協同組合	
	伝統的工芸品産業振興補助金	560,000円	三重県組紐協同組合・伊賀焼振興協同組合	
	伝統的工芸品産業振興協会負担金	50,000円	(財)伝統的工芸品産業振興協会	
	計	8,867,142円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	1,000	1,000	1,000	1,000
		一般財源	7,948	8,168	7,868	7,868
		合計(A)	8,948	9,168	8,868	8,868
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.39 人	0.39 人	0.50 人	0.50 人
		人件費	2,920	3,039	3,896	3,921
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人
		人件費				
		小計(B)	2,920	3,039	3,896	3,921
合計(A+B)	11,868	12,207	12,764	12,789		
市民1人当たりのコスト(円)		125	130	136	137	

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
指標	物産展・催事の売上高	物産展等での売上高	千円	目標	2,500	2,500	3,000
				実績	3,716	4,254	3,439
指標化できない成果	物産展が要因となった顧客数及び売上	達成		170.0%	137.6%		

方向	継続	課題及び改善案	物産の販売だけでは供給過多の時代には対応できない。物産を利用した体験型の観光プログラムにより誘客を図り、物産の販路拡大を目指したい。
----	----	---------	--

整理番号
349 - 0

決算書頁
275

(款)7商工費(項)1商工費(目)3観光費(細目)336観光振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	31	地域資源とおもてなしの心を活かした観光のまちづくり	平成 23 年度～平成 32 年度	01-07-01-03-336-53
	施策	3101	観光・物産情報の発信と、市民ぐるみの誘客とPR	担当部署	部・課名等
	事務事業名	観光大使活動事業経費		産業振興部観光戦略課	評価責任者・連絡先 課長 小林 康志 0595-22-9670

事務事業の概要	対象	地域内外の観光客		
	目的	多様な情報発信に取り組むことにより、効果的に地域の魅力を伝達する。		
	内容	首都圏や関西圏での観光イベントにおいて、「いが☆グリオ」を観光大使として出演依頼。ステージ出演や名刺を配布するなど伊賀市の観光情報やイベントを紹介し、観光客の誘致促進を図りました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	謝礼	30,000円	いが☆グリオ	
	需用費	31,320円	名刺代	
	計	61,320円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	98	200	62	200	
		合計(A)	98	200	62	200	
	人件費	正規職員	業務量 0.04 人	0.04 人	0.05 人	0.05 人	
			人件費 300	312	390	393	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
			人件費				
			小計(B)	300	312	390	393
		合計(A+B)	398	512	452	593	
		市民1人当たりのコスト(円)	5	6	5	7	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	観光大使に関連した伊賀市の情報発信回数	観光大使に関連した伊賀市の情報発信回数	回	目標		3	3	3
				実績	2	7	3	
指標化できない成果	いが☆グリオ実行委員会が直接受託したゆるキャラショーなどの集客数	達成		100.0%	100.0%			

方向	継続	課題及び改善案	三重県の観光大使との連携などで事業効果を向上させる。
----	----	---------	----------------------------

整理番号
350 - 0

決算書頁
275

(款)7商工費(項)1商工費(目)3観光費(細目)336観光振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	31	地域資源とおもてなしの心を活かした観光のまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-07-01-03-336-54
	施策	3101	観光・物産情報の発信と、市民ぐるみの誘客とPR	担当部署	部・課名等
	事務事業名	観光情報等発信経費		総務部秘書課	評価責任者・連絡先 課長 山本 幸一郎 0595-22-9600

事務事業の概要	対象	国内・外の観光客、食材扱い業者														
	目的	伊賀市の観光地や特産品などの情報を広く発信し、観光客増加、特産品の市外への販路を拡大する。														
	内容	<p>トップセールスによる誘客及び「伊賀市」「伊賀産(いがもの)」のPR活動</p> <p>1. 観光誘客のためのPR活動 「伊賀流忍者」「伊賀上野城」「俳聖松尾芭蕉翁生誕の地」のPR ・海外からの観光誘客、地域振興交流(台湾:台東県、高雄市) ・首都圏(東京恩賜公園)及び大阪(天神橋筋)における「伊賀上野NINJAフェスタ」への誘客活動 ・伊賀流忍者のPR(日本忍者協議会、三重大学伊賀連携フールド) ・テレビやラジオへの出演</p> <p>2. 伊賀産(いがもの)の販売と販路拡大のためのPR活動 「伊賀牛」「伊賀米」「伊賀酒」「伊賀焼」など伊賀の特産品のPR ・海外販路拡大のためのPR(シンガポール) ・首都圏における食材フェア・交流会でのトップセールス ・市外イベントや市外・国外からの表敬訪問者、海外向け番組関係者への記念品の配布</p> <p>3. 地域振興のためのトップセールス ・企業、省庁訪問</p>														
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>旅費</td> <td>902,586円</td> <td>観光誘客PR(台湾・台東県、東京、大阪ほか 計14件) 441,056円 伊賀産の販路拡大等PR(シンガポール、東京ほか 計6件) 326,250円 地域振興(東京、大阪ほか 計4件) 135,280円</td> </tr> <tr> <td>消耗品</td> <td>681,106円</td> <td>記念品購入</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>285,178円</td> <td>手数料、筆耕翻訳料、使用料及び賃借料等</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,868,870円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	旅費	902,586円	観光誘客PR(台湾・台東県、東京、大阪ほか 計14件) 441,056円 伊賀産の販路拡大等PR(シンガポール、東京ほか 計6件) 326,250円 地域振興(東京、大阪ほか 計4件) 135,280円	消耗品	681,106円	記念品購入	その他	285,178円	手数料、筆耕翻訳料、使用料及び賃借料等	計	1,868,870円
経費	金額	摘要														
旅費	902,586円	観光誘客PR(台湾・台東県、東京、大阪ほか 計14件) 441,056円 伊賀産の販路拡大等PR(シンガポール、東京ほか 計6件) 326,250円 地域振興(東京、大阪ほか 計4件) 135,280円														
消耗品	681,106円	記念品購入														
その他	285,178円	手数料、筆耕翻訳料、使用料及び賃借料等														
計	1,868,870円															

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		直接事業費	国県支出金	0	0	0		0
	地方債	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	1,809	2,000	1,869	2,000			
	合計(A)	1,809	2,000	1,869	2,000			
	人件費	正規職員	業務量 0.02 人	0.02 人	0.02 人	0.02 人		
		人件費	150	156	156	157		
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費						
	小計(B)	150	156	156	157			
	合計(A+B)	1,959	2,156	2,025	2,157			
	市民1人当たりのコスト(円)	21	23	22	23			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	パブリシティ回数		マスメディアを活用し、伊賀市と伊賀産品が取り上げられることで、PRされたことになる。	回	目標	25	30	30
					実績	27	27	27
指標化できない成果			達成	108.0%	90.0%			

方向	継続	課題及び改善案	トップセールスに費やす時間に配慮した公務日程(スケジュール調整)を行う。
----	----	---------	--------------------------------------

整理番号
351 - 0

決算書頁
275

(款)7商工費(項)1商工費(目)3観光費(細目)336観光振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	31	地域資源とおもてなしの心を活かした観光のまちづくり	平成 27 年度～平成 32 年度	01-07-01-03-336-56
	施策	3102	市内全域の魅力アップと「おもてなし」のしくみづくり		
	事務事業名	外国人観光客誘客事業		担当 部署	部・課名等 産業振興部観光戦略課 評価責任者・連絡先 課長 小林 康志 0595-22-9670

事務事業の概要	対象	外国人観光客		
	目的	主に「忍者」をテーマにした情報発信を行い、海外からの誘客を図るとともに、看板設置など外国人観光客の受け入れ体制を整備する。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客が頻繁に訪れる、観光案内所、上野市駅、だんじり会館に、公衆Wi-Fiを設置し、利便性を図りました。 外国人観光客の多い上野市駅構内に、多言語用パンフレット台を設置し、受け入れ体制を整備しました。 三重県知事台湾ミッションに同行し、MOUを締結した台東県、及び高雄市を訪問しました。台東県では、今後の交流関係について懇談、高雄市では、三重県主催の「三重ナイト」に出席し、市内の蔵元の日本酒や食材のPRを行いました。(2月9～11日) 		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	旅費	207,292円	台湾ミッション旅費	
	印刷製本費	2,940円	Wi-Fi告知用チラシ	
	通信運搬費	3,330円	Wi-Fi回線	
	公衆Wi-Fi設備設置業務委託料	207,360円	委託先:伊賀上野ケーブルテレビ(株)	
	自動車借上料	11,620円	台湾ミッション自動車借上料	
	物品借上料	4,000円	台湾ミッション「三重ナイト」用	
	備品購入費	54,000円	パンフレット台	
	計	490,542円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	9,923	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	432	2,257	491	1,445	
		合計(A)	10,355	2,257	491	1,445	
	人件費	正規職員	業務量 0.72 人	0.72 人	0.40 人	0.40 人	
			人件費 5,391	5,610	3,117	3,137	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
			人件費				
			小計(B)	5,391	5,610	3,117	3,137
		合計(A+B)	15,746	7,867	3,608	4,582	
		市民1人当たりのコスト(円)	166	84	39	49	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	外国人観光客入込客数	外国人観光客の施設(伊賀流忍者博物館)の入館者	人	目標		20,000	22,000	26,000
				実績	18,181	25,923	26,344	
指標化できない成果	観光関連の経済効果	達成		130.0%	119.7%			

方向	継続	課題及び改善案	アジアからの観光客は増加しているが、欧米へのPRと誘客が課題である。大阪や名古屋、京都といった大都市に長期滞在している外国観光客への情報発信、誘客活動が課題である。
----	----	---------	--

整理番号
352 - 0

決算書頁
277

(款)7商工費(項)1商工費(目)3観光費(細目)336観光振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	31	地域資源とおもてなしの心を活かした観光のまちづくり	平成 28 年度～平成 28 年度	01-07-01-03-336-01
	施策	3102	市内全域の魅力アップと「おもてなし」のしくみづくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	観光戦略経費(繰越明許費分)		産業振興部観光戦略課	評価責任者・連絡先 課長 小林 康志 0595-22-9670

事務事業の概要	対象	市内、市外及び県外の観光客											
	目的	観光資源をPRし、誘客を図る。											
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 既存の観光パンフレットを更新し、伊賀市の観光資源をPRできるパンフレットを制作しました(30,000部)。 忍者を活かした観光振興、地域経済の活性化を図るため、日本忍者協議会協議会に参画し負担金を支出しました。 											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光パンフレット更新制作業務委託料</td> <td>4,040,928円</td> <td>(株)バードデザインハウス 他</td> </tr> <tr> <td>日本忍者協議会負担金</td> <td>5,000,000円</td> <td>日本忍者協議会</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9,040,928円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	観光パンフレット更新制作業務委託料	4,040,928円	(株)バードデザインハウス 他	日本忍者協議会負担金	5,000,000円	日本忍者協議会	計	9,040,928円
経費	金額	摘要											
観光パンフレット更新制作業務委託料	4,040,928円	(株)バードデザインハウス 他											
日本忍者協議会負担金	5,000,000円	日本忍者協議会											
計	9,040,928円												

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金		9,055	9,041	
	地方債		0	0			
	その他		0	0			
	一般財源		0	0			
	合計(A)		0	9,055	9,041	0	
	人件費	正規職員	業務量	0.20 人	0.20 人		
			人件費	0	1,559	1,559	0
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量				
			人件費				
		小計(B)		1,559	1,559	0	
		合計(A+B)		10,614	10,600	0	
		市民1人当たりのコスト(円)		113	113	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	メディア応報実績	各メディアで伊賀市内の観光資源が取り上げられた回数	件	目標		390	400	400
				実績	391	519	468	
指標化できない成果	観光関連の経済効果		達成		133.0%	117.0%		

方向	完了	課題及び改善案
----	----	---------

(款)7商工費(項)1商工費(目)3観光費(細目)336観光振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	31 地域資源とおもてなしの心を活かした観光のまちづくり	平成 28 年度～平成 28 年度	01-07-01-03-336-55
	施策	3101 観光・物産情報の発信と、市民ぐるみの誘客とPR	担当部署	部・課名等
	事務事業名	着地型観光推進事業経費(繰越明許費分)	産業振興部観光戦略課	評価責任者・連絡先 課長 小林 康志 0595-22-9670

事務事業の概要	対象	地域資源、観光商品化、観光客を受け入れようとする市民(団体)														
	目的	地域資源の観光商品化、観光客を受け入れる組織の育成														
	内容	<p>・地域全体で観光客を受け入れる体制作りのため、10月1日～12月4日まで、着地型観光「伊賀ぶらり体験博覧会いがぶら2016」を実施しました。観光事業者だけでなく、商業者、農業者、住民自治協議会やNPO団体など、観光業と直接関係のなかった事業者(団体)にも、おもてなしプログラムを考案いただき、ガイドブック及びWEBサイトに掲載し、観光メニューとして売り出しました。</p> <p>・「伊賀上野城下町のおひなさん」とコラボし、2月18日～3月3日まで、「ひなぶら」を開催しました。秋の「いがぶら」開催以外に公式WEBサイトを活用し、いがぶらを発信する方法を検討しています。</p> <p>○伊賀ぶらり体験博覧会いがぶら2016 プログラム数:112個 参加者数:2,029人(伊賀市内65.8%、三重県内20.0%、県外14.2%)</p> <p>○ひなぶら プログラム数:11個 参加者数:96人(伊賀市内63.0%、三重県内17.8%、県外19.2%)</p>														
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事務補助員保険料</td> <td>430,500円</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>事務補助員賃金</td> <td>2,988,067円</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>いがぶら実行委員会負担金</td> <td>6,343,000円</td> <td>いがぶら実行委員会</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9,761,567円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	事務補助員保険料	430,500円	2人	事務補助員賃金	2,988,067円	2人	いがぶら実行委員会負担金	6,343,000円	いがぶら実行委員会	計	9,761,567円
経費	金額	摘要														
事務補助員保険料	430,500円	2人														
事務補助員賃金	2,988,067円	2人														
いがぶら実行委員会負担金	6,343,000円	いがぶら実行委員会														
計	9,761,567円															

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国庫支出金		9,971	9,762	
	地方債		0	0			
	その他		0	0			
	一般財源		0	0			
	合計(A)		0	9,971	9,762	0	
人件費	正規職員	業務量	人	1.15 人	1.15 人	人	
		人件費	0	8,960	8,960	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)		0	8,960	8,960	0	
合計(A+B)		0	18,931	18,722	0		
市民1人当たりのコスト(円)			0	201	199	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	地域資源の発掘件数	体験プログラムとして掲載した件数	件	目標		100	100	120
				実績		81	123	
指標化できない成果	「いがぶら」をきっかけにリピーターとなった顧客数及び売上	達成		81.0%	123.0%			

方向	完了	課題及び改善案	事業が定着するために、観光客受け入れ事業主体を育成する人材の確保と仕組みが必要である。また、事業主体を民間で行えるように、組織の基盤を安定させる必要がある。
----	----	---------	--

(款)7商工費(項)1商工費(目)3観光費(細目)336観光振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	31	地域資源とおもてなしの心を活かした観光のまちづくり	平成 28 年度～平成 28 年度	01-07-01-03-336-56
	施策	3102	市内全域の魅力アップと「おもてなし」のしくみづくり		
事務事業名	外国人観光客誘客事業(繰越明許費分)		担当部署	部・課名等 産業振興部観光戦略課	
				評価責任者・連絡先 課長 小林 康志 0595-22-9670	

事務事業の概要	対象	外国人観光客		
	目的	主に「忍者」をテーマにした情報発信を行い、海外からの誘客を図るとともに、看板設置など外国人観光客の受け入れ体制を整備する。		
	内容	<p>・外国人観光客向けの多言語観光ホームページのコンテンツを追加しました。</p> <p>・商談会などの外国人観光客誘致や、多言語観光パンフレットの作成を(一社)伊賀上野観光協会に委託しました。</p> <p>・交通事業者と連携した観光発信、観光商品造成、受入れ体制の整備等誘客促進事業として、次の事業を行いました。</p> <p>①忍者プロモーションDVDを製作(委託先:伊賀上野ケーブルテレビ(株))。平成29年4月～6月まで、JAL国際線で放映される予定です。</p> <p>②外国人観光客に対して、旅行ニーズアンケートWEBを製作し、伊賀流忍者博物館、成田空港、京都駅で対面アンケート調査を行いました。</p> <p>③旅行ニーズアンケートで市内の飲食情報が不足していることが判明したことから、(一社)伊賀上野観光協会に委託し外国人向レストランガイドを作成し、受入れ態勢を整備しました。</p> <p>④航空会社と連携した観光PRとして、セントレア空港のJALサクララウンジにかたやき、伊賀酒のふるまいを行いました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	外国人観光客誘致情報発信業務委託料	487,080円	委託先:(一社)伊賀上野観光協会	
	外国人観光客誘客促進事業委託料	1,000,000円	委託先:(一社)伊賀上野観光協会	
	交通事業者連携誘客事業委託料	22,936,382円	委託先:伊賀上野NINJAフェスタ実行委員会ほか	
	計	24,423,462円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金		24,742	24,424	
	地方債		0	0			
	その他		0	0			
	一般財源		0	0			
	合計(A)		0	24,742	24,424	0	
人件費	正規職員	業務量	人	1.05 人	1.05 人	人	
		人件費	0	8,181	8,181	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)		0	8,181	8,181	0	
	合計(A+B)		0	32,923	32,605	0	
	市民1人当たりのコスト(円)		0	350	346	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	外国人観光客入込客数	外国人観光客の施設(伊賀流忍者博物館)の入館者	人	目標		20,000	22,000	26,000
				実績	18,181	25,923	26,344	
指標化できない成果	観光関連の経済効果	達成		129.6%	119.7%			

方向	完了	課題及び改善案	アジアからの観光客は増加しているが、欧米へのPRと誘客が課題である。大阪や名古屋、京都といった大都市に長期滞在している外国観光客への情報発信、誘客活動が課題である。
----	----	---------	--

(款)7商工費(項)1商工費(目)3観光費(細目)337観光施設維持管理事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	31	地域資源とおもてなしの心を活かした観光のまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-07-01-03-337-01
	施策	3101	観光・物産情報の発信と、市民ぐるみの誘客とPR	担当部署	部・課名等
	事務事業名	観光施設維持管理事業		伊賀支所振興課	評価責任者・連絡先 課長 中原 康雅 0595-45-9111

事務事業の概要	対象	観光客																																			
	目的	観光施設の維持管理により、観光客が気持ちよく利用できる環境づくりを行う。																																			
	内容	観光施設の維持管理(草刈、休憩所等の管理、トイレ清掃・浄化槽点検)業務の委託を行いました。 ・余野公園・奥余野森林公園管理業務委託 (委託先:余野公園保勝会、余野公園管理協力会) ・霊山周辺施設の維持管理業務委託 (委託先:霊山保勝会) ・白藤滝周辺施設の維持管理業務委託 (委託先:白藤滝保勝会) ・道路公園管理業務委託 (委託先:出後区、千戸区、畑村区) ・猿蓑塚施設維持管理業務委託 (委託先:上阿波区) ・ふるさと公園維持管理業務委託 (委託先:青山老人クラブ連合会) ・青山高原山頂小屋維持管理委託 (委託先:(公社)伊賀市シルバー人材センター)																																			
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td>1,103,153円</td> <td>消耗品費</td> <td>51,579円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>燃料費</td> <td>55,599円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>光熱水費</td> <td>608,894円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>修繕料</td> <td>387,081円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>876,899円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>12,408,936円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>208,176円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14,597,164円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要		需用費	1,103,153円	消耗品費	51,579円			燃料費	55,599円			光熱水費	608,894円			修繕料	387,081円	役務費	876,899円			委託料	12,408,936円			使用料及び賃借料	208,176円			計	14,597,164円	
経費	金額	摘要																																			
需用費	1,103,153円	消耗品費	51,579円																																		
		燃料費	55,599円																																		
		光熱水費	608,894円																																		
		修繕料	387,081円																																		
役務費	876,899円																																				
委託料	12,408,936円																																				
使用料及び賃借料	208,176円																																				
計	14,597,164円																																				

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	3,260	3,260	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	12,222	11,602	11,338	11,954		
	合計(A)	15,482	14,862	14,598	15,214		
人件費	正規職員	業務量	0.43 人	0.43 人	0.43 人	0.43 人	
		人件費	3,220	3,351	3,351	3,372	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	3,220	3,351	3,351	3,372		
	合計(A+B)	18,702	18,213	17,949	18,586		
	市民1人当たりのコスト(円)	197	194	191	198		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	委託者との運営協議回数		各施設において、委託者と施設運営について協議を行った回数	回	目標	4	4	4
					実績	4	4	4
指標化できない成果	施設の環境整備		達成		100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	現在以上に、住民主体の利活用を活発に高める必要がある。
----	----	---------	-----------------------------

(款)7商工費(項)1商工費(目)3観光費(細目)337観光施設維持管理事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	31 地域資源とおもてなしの心を活かした観光のまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-07-01-03-337-02
	施策	3101 観光・物産情報の発信と、市民ぐるみの誘客とPR	担当部署	部・課名等
事務事業名	東海自然歩道管理経費	伊賀支所振興課	評価責任者・連絡先	課長 中原 康雅 0595-45-9111

事務事業の概要	対象	東海自然歩道		
	目的	東海自然歩道を保全する。		
	内容	<p>県から委託を受けた東海自然歩道区間のパトロールと除草作業について、当該地区に委託を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パトロール業務委託 委託区間53.6km ・清掃草刈業務委託 草刈実施区間25.2km×2巡 ・便所清掃業務 3箇所(浄化槽管理及びし尿汲取りについては業者委託) 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	1,707,784円	東海自然歩道維持管理業務委託料	
			伊賀工区 741,974円	
			阿山工区 148,150円	
			大山田工区 466,470円	
			青山工区 351,190円	
	手数料	201,670円	新大仏寺し尿汲取り業務 201,670円	
	その他事務経費	138,196円		
	計	2,047,850円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	1,707	1,587	1,587	1,587	【国県支出金】 東海自然歩道管理委託金
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	427	719	461	686	
		合計(A)	2,134	2,306	2,048	2,273	
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.36 人	0.36 人	0.36 人	0.36 人	
		人件費	2,696	2,805	2,805	2,823	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	2,696	2,805	2,805	2,823	
合計(A+B)	4,830	5,111	4,853	5,096			
市民1人当たりのコスト(円)		51	55	52	55		

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
パトロール回数	各地区において、巡回パトロールを行った件数	件	目標		4	4
			実績	4	4	4
指標化できない成果	事故防止措置により無事故となった件数	達成		100.0%	100.0%	

方向	改善	課題及び改善案	パトロール、草刈業務などの業務委託は必要であるが、修繕など市が行えない業務についての改善策を県に要望する必要があります。
----	----	---------	--

(款)7商工費(項)1商工費(目)3観光費(細目)337観光施設維持管理事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	31 地域資源とおもてなしの心を活かした観光のまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-07-01-03-337-03
	施策	3101 観光・物産情報の発信と、市民ぐるみの誘客とPR	担当部署	部・課名等
事務事業名	ふるさとの森公園管理費	阿山支所振興課	評価責任者・連絡先	課長 藤林 宏通 0595-43-1544

事務事業の概要	対象	ふるさとの森公園の利用者。		
	目的	施設利用者のニーズに沿った施設管理を行う。		
	内容	<p>・伊賀市による直営管理を行いました。 業務内容:阿山ふるさとの森公園管理条例及び規則に基づく管理業務 施設の管理に関する業務(伊賀市文化都市協会に管理運営委託)</p> <p>・施設の使用許可及び利用料金に関する業務 ・施設の建物及び設備の維持管理に関する業務</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	2,558,679円	管理用消耗品、施設光熱水費等	
	役務費	239,853円	通信運搬費等	
	委託料	8,302,550円	施設管理運営委託料、設備保守委託料等	
	使用料及び賃借料	927,564円	新池使用料、機械器具使用料等	
	工事請負費	777,600円	ロッジ手摺改修工事等	
	備品購入費	236,327円	管理用備品購入	
	計	13,042,573円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	・「その他」財源名称及び歳入金額 ・公園施設使用料 … 7,790,475円 ・売上収入 … 71,364円 ・備品貸付料 … 1,978,810円 合計 9,840,649円	
		地方債	0	0	0		
		その他	0	0	9,840		12,772
		一般財源	2,225	2,693	3,203		0
		合計(A)	2,225	2,693	13,043		12,772
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.30 人	0.30 人	0.60 人	0.50 人	
		人件費	2,247	2,338	4,675	3,921	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	2,247	2,338	4,675	3,921	
合計(A+B)	4,472	5,031	17,718	16,693			
市民1人当たりのコスト(円)		48	54	188	178		

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
観光客入込数	施設を利用した観光客数	人	目標		25,000	23,000	22,000
			実績	25,683	23,293	21,995	
指標化できない成果	施設的环境整備	達成		93.2%	95.6%		

方向	廃止	課題及び改善案	<p>・集客があり、民営化が可能であるため、民間団体への払い下げ、譲渡及び貸与により廃止が公共施設最適化計画の目標である。</p>
----	----	---------	---

整理番号	358 - 0	決算書頁	279
(款)8土木費(項)1土木管理費(目)1土木総務費(細目)339国県土木事業対策経費			

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	42	市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり	平成 27 年度～平成 29 年度	01-08-01-01-339-51
	施策	4201	市内幹線道路・生活道路の整備	担当 部署	部・課名等 建設部公共基盤推進課
事務事業名	県営土木事業負担金		評価責任者・連絡先	課長 小西 康章 0595-43-2326	

事務事業の概要	対象	県営都市計画街路事業計画路線を利用する人及び急傾斜地崩壊対策事業を実施する箇所の受益者		
	目的	計画路線を整備することにより通行がスムーズになり、安心して運転できる。また、急傾斜地崩壊対策事業実施箇所周辺の受益者等の安全性の向上を図る。		
	内容	<p>平成28年度実績</p> <p>都市計画街路事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 伊賀上野橋新都市線(銀座通りハイトピア前)(建物補償) 負担率1/6 伊賀上野橋新都市線(ウォークギャラリー整備事業) 負担率1/6 服部橋新都市線(大関食堂～白鳳高校)(建物補償算定業務) 負担率1/6 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	県営都市計画街路事業負担金	76,669,570円	伊賀上野橋新都市線 (無電柱化推進事業) 12,268,500円 (無電柱化推進事業) 63,915,420円 (ウォークギャラリー整備事業) 166,666円 服部橋新都市線 地方道路整備(街路)事業 318,984円	

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	300	98,100	69,000	29,200	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	69	5,234	7,670	1,634	
	合計(A)	369	103,334	76,670	30,834			
	人件費	正規職員	業務量	0.25 人	0.25 人	0.25 人	0.25 人	
			人件費	1,872	1,948	1,948	1,961	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)	1,872	1,948	1,948	1,961				
合計(A+B)	2,241	105,282	78,618	32,795				
市民1人当たりのコスト(円)		24	1,117	834	349			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	実施箇所	実施箇所/計画箇所	%	目標		4	2	2
				実績	3	4	2	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	急傾斜地崩壊対策事業、急傾斜地災害緊急対策事業は、昨今の記録的豪雨等の気象状況をみるに、その必要性は高まっており、また、都市計画街路事業への要望も高く、事業も現在進行中なので継続といたしたい。
----	----	---------	--

整理番号
359 - 0

決算書頁
281

(款)8土木費(項)1土木管理費(目)1土木総務費(細目)339国県土木事業対策経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	42 市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり	平成 28 年度～平成 28 年度	01-08-01-01-339-51
	施策	4201 市内幹線道路・生活道路の整備	担当部署	部・課名等
	事務事業名	県営土木事業負担金(繰越明許費分)	建設部公共基盤推進課	評価責任者・連絡先 課長 小西 康章 0595-43-2326

事務事業の概要	対象	県営都市計画街路事業計画路線を利用する人及び急傾斜地崩壊対策事業を実施する箇所の受益者		
	目的	計画路線を整備することにより通行がスムーズになり、安心して運転できる。また、急傾斜地崩壊対策事業実施箇所周辺の受益者等の安全性の向上を図る。		
	内容	平成28年度実績 都市計画街路事業 ・服部橋新都市線(大関食堂～白鳳高校)(建物補償算定業務) 負担率1/6		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	県営都市計画街路事業負担金	1,150,425円	服部橋新都市線	

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
全体コスト(千円)	事業費	国県支出金		0	0			
		地方債		1,000	1,000			
		その他		0	0			
		一般財源		151	151			
		合計(A)	0	1,151	1,151		0	
人件費	正規職員	業務量	人	0.00	人		0.00	人
		人件費	0	0	0		0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人		人	
		人件費						
	小計(B)	0	0	0	0			
合計(A+B)	0	1,151	1,151	0				
市民1人当たりのコスト(円)		0	13	13	0			

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
実施箇所	実施箇所/計画箇所	%	目標		4	2
			実績	3	4	2
指標化できない成果		達成		100.0%	100.0%	

方向	完了	課題及び改善案
----	----	---------

整理番号
360 - 0

決算書頁
281

(款)8土木費(項)2道路橋りょう費(目)2道路維持費(細目)341道路維持経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	42	市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり	平成 26 年度～平成 32 年度	01-08-02-02-341-01
	施策	4202	道路環境の維持・向上	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	道路維持経費		建設部建設1課	課長 岩野 庄司 0595-43-2321

事務事業の概要	対象	道路																				
	目的	道路舗装の異常または損傷を早期に発見するとともに、計画的かつ効率的な舗装修繕を実施し、道路利用者の安全かつ円滑な交通を確保する。																				
	内容	道路を常時良好な状態に保つよう、道路舗装及び付属構造物の比較的小規模な損傷箇所について、修繕工事を行います。また、路肩の除草、冬期には融雪剤散布等により道路機能を維持します。 管理延長 L=約2,300km 平成28年度は、409箇所の道路修繕を行いました。また、市道の草刈業務委託及び雪氷委託を実施しました。																				
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td>70,268,585円</td> <td>修繕料(道路小修繕等409件) 58,503,699円 その他 11,764,886円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>97,054,871円</td> <td>道路維持管理業務101件、草刈業務81件等</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>9,293,400円</td> <td>側溝、横断管、路肩補修4件、舗装補修等3件</td> </tr> <tr> <td>原材料費</td> <td>27,171,669円</td> <td>生コン454㎡、切込砕石894.51㎡、常温合材44.09t等</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>1,834,088円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>205,622,613円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	需用費	70,268,585円	修繕料(道路小修繕等409件) 58,503,699円 その他 11,764,886円	委託料	97,054,871円	道路維持管理業務101件、草刈業務81件等	工事請負費	9,293,400円	側溝、横断管、路肩補修4件、舗装補修等3件	原材料費	27,171,669円	生コン454㎡、切込砕石894.51㎡、常温合材44.09t等	その他経費	1,834,088円		計	205,622,613円
経費	金額	摘要																				
需用費	70,268,585円	修繕料(道路小修繕等409件) 58,503,699円 その他 11,764,886円																				
委託料	97,054,871円	道路維持管理業務101件、草刈業務81件等																				
工事請負費	9,293,400円	側溝、横断管、路肩補修4件、舗装補修等3件																				
原材料費	27,171,669円	生コン454㎡、切込砕石894.51㎡、常温合材44.09t等																				
その他経費	1,834,088円																					
計	205,622,613円																					

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
	地方債	1,700	0	0	0		
	その他	0	50,000	0	50,000		
	一般財源	202,865	131,710	205,623	130,870		
	合計(A)	204,565	181,710	205,623	180,870		
人件費	正規職員	業務量	8.65 人	8.65 人	9.77 人	10.26 人	
		人件費	64,763	67,393	76,119	80,449	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	64,763	67,393	76,119	80,449		
	合計(A+B)	269,328	249,103	281,742	261,319		
	市民1人当たりのコスト(円)	2,834	2,643	2,989	2,780		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	道路瑕疵による保険申請件数	申請件数	件	目標		0	0	0
				実績	10	1	1	
指標化できない成果			達成					

方向	継続	課題及び改善案	人件費や材料費が高騰するなか、昨年度並みの維持管理業務が履行出来ないため、業務内容の見直しに努めます。
----	----	---------	---

整理番号
361 - 0

決算書頁
283

(款)8土木費(項)2道路橋りょう費(目)3道路新設改良費(細目)343臨時地方道整備事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	42	市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-08-02-03-343-51
	施策	4201	市内幹線道路・生活道路の整備	担当部署	部・課名等
	事務事業名	臨時地方道整備事業	建設部建設1課	評価責任者・連絡先	課長 岩野 庄司 0595-43-2321

事務事業の概要	対象	市道利用者											
	目的	生活道路を人や車が安全に移動することが出来るよう整備する。											
	内容	集落内道路の安心・安全を図るため、道路改良3箇所、舗装改修2箇所、舗装新設1箇所実施しました。											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>3,282,595円</td> <td>市道花之木古山神戸線測量設計業務委託外2件 3,045,716円 市道愛田山畑1号線外1線用地測量業務委託 236,879円</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>10,542,000円</td> <td>市道山花池尻線舗装新設工事 1,231,200円 市道愛田山畑1号線他1線道路改良工事(2工区)外3件 7,840,800円 市道中山山下出線道路改良工事 1,470,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>13,824,595円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	3,282,595円	市道花之木古山神戸線測量設計業務委託外2件 3,045,716円 市道愛田山畑1号線外1線用地測量業務委託 236,879円	工事請負費	10,542,000円	市道山花池尻線舗装新設工事 1,231,200円 市道愛田山畑1号線他1線道路改良工事(2工区)外3件 7,840,800円 市道中山山下出線道路改良工事 1,470,000円	計	13,824,595円
経費	金額	摘要											
委託料	3,282,595円	市道花之木古山神戸線測量設計業務委託外2件 3,045,716円 市道愛田山畑1号線外1線用地測量業務委託 236,879円											
工事請負費	10,542,000円	市道山花池尻線舗装新設工事 1,231,200円 市道愛田山畑1号線他1線道路改良工事(2工区)外3件 7,840,800円 市道中山山下出線道路改良工事 1,470,000円											
計	13,824,595円												

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
	地方債	19,300	16,600	10,100	6,700		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	2,797	2,805	3,725	400		
	合計(A)	22,097	19,405	13,825	7,100		
人件費	正規職員	業務量	0.80 人	0.80 人	1.14 人	0.54 人	
		人件費	5,990	6,233	8,882	4,235	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	5,990	6,233	8,882	4,235		
	合計(A+B)	28,087	25,638	22,707	11,335		
	市民1人当たりのコスト(円)	296	272	241	121		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	市道改良率	道路整備による市道改良率	%	目標		26.66	26.66	26.66
				実績	26.60	26.66	26.66	
	指標化できない成果		達成		100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	当市については、県下でも道路改良率が低いため、今後、交通量や通学路等により優先順位をつけて整備を図ります。
----	----	---------	---

整理番号
362 - 0

決算書頁
283

(款)8土木費(項)2道路橋りょう費(目)3道路新設改良費(細目)343臨時地方道整備事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	42	市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり	平成 27 年度～平成 28 年度	01-08-02-03-343-51
	施策	4201	市内幹線道路・生活道路の整備	担当部署	部・課名等
	事務事業名	臨時地方道整備事業(繰越明許費分)		建設部建設1課	評価責任者・連絡先 課長 岩野 庄司 0595-43-2321

事務事業の概要	対象	市道利用者								
	目的	生活道路を人や車が安全に移動することが出来るよう整備する。								
	内容	未登記道路解消のための用地測量と市道新設改良事業用地取得を実施しました。								
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>2,953,249円</td> <td>市道下相場鋼ヶ峯線未登記処理に伴う測量業務委託 A=8,195㎡</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,953,249円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	2,953,249円	市道下相場鋼ヶ峯線未登記処理に伴う測量業務委託 A=8,195㎡	計	2,953,249円
経費	金額	摘要								
委託料	2,953,249円	市道下相場鋼ヶ峯線未登記処理に伴う測量業務委託 A=8,195㎡								
計	2,953,249円									

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金		0	0	
		地方債		0	0		
		その他		0	0		
		一般財源		3,529	2,954		
		合計(A)	0	3,529	2,954	0	
	人件費	正規職員	業務量	人	0.03 人	0.03 人	人
人件費			0	234	234	0	
臨時・嘱託・再雇用職員		業務量	人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	0	234	234	0	
		合計(A+B)	0	3,763	3,188	0	
		市民1人当たりのコスト(円)	0	40	34	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	市道改良率	道路整備による市道改良率	%	目標		26.66	26.66	26.66
				実績	26.60	26.66	26.66	
	指標化できない成果		達成		100.0%	100.0%		

方向	完了	課題及び改善案	当市については、県下でも道路改良率が低いため、今後、交通量や通学路等により優先順位をつけて整備を図ります。
----	----	---------	---

整理番号
363 - 0

決算書頁
283

(款)8土木費(項)2道路橋りょう費(目)3道路新設改良費(細目)344社会資本整備総合交付金事業

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	42	市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり	平成	年度～平成 32 年度	01-08-02-03-344-56
	施策	4201	市内幹線道路・生活道路の整備	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	佐那具千歳線道路改良事業			建設部建設1課	課長 岩野 庄司 0595-43-2321

事務事業の概要	対象	市道佐那具千歳線										
	目的	通行がスムーズになり、地域住民の生活道路及び物流の輸送道路として利用しやすくなるよう整備する。										
	内容	<p>市道佐那具千歳線は、国道25号から市道千歳千戸線を経て、国道163号に至る広域幹線道路であり、名阪国道伊賀一之宮ICへのアクセス道路として位置付けされています。しかし、現在の道路状況は、幅員が非常に狭小(幅員2.5m)で、前方の見通しも非常に悪く、普通車同士の対向及び大型車輛の通行が不可能であるため、安全かつ良好な交通に支障をきたしています。そのため、本路線の整備により、通過交通の円滑化と周辺施設である工業団地、JR佐那具駅及び病院等へのアクセス道路として、利便性の向上を図ります。</p> <p>事業概要 延長L=950m、幅員W=7.0m</p> <p>平成28年度は、用地買収1筆を実施しました。</p>										
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公有財産購入費</td> <td>8,697,000円</td> <td rowspan="2">用地取得費1件(共有名義2名) A=223m2</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>191,233円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8,888,233円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	公有財産購入費	8,697,000円	用地取得費1件(共有名義2名) A=223m2	その他経費	191,233円	計	8,888,233円
経費	金額	摘要										
公有財産購入費	8,697,000円	用地取得費1件(共有名義2名) A=223m2										
その他経費	191,233円											
計	8,888,233円											

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)																				
		直接事業費	<table border="1"> <tr><td>国県支出金</td><td></td><td>9,900</td><td>4,730</td><td>17,000</td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td><td>8,100</td><td>3,900</td><td>13,900</td></tr> <tr><td>その他</td><td></td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td></td><td>450</td><td>259</td><td>820</td></tr> <tr><td>合計(A)</td><td>0</td><td>18,450</td><td>8,889</td><td>31,720</td></tr> </table>	国県支出金		9,900		4,730	17,000	地方債		8,100	3,900	13,900	その他		0	0	0	一般財源		450	259	820	合計(A)	0	18,450
国県支出金		9,900	4,730	17,000																							
地方債		8,100	3,900	13,900																							
その他		0	0	0																							
一般財源		450	259	820																							
合計(A)	0	18,450	8,889	31,720																							
人件費	正規職員	業務量	人	0.20 人	0.20 人	0.30 人																					
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人																					
		人件費	0	1,559	1,559	2,353																					
	小計(B)	0	1,559	1,559	2,353																						
合計(A+B)	0	20,009	10,448	34,073																							
市民1人当たりのコスト(円)		0	213	111	363																						

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	事業の進捗率	道路整備による作業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標		75	77	81
				実績		75	77	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	継続 課題及び改善案	国庫補助金の申請額に対する交付率が低いいため、事業の進捗に影響が懸念される。今後、早期に事業完了するようコスト削減に努めつつ、国への要望を強く行い、財源確保に努めます。
----	----------------------	--

整理番号
364 - 0

決算書頁
283

(款)8土木費(項)2道路橋りょう費(目)3道路新設改良費(細目)344社会資本整備総合交付金事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	42	市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり	平成 22 年度～平成 30 年度	01-08-02-03-344-69
	施策	4201	市内幹線道路・生活道路の整備	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	ゆめが丘摺見線道路改良事業		建設部建設1課	課長 岩野 庄司 0595-43-2321

事務事業の概要	対象	ゆめが丘摺見線道路														
	目的	通行がスムーズになり、地域住民の生活道路として利用しやすくなるよう整備する。														
	内容	<p>市道四十九ゆめが丘線を起点とし、市道の喰代比自岐下川原線(広域農道)につながり、ゆめが丘住宅地と摺見、青山地区を結ぶ幹線道路を新設整備します。 事業概要 延長L=1,400m、幅員W=12.0m</p> <p>平成28年度は、道路舗装工事L=1,400mを実施しました。</p>														
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事請負費</td> <td>81,555,120円</td> <td>舗装新設工事(H28-1)L=780m 46,128,960円 舗装新設工事(H28-2)L=1,400m 33,150,600円 交通安全施設整備工事 2,275,560円</td> </tr> <tr> <td>補償、補填及び賠償金</td> <td>9,020,025円</td> <td>市道ゆめが丘摺見線獣害柵補償 L=2.1km</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>2,394,765円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>92,969,910円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	工事請負費	81,555,120円	舗装新設工事(H28-1)L=780m 46,128,960円 舗装新設工事(H28-2)L=1,400m 33,150,600円 交通安全施設整備工事 2,275,560円	補償、補填及び賠償金	9,020,025円	市道ゆめが丘摺見線獣害柵補償 L=2.1km	その他経費	2,394,765円		計	92,969,910円
経費	金額	摘要														
工事請負費	81,555,120円	舗装新設工事(H28-1)L=780m 46,128,960円 舗装新設工事(H28-2)L=1,400m 33,150,600円 交通安全施設整備工事 2,275,560円														
補償、補填及び賠償金	9,020,025円	市道ゆめが丘摺見線獣害柵補償 L=2.1km														
その他経費	2,394,765円															
計	92,969,910円															

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国庫支出金	40,865	59,900	
	地方債	33,500	49,200	40,900	9,900		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,806	2,797	2,370	525		
	合計(A)	76,171	111,897	92,970	22,525		
人件費	正規職員	業務量	0.62 人	0.62 人	0.41 人	0.49 人	
		人件費	4,642	4,831	3,195	3,843	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	4,642	4,831	3,195	3,843		
	合計(A+B)	80,813	116,728	96,165	26,368		
	市民1人当たりのコスト(円)	851	1,239	1,021	281		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	事業の進捗率	道路整備による作業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標		87	92	95
				実績	77	87	94	
指標化できない成果			達成		100.0%	102.0%		

方向	<p>継続</p> <p>課題及び改善案</p> <p>国庫補助金の交付率が低いいため、当初の事業完了年度が見込めなくなった。沿道利用計画に基づき、関係課と調整の上、財源確保に努め、早期完了を図ります。</p>
----	--

整理番号
365 - 0

決算書頁
283

(款)8土木費(項)2道路橋りょう費(目)3道路新設改良費(細目)344社会資本整備総合交付金事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	42	市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり	平成 18 年度～平成 29 年度	01-08-02-03-344-76
	施策	4201	市内幹線道路・生活道路の整備	担当 部署	部・課名等
	事務事業名	伊勢路とがの奥鹿野線道路改良事業		建設部建設2課	評価責任者・連絡先 課長 辻村 武臣 0595-43-2328

事務事業の概要	対象	市道利用者														
	目的	安全で円滑な道路通行を確保することで、生活道路としての機能向上を図る。														
	内容	<p>【事業概要】 奥鹿野集落と国道165号を結ぶ重要な生活道路で、安全で円滑な道路交通の確保を図るため、未改良区間について路肩及び路面排水施設を整備します。</p> <p>【工事概要】 延長L=1,890m、幅員W=4.0m</p> <p>【平成28年度事業内容】 延長L=325mの区間において、路肩整備工事を行いました。</p>														
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>432,000円</td> <td>支障木伐採業務委託</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>19,599,840円</td> <td>路肩整備工事</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>448,208円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>20,480,048円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	432,000円	支障木伐採業務委託	工事請負費	19,599,840円	路肩整備工事	その他	448,208円		計	20,480,048円
経費	金額	摘要														
委託料	432,000円	支障木伐採業務委託														
工事請負費	19,599,840円	路肩整備工事														
その他	448,208円															
計	20,480,048円															

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	11,000	11,000	11,000	
	地方債	9,200	9,500	9,400	14,100		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	66	0	81	50		
	合計(A)	20,266	20,500	20,481	30,650		
	人件費	正規職員	業務量 0.57 人	0.57 人	0.51 人	0.56 人	
		人件費	4,268	4,441	3,974	4,391	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	4,268	4,441	3,974	4,391		
	合計(A+B)	24,534	24,941	24,455	35,041		
	市民1人当たりのコスト(円)	259	265	260	373		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	事業の進捗率	道路整備による作業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標		52	71	100
				実績	33	52	71	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	<p>継続</p> <p>課題及び改善案 事業用地の承諾を得られていない地権者について、早期に事業用地の承諾をいただけるよう、交渉作業を進める。 また、承諾を得られない場合の整備手法や今後の対応策について、地元と協議を行い、方向性を定める必要がある。</p>
----	--

(款)8土木費(項)2道路橋りょう費(目)3道路新設改良費(細目)344社会資本整備総合交付金事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	42 市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり	平成 26 年度～平成 32 年度	01-08-02-03-344-77
	施策	4201 市内幹線道路・生活道路の整備	担当 部署	部・課名等 建設部建設1課
事務事業名	西明寺緑ヶ丘線道路改良事業		評価責任者・連絡先 課長 岩野 庄司 0595-43-2321	

事務事業の概要	対象	西明寺緑ヶ丘線道路		
	目的	通行がスムーズになり、地域住民の生活道路及び物流の輸送道路として利用しやすくなるよう整備する。		
	内容	<p>国道163号線と市道荒木木興線(緑ヶ丘地内)を接続する重要な幹線道路であり、旧上野東部地域の南北を連絡する幹線道路として機能の整備を図ります。</p> <p>事業概要 延長L=1,100m、幅員W=12.0m</p> <p>平成28年度は、道路改良工事L=120m、道路舗装工事L=560mを実施しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	1,689,228円	産業廃棄物成分分析業務外1件	
	工事請負費	101,567,320円	道路改良工事(H28-1)外1件L=120m 37,370,800円 舗装新設工事(H28-1)外3件L=1,089m 64,196,520円	
	公有財産購入費	12,992,678円	用地取得費2件 A=3,404.24㎡	
	その他経費	2,696,489円		
	計	118,945,715円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国庫支出金	89,055	122,100	63,167	33,000	・社会資本整備総合交付金 ・道路橋りょう整備事業
		地方債	73,800	100,100	51,200	26,600	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	7,859	9,159	4,579	3,976	
		合計(A)	170,714	231,359	118,946	63,576	
事業費	人件費	正規職員	業務量 1.04 人	1.04 人	0.70 人	0.63 人	
		人件費	7,787	8,103	5,454	4,940	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	7,787	8,103	5,454	4,940	
合計(A+B)	178,501	239,462	124,400	68,516			
市民1人当たりのコスト(円)		1,878	2,541	1,320	729		

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業の進捗率	道路整備による作業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標		53	61
			実績	16	53	64
指標化できない成果		達成		100.0%	104.9%	

方向	充実	課題及び改善案	国庫補助金の申請額に対する交付率が低いいため、事業の進捗に影響が懸念されるが、消防署の緊急出動ルートとしても早期完成が望まれているため、コスト縮減に努め財源確保のための要望を強く行います。
----	----	---------	--

(款)8土木費(項)2道路橋りょう費(目)3道路新設改良費(細目)344社会資本整備総合交付金事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	42 市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり	平成 26 年度～平成 32 年度	01-08-02-03-344-78
	施策	4201 市内幹線道路・生活道路の整備	担当 部署	部・課名等 建設部建設1課
事務事業名	依那古友生線他1線道路改良事業		評価責任者・連絡先 課長 岩野 庄司 0595-43-2321	

事務事業の概要	対象	依那古友生線他1線道路		
	目的	通行がスムーズになり、地域住民の生活道路及び物流の輸送道路として利用しやすくなるよう整備する。		
	内容	<p>農免道路からゆめが丘住宅地南西端へ通じる舗装幅員3mの見通しの悪い狭小な道路であり、事故が多発しています。対面通行が出来るような整備を行い、安全・安心に通行出来るよう整備します。 事業概要 延長L=780m、幅員W=7.0m</p> <p>平成28年度は、道路改良工事L=26mを実施しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	工事請負費	35,961,840円	道路改良工事 L=26m	
	その他経費	733,566円		
	計	36,695,406円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	12,870	56,600	19,745	26,400	・社会資本整備総合交付金 ・道路橋りょう整備事業	
		地方債	10,400	46,500	15,700	22,500		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	630	2,575	1,251	1,450		
		合計(A)	23,900	105,675	36,696	50,350		
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.59 人	0.80 人	0.49 人	0.55 人		
		人件費	4,418	6,233	3,818	4,313		
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人		人
		人件費						
		小計(B)	4,418	6,233	3,818	4,313		
合計(A+B)	28,318	111,908	40,514	54,663				
市民1人当たりのコスト(円)		298	1,188	430	582			

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業の進捗率	道路整備による作業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標		10	18
			実績	7	10	20
指標化できない成果		達成		100.0%	111.1%	

方向	継続	課題及び改善案	用地買収が必要となることから、事業計画に合わせ地権者交渉を円滑に進め、鋭意用地取得に努めます。
----	----	---------	---

整理番号
368 - 0

決算書頁
283

(款)8土木費(項)2道路橋りょう費(目)3道路新設改良費(細目)344社会資本整備総合交付金事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	42	市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり	平成 26 年度～平成 29 年度	01-08-02-03-344-80
	施策	4201	市内幹線道路・生活道路の整備	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	岡田大沢線他1線道路改良事業		建設部建設2課	課長 辻村 武臣 0595-43-2328

事務事業の概要	対象	市道利用者																		
	目的	安全で円滑な道路通行を確保することで、生活道路としての機能向上を図る。																		
	内容	<p>【事業概要】 国道165号を起点とし隣接する柏尾地内へ連絡する道路と伊賀コリドールロードにつながる岡田大沢線は、幅員狭小で車両の対向に支障を来しているため、道路の拡幅工事を行います。</p> <p>【工事概要】 延長L=320m 幅員W=4.0m</p> <p>【平成28年度事業概要】 用地買収及び一部改良工事(側溝工事L=21m)を行いました。</p>																		
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公有財産購入費</td> <td>3,667,062円</td> <td>道路改良工事に伴う用地取得</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>346,680円</td> <td>土地鑑定評価業務他</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>1,289,520円</td> <td>道路改良工事</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>20,948円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5,324,210円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	公有財産購入費	3,667,062円	道路改良工事に伴う用地取得	委託料	346,680円	土地鑑定評価業務他	工事請負費	1,289,520円	道路改良工事	その他	20,948円		計	5,324,210円	
経費	金額	摘要																		
公有財産購入費	3,667,062円	道路改良工事に伴う用地取得																		
委託料	346,680円	土地鑑定評価業務他																		
工事請負費	1,289,520円	道路改良工事																		
その他	20,948円																			
計	5,324,210円																			

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	2,700	2,750	
	地方債	0	2,500	2,400	15,300		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	0	175	175	850		
	合計(A)	0	5,375	5,325	34,850		
人件費	正規職員	業務量	人	0.51 人	0.51 人	0.59 人	
		人件費	0	3,974	3,974	4,627	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	0	3,974	3,974	4,627		
	合計(A+B)	0	9,349	9,299	39,477		
	市民1人当たりのコスト(円)	0	100	99	420		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	事業の進捗率	道路整備による作業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標		0	23	100
				実績	12	0	23	
指標化できない成果			達成		0.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	平成29年に事業完成できるよう、予算を確保すると共に、早期完了を行う。
----	----	---------	-------------------------------------

整理番号
369 - 0

決算書頁
283

(款)8土木費(項)2道路橋りょう費(目)3道路新設改良費(細目)344社会資本整備総合交付金事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	42	市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり	平成 26 年度～平成 32 年度	01-08-02-03-344-82
	施策	4202	道路環境の維持・向上	担当部署	部・課名等
	事務事業名	舗装修繕事業	建設部建設1課	評価責任者・連絡先	課長 岩野 庄司 0595-43-2321

事務事業の概要	対象	二車線道路及び緊急輸送道路														
	目的	管理する道路舗装の実態を把握し、異常または損傷を早期に発見するとともに計画的かつ効率的な舗装修繕を実施し道路利用者の安全かつ円滑な交通を確保する。														
	内容	<p>市が管理する市道の中で、二車線道路及び緊急輸送道路において舗装の破損が著しい路線について、路面性状調査を実施し調査結果に基づき計画的に舗装修繕を行います。</p> <p>事業概要 延長L=2, 500m</p> <p>平成28年度は、舗装補修工事8件、L=1, 065mを実施しました。</p>														
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>39,960円</td> <td>国土調査多角点復元測量業務委託</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>57,527,920円</td> <td>市道喰代比自岐下川原線舗装修繕工事外3件舗装工L=743m 37,488,520円 市道阿保青山線舗装修繕工事(その2)外2件舗装工L=322m 20,039,400円</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>1,299,904円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>58,867,784円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	39,960円	国土調査多角点復元測量業務委託	工事請負費	57,527,920円	市道喰代比自岐下川原線舗装修繕工事外3件舗装工L=743m 37,488,520円 市道阿保青山線舗装修繕工事(その2)外2件舗装工L=322m 20,039,400円	その他経費	1,299,904円		計	58,867,784円
経費	金額	摘要														
委託料	39,960円	国土調査多角点復元測量業務委託														
工事請負費	57,527,920円	市道喰代比自岐下川原線舗装修繕工事外3件舗装工L=743m 37,488,520円 市道阿保青山線舗装修繕工事(その2)外2件舗装工L=322m 20,039,400円														
その他経費	1,299,904円															
計	58,867,784円															

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	28,500	11,000	31,641	
	地方債	16,200	9,000	25,600	22,700		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	8,445	500	1,627	1,425		
	合計(A)	53,145	20,500	58,868	52,125		
人件費	正規職員	業務量	1.07 人	1.07 人	1.25 人	1.06 人	
		人件費	8,012	8,337	9,739	8,312	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	8,012	8,337	9,739	8,312		
	合計(A+B)	61,157	28,837	68,607	60,437		
	市民1人当たりのコスト(円)	644	306	728	643		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	事業の進捗率	道路整備による作業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標		34	37	55
				実績	4	34	37	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	管内の幹線道路については、舗装路面の荒廃が著しく通行に支障をきたす箇所が数多く見られます。緊急性により交通量の高い主要道路から修繕工事を実施し、円滑に通行が図れるよう計画します。
----	----	---------	---

整理番号
370 - 0

決算書頁
283

(款)8土木費(項)2道路橋りょう費(目)3道路新設改良費(細目)344社会資本整備総合交付金事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	42	市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり	平成 28 年度～平成 30 年度	01-08-02-03-344-84
	施策	4201	市内幹線道路・生活道路の整備	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	大野木白樫線道路改良事業		建設部建設1課	課長 岩野 庄司 0595-43-2321

事務事業の概要	対象	大野木白樫線										
	目的	通行がスムーズになり、地域住民の生活道路として利用しやすくなるよう整備する。										
	内容	<p>市道大野木白樫線は、全長L=3.7kmで国道25号を起点とし法花地区を縦貫して県道上野南山城線に繋がる路線です。</p> <p>この路線については、法花地区の生活道路となっており、路線バスやスクールバスのルートにもなっています。また、沿道には非鉄金属製品を扱う企業の倉庫があり大型トラックの往来が多いです。この路線については平成3年度から断続的に整備を行っていますが、起点付近ではボトルネックとなっています。このため、乗用車同士の離合も出来ない幅員に加えて、大型トラックやバスの往来も多いため交通に支障をきたしていることから、ボトルネックを解消するため当事業にて整備を行い、安全・安心に通行できるようにします。</p> <p>事業概要 延長L=120m、幅員W=5.0m</p> <p>平成28年度は、測量業務1式を実施しました。</p>										
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>1,603,800円</td> <td rowspan="2">市道大野木白樫線測量業務委託</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>40,956円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,644,756円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	1,603,800円	市道大野木白樫線測量業務委託	その他経費	40,956円	計	1,644,756円
経費	金額	摘要										
委託料	1,603,800円	市道大野木白樫線測量業務委託										
その他経費	40,956円											
計	1,644,756円											

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金		3,300	880	
	地方債		2,600	700	1,800		
	その他		0	0	0		
	一般財源		200	65	100		
	合計(A)		0	6,100	1,645	4,100	
人件費	正規職員	業務量	人	0.18 人	0.18 人	0.23 人	
		人件費	0	1,403	1,403	1,804	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)		0	1,403	1,403	1,804	
	合計(A+B)		0	7,503	3,048	5,904	
	市民1人当たりのコスト(円)		0	80	33	63	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	事業の進捗率	道路整備による作業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標			11	35
				実績			11	
指標化できない成果			達成			100.0%		

方向	<p>継続</p> <p>課題及び改善案</p> <p>国庫補助金の交付率が低いため、事業の進捗に影響が懸念される。今後、早期に事業完了するよう国庫補助金の要望を強く行います。</p>
----	---

整理番号
371 - 0

決算書頁
283

(款)8土木費(項)2道路橋りょう費(目)3道路新設改良費(細目)344社会資本整備総合交付金事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	42	市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり	平成 27 年度～平成 28 年度	01-08-02-03-344-77
	施策	4201	市内幹線道路・生活道路の整備	担当部署	部・課名等
	事務事業名	西明寺緑ヶ丘線道路改良事業(繰越明許費分)		建設部建設1課	評価責任者・連絡先 課長 岩野 庄司 0595-43-2321

事務事業の概要	対象	西明寺緑ヶ丘線道路														
	目的	通行がスムーズになり、地域住民の生活道路及び物流の輸送道路として利用しやすくなるよう整備する。														
	内容	国道163号線と市道荒木木興線(緑ヶ丘地内)を接続する重要な幹線道路であり、旧上野東部地域の南北を連絡する幹線道路として機能の整備を図ります。 事業概要 延長L=1,100m、幅員W=12.0m 平成28年度は、産業廃棄物処理、物件移転補償、舗装新設工事L=30m、を実施しました。														
		事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>20,318,040円</td> <td>産業廃棄物処理業務委託外1件 2808.38t、1,510m³</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>7,428,000円</td> <td>舗装新設工事(H28-1)L=30m 3,270,000円 その他2件(仮舗装工事外1件) 4,158,000円</td> </tr> <tr> <td>補償、補填及び賠償金</td> <td>41,942,344円</td> <td>物件移転補償 建物、工作物、立木等</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>69,688,384円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	20,318,040円	産業廃棄物処理業務委託外1件 2808.38t、1,510m ³	工事請負費	7,428,000円	舗装新設工事(H28-1)L=30m 3,270,000円 その他2件(仮舗装工事外1件) 4,158,000円	補償、補填及び賠償金	41,942,344円	物件移転補償 建物、工作物、立木等	計
経費	金額	摘要														
委託料	20,318,040円	産業廃棄物処理業務委託外1件 2808.38t、1,510m ³														
工事請負費	7,428,000円	舗装新設工事(H28-1)L=30m 3,270,000円 その他2件(仮舗装工事外1件) 4,158,000円														
補償、補填及び賠償金	41,942,344円	物件移転補償 建物、工作物、立木等														
計	69,688,384円															

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金		24,860	24,866	
	地方債		19,300	23,200			
	その他		0	0			
	一般財源		56,053	21,623			
	合計(A)		0	100,213	69,689	0	
人件費	正規職員	業務量	人	0.32	0.32	人	
		人件費	0	2,494	2,494	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)		0	2,494	2,494	0	
	合計(A+B)		0	102,707	72,183	0	
市民1人当たりのコスト(円)			0	1,090	766	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	事業の進捗率	道路整備による作業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標		53	61	73
				実績	16	53	64	
指標化できない成果			達成		100.0%	104.9%		

方向	完了	課題及び改善案	国庫補助金の申請額に対する交付率が低いため、事業の進捗に影響が懸念されるが、消防署の緊急出動ルートとしても早期完成が望まれているため、コスト縮減に努め財源確保のための要望を強く行います。
----	----	---------	---

(款)8土木費(項)2道路橋りょう費(目)3道路新設改良費(細目)344社会資本整備総合交付金事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目		
	政策	42	市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり	平成 27 年度～平成 28 年度	01-08-02-03-344-82	
	施策	4202	道路環境の維持・向上	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	舗装修繕事業(繰越明許費分)		建設部建設1課	課長 岩野 庄司	0595-43-2321

事務事業の概要	対象	二車線道路及び緊急輸送道路														
	目的	管理する道路舗装の実態を把握し、異常または損傷を早期に発見するとともに計画的かつ効率的な舗装修繕を実施し道路利用者の安全かつ円滑な交通を確保する。														
	内容	<p>市が管理する市道の中で、二車線道路及び緊急輸送道路において舗装の破損が著しい路線について、路面性状調査を実施し調査結果に基づき計画的に舗装修繕を行います。</p> <p>事業概要 延長L=2, 500m 平成28年度は、舗装補修工事L=230mを実施しました。</p>														
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>216,000円</td> <td>国土調査多角点復元測量(その3)業務委託</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>8,866,000円</td> <td>市道喰代比自岐下川原線舗装修繕工事L=230m</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>140,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9,222,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	216,000円	国土調査多角点復元測量(その3)業務委託	工事請負費	8,866,000円	市道喰代比自岐下川原線舗装修繕工事L=230m	その他経費	140,000円		計	9,222,000円
経費	金額	摘要														
委託料	216,000円	国土調査多角点復元測量(その3)業務委託														
工事請負費	8,866,000円	市道喰代比自岐下川原線舗装修繕工事L=230m														
その他経費	140,000円															
計	9,222,000円															

全体コスト(千円)	事業費	項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金			4,900	4,995	
	地方債			4,100	3,800			
	その他			0	0			
	一般財源			222	427			
	合計(A)			0	9,222	9,222	0	
人件費	正規職員	業務量	人	0.23	人	0.23	人	
		人件費	円	0	1,792	1,792	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人					
		人件費	円					
	小計(B)			0	1,792	1,792	0	
	合計(A+B)			0	11,014	11,014	0	
市民1人当たりのコスト(円)				0	117	117	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	事業の進捗率	道路整備による作業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標		34	37	55
				実績	4	34	37	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	完了	課題及び改善案	管内の幹線道路については、舗装路面の荒廃が著しく通行に支障をきたす箇所が数多く見られます。緊急性により交通量の高い主要道路から修繕工事を実施し、円滑に通行が図れるよう計画します。
----	----	---------	---

整理番号
373 - 0

決算書頁
283

(款)8土木費(項)2道路橋りょう費(目)3道路新設改良費(細目)908市単道路改良事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	42	市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり	平成 27 年度～平成 28 年度	01-08-02-03-908-73
	施策	4201	市内幹線道路・生活道路の整備	担当 部署	部・課名等 建設部建設2課
	事務事業名	川西大山田線排水施設整備事業		評価責任者・連絡先 課長 辻村 武臣 0595-43-2328	

事務事業の概要	対象	市道利用者															
	目的	安全で円滑な道路通行を確保することで、生活道路としての機能向上を図る。															
	内容	<p>【事業概要】 名阪国道壬生野ICと国道163号線を結ぶ1級市道で、大雨により雨水が集中する箇所が頻繁に冠水する状況であるため雨水排水路の整備を行いました。</p> <p>【工事概要】 HPφ 1000mm L=90m プレハブ型水路W=1,200mm L=40m 総延長L=130m</p> <p>【H28年度事業概要】 排水施設整備工事L=62mを行いました。</p>															
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事請負費</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>排水施設工事</td> <td>5,461,080円</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>排水施設工事に伴う舗装工事</td> <td>4,030,560円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9,491,640円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	工事請負費			排水施設工事	5,461,080円	2件	排水施設工事に伴う舗装工事	4,030,560円		計	9,491,640円	
経費	金額	摘要															
工事請負費																	
排水施設工事	5,461,080円	2件															
排水施設工事に伴う舗装工事	4,030,560円																
計	9,491,640円																

全体コスト(千円)	事業費	項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
		直接事業費	国県支出金		0	0	0			道路橋りょう整備事業
			地方債		3,500	12,000	9,000			
			その他		0	0	0			
			一般財源		351	700	492			
	合計(A)		3,851	12,700	9,492	0				
	人件費	正規職員	業務量	0.48 人	0.50 人	0.50 人				
			人件費	3,594	3,896	3,896	0			
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人			
			人件費							
小計(B)		3,594	3,896	3,896	0					
合計(A+B)		7,445	16,596	13,388	0					
市民1人当たりのコスト(円)				79	177	143	0			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	事業の進捗状況	道路整備による作業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標		15	100	
				実績		15	100	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	完了	課題及び改善案
----	----	---------

(款)8土木費(項)2道路橋りょう費(目)3道路新設改良費(細目)908市単道路改良事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	42 市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり	平成 27 年度～平成 28 年度	01-08-02-03-908-74
	施策	4202 道路環境の維持・向上	担当 部署	部・課名等 建設部建設2課
事務事業名	別府中島中道線道路改良事業		評価責任者・連絡先 課長 辻村 武臣 0595-43-2328	

事務事業の概要	対象	市道利用者		
	目的	安全で円滑な道路通行を確保することで、生活道路としての機能向上を図る。		
	内容	<p>【事業概要】 別府地内の生活道路で、幅員狭小で日常の通行に支障を来たしているため、道路の拡幅を行いました。</p> <p>【工事概要】 延長L=66.0m 幅員W=4.0m</p> <p>【平成28年度の事業内容】 延長L=66mの区間について、舗装工事を行いました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助金及び交付金	384,480円	水道部舗装工事と合併施工	
	計	384,480円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	3,100	1,700	300			
	その他	0	0	0			
	一般財源	308	100	85			
	合計(A)	3,408	1,800	385	0		
人件費	正規職員	業務量	0.27 人	0.27 人	0.13 人	人	
		人件費	2,022	2,104	1,013	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	2,022	2,104	1,013	0		
	合計(A+B)	5,430	3,904	1,398	0		
	市民1人当たりのコスト(円)	58	42	15	0		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	事業の進捗状況	道路整備による作業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標		65	100	
				実績		65	100	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	完了	課題及び改善案	
----	----	---------	--

(款)8土木費(項)2道路橋りょう費(目)3道路新設改良費(細目)908市単道路改良事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	42 市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり	平成 28 年度～平成 29 年度	01-08-02-03-908-75
	施策	4201 市内幹線道路・生活道路の整備	担当 部署	部・課名等 建設部建設1課
事務事業名	西岡線道路改良事業		評価責任者・連絡先 課長 岩野 庄司 0595-43-2321	

事務事業の概要	対象	市道西岡線		
	目的	通行がスムーズになり、地域住民の生活道路として利用しやすくなるよう整備する。		
	内容	<p>当該路線は、木根地区に通じる主要な生活道路であり交通量も多い路線であるが、幅員狭小であり、自動車の対向が難しい状況であり、地区住民が日常に不便をきたしている状況にあります。今回、道路路側整備工事を行い、道路幅員を拡幅し、安心安全な環境整備をします。</p> <p>事業概要 計画延長L=125m、幅員 W=4.0m</p> <p>平成28年度は、道路改良工事L=74.9mを実施しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	工事請負費	14,073,480円	市道西岡線道路改良工事(I期)L=74.9m	
	計	14,073,480円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金		0	0		
		地方債		13,700	13,300		13,900
		その他		0	0		0
		一般財源		800	774		800
		合計(A)	0	14,500	14,074		14,700
人件費	正規職員	業務量	人	0.22 人	0.22 人		0.23 人
		人件費	0	1,715	1,715		1,804
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人		人
		人件費					
	小計(B)	0	1,715	1,715	1,804		
合計(A+B)	0	16,215	15,789	16,504			
市民1人当たりのコスト(円)		0	172	168	176		

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業の進捗率	道路整備による作業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標		48	100
			実績		48	
指標化できない成果		達成			100.0%	

方向	継続	課題及び改善案	農業関係者を始め、地区と通行止め等について綿密に調整を行い、滞りなく事業を進める。
----	----	---------	---

(款)8土木費(項)2道路橋りょう費(目)3道路新設改良費(細目)908市単道路改良事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	42 市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり	平成 27 年度～平成 28 年度	01-08-02-03-908-73
	施策	4201 市内幹線道路・生活道路の整備	担当部署	部・課名等
事務事業名	川西大山田線排水施設整備事業(繰越明許費分)	建設部建設2課	評価責任者・連絡先	課長 辻村 武臣 0595-43-2328

事務事業の概要	対象	市道川西大山田線利用者		
	目的	安全で円滑な道路通行を確保することで、生活道路としての機能向上を図る。		
	内容	<p>【事業概要】 名阪国道壬生野ICと国道163号線を結ぶ1級市道で、大雨により雨水が集中する箇所が頻繁に冠水する状況であるため雨水排水路の整備を行いました。</p> <p>【工事概要】 HPφ 1000mm L=90m プレハブ型水路W=1,200mm L=40m 総延長L=130m</p> <p>【H28年度事業概要】 用地を取得し、延長L=68mの区間において、排水施設整備工事を行いました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	公有財産購入費	768,000円	排水施設整備に伴う用地取得	
	工事請負費	7,121,000円	排水施設整備工事	
	計	7,889,000円		

全体コスト(千円)	事業費	項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	人件費					
		国県支出金			0	0		
		地方債			7,400	5,200		
		その他			0	0		
		一般財源			489	2,689		
		合計(A)		0	7,889	7,889	0	
	人件費	正規職員	業務量	人	0.12	0.12	人	
			人件費		0	935	935	0
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人				人
			人件費					
		小計(B)		0	935	935	0	
		合計(A+B)		0	8,824	8,824	0	
		市民1人当たりのコスト(円)		0	94	94	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	事業の進捗状況	道路整備による作業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標		15	100	
				実績		15	100	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	完了	課題及び改善案
----	----	---------

(款)8土木費(項)2道路橋りょう費(目)4橋りょう維持費(細目)344社会資本整備総合交付金事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	42	市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり	平成 24 年度～平成 32 年度	01-08-02-04-344-81
	施策	4202	道路環境の維持・向上	担当部署	部・課名等
	事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業	建設部建設1課	評価責任者・連絡先	課長 岩野 庄司 0595-43-2321

事務事業の概要	対象	市道に架かる全橋梁														
	目的	今後老朽化する道路橋の急速な増大に対応するため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、道路ネットワークの安全性・信頼性の確保に努める。														
	内容	<p>橋長15m以上の橋梁は260橋、15m未満の橋梁は1403橋あり、本市の幹線道路及び生活道路に架かる重要な橋梁であるため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき修繕に緊急を要する、橋長15m以上の橋梁3橋について、損傷、劣化等が見受けられる箇所を修繕し、コスト縮減及び安全・安心な道路空間の整備を図るものです。</p> <p>平成28年度は、西条橋の一部の修繕工事、山田橋橋脚根固工事、及び407橋の橋梁点検業務を実施しました。</p>														
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託費</td> <td>51,905,880円</td> <td>橋梁点検業務委託(その1)外3件 橋梁点検N=407橋 山田橋橋梁修繕工事件う設計業務委託 設計業務 一式</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>53,946,000円</td> <td>西条橋橋梁修繕工事 3径間 L=27.5m 32,732,640円 山田橋橋梁修繕工事 橋脚根固 1橋脚 17,076,960円 その他1件 4,136,400円</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>1,174,094円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>107,025,974円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託費	51,905,880円	橋梁点検業務委託(その1)外3件 橋梁点検N=407橋 山田橋橋梁修繕工事件う設計業務委託 設計業務 一式	工事請負費	53,946,000円	西条橋橋梁修繕工事 3径間 L=27.5m 32,732,640円 山田橋橋梁修繕工事 橋脚根固 1橋脚 17,076,960円 その他1件 4,136,400円	その他経費	1,174,094円		計	107,025,974円
経費	金額	摘要														
委託費	51,905,880円	橋梁点検業務委託(その1)外3件 橋梁点検N=407橋 山田橋橋梁修繕工事件う設計業務委託 設計業務 一式														
工事請負費	53,946,000円	西条橋橋梁修繕工事 3径間 L=27.5m 32,732,640円 山田橋橋梁修繕工事 橋脚根固 1橋脚 17,076,960円 その他1件 4,136,400円														
その他経費	1,174,094円															
計	107,025,974円															

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	72,490	0	58,091	
	地方債	39,200	0	25,100	26,500		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	21,872	0	23,835	14,920		
	合計(A)	133,562	0	107,026	89,220		
	人件費	正規職員	業務量 0.40 人	人	1.28 人	0.77 人	
		人件費	2,995	0	9,973	6,038	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	2,995	0	9,973	6,038	
		合計(A+B)	136,557	0	116,999	95,258	
		市民1人当たりのコスト(円)	1,437	0	1,242	1,014	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	事業の進捗率	橋梁修繕による作業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標		43	67	100
				実績	4	43	68	
指標化できない成果			達成		100.0%	101.0%		

方向	継続	<p>課題及び改善案</p> <p>今後、老朽化する橋梁が急速に増加するため、安全・安心な道路空間を確保する必要から、5カ年で1663橋の点検を行い、その結果に基づき、橋梁長寿命化修繕計画を策定することと定められており、平成28年度までに約870橋の点検を実施しました。それらの財源については、起債充当が出来ない部分もあり、コスト縮減を図り、財源確保に努めます。</p>
----	----	---

整理番号
378 - 0

決算書頁
285

(款)8土木費(項)2道路橋りょう費(目)4橋りょう維持費(細目)348橋梁維持補修事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	42 市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり	平成 26 年度～平成 32 年度	01-08-02-04-348-01
	施策	4202 道路環境の維持・向上	担当部署	部・課名等
	事務事業名	橋梁維持補修事業	建設部建設1課	評価責任者・連絡先 課長 岩野 庄司 0595-43-2321

事務事業の概要	対象	橋長15m未満の橋梁														
	目的	高齢化橋梁が増加している中で、長寿命化計画に計画されていない橋(15m未満)の補修を実施し、道路利用者の安全かつ円滑な交通を確保する。														
	内容	橋梁維持のため、高欄等の補修を行います。 平成28年度は、橋梁の補修(修繕・塗装等)7箇所、防護柵設置工事等8箇所を実施しました。														
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td>1,222,128円</td> <td>修繕料(橋梁修繕2件、その他5件)</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>940,680円</td> <td>枅川下橋撤去測量業務外2件</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>1,995,840円</td> <td>防護柵設置工事5件、その他3件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,158,648円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	需用費	1,222,128円	修繕料(橋梁修繕2件、その他5件)	委託料	940,680円	枅川下橋撤去測量業務外2件	工事請負費	1,995,840円	防護柵設置工事5件、その他3件	計	4,158,648円
経費	金額	摘要														
需用費	1,222,128円	修繕料(橋梁修繕2件、その他5件)														
委託料	940,680円	枅川下橋撤去測量業務外2件														
工事請負費	1,995,840円	防護柵設置工事5件、その他3件														
計	4,158,648円															

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		その他	0	0	0		
		一般財源	5,303	3,500	4,159		13,140
		合計(A)	5,303	3,500	4,159		13,140
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.59 人	0.59 人	0.47 人	0.39 人	
		人件費	4,418	4,597	3,662	3,058	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	4,418	4,597	3,662	3,058	
合計(A+B)	9,721	8,097	7,821	16,198			
市民1人当たりのコスト(円)		103	86	83	173		

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
補修箇所	補修箇所数	箇所	目標		13	10
			実績	14	10	15
指標化できない成果		達成		77.0%	150.0%	

方向	継続	課題及び改善案	河川内の工事については、原則、漁期(4月～10月)外の工期とされているため、関係機関との緊密な調整を図り、予定工期内の工事完了を行います。また、橋梁修繕については国の交付金や起債といった財源確保に努めます。
----	----	---------	---

整理番号	(款)8土木費(項)2道路橋りょう費(目)5交通安全施設整備事業費(細目)349交通安全施設維持修繕経費	決算書頁
379 - 0		285

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	42 市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり	平成 26 年度～平成 32 年度	01-08-02-05-349-51
	施策	4202 道路環境の維持・向上	担当部署	部・課名等
事務事業名	交通安全施設維持修繕経費	建設部建設1課	評価責任者・連絡先	課長 岩野 庄司 0595-43-2321

事務事業の概要	対象	交通安全施設		
	目的	市民を交通事故から守り、また、安全かつ円滑な交通の確保に資することを目的とした各種交通安全施設の維持管理を行う。		
	内容	カーブミラー及びガードレール、区画線等の交通安全施設の新設及び修繕を行います。 平成28年度は、交通安全施設設置及び修繕件数(カーブミラー・ガードレール・区画線等)130箇所を実施しました。		
事業に要した主な経費など		経費	金額	摘要
		需用費	10,557,514円	修繕料(防護柵10件、道路反射鏡17件、道路照明24件、その他54件)
		委託料	299,160円	市道荒内広岡線樹木伐採業務
		工事請負費	6,917,940円	防護柵1件、道路反射鏡2件、その他22件
		原材料費	30,240円	ロードリングコーン10台
	計	17,804,854円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	17,983	17,885	17,805	14,012	
	合計(A)	17,983	17,885	17,805	14,012			
	人件費	正規職員	業務量	1.47 人	1.47 人	1.25 人	1.16 人	
			人件費	11,006	11,453	9,739	9,096	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		11,006	11,453	9,739	9,096			
合計(A+B)	28,989	29,338	27,544	23,108				
市民1人当たりのコスト(円)			305	312	293	246		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	交通事故件数	交通事故の年度件数(人身事故) 平成28年1月～平成28年12月	件	目標		400	400
				実績	412	446	270
指標化できない成果			達成		89.6%	148.1%	

方向	継続	課題及び改善案	道路利用者の交通安全に対する、多様なニーズに対応するため、交通事故多発箇所の抑止については、公安委員会等の指導を受け、適切な措置を行い、事故減少を図ります。
----	----	---------	--

(款)8土木費(項)3河川費(目)2直轄管理河川改修対策事業費(細目)280事務管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	21 自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	平成 26 年度～平成 32 年度	01-08-03-02-280-01
	施策	2109 河川環境の保全・整備	担当部署	部・課名等
事務事業名	事務管理経費	建設部建設1課	評価責任者・連絡先	課長 岩野 庄司 0595-43-2321

事務事業の概要	対象	内水による浸水被害箇所		
	目的	内水が起因する浸水被害の軽減		
	内容	<p>小田地区内水排水対策として、ポンプ施設を増強し、三田地区、及び島ヶ原地区でポンプ施設の供用を開始しました。</p> <p>小田排水機場増補改良 排水ポンプφ250mm 6基 発電機 1基 圧送管敷設工事 1式</p> <p>三田地区内水排水対策として排水ポンプ施設を設置 排水ポンプφ250mm 6基 発電機 1基 圧送管敷設工事 1式</p> <p>島ヶ原地区小狭間川に係る内水排水対策として排水ポンプ施設を設置 排水ポンプφ250mm 2基 圧送管敷設工事 1式</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	6,673,074円	小田地区内往古川流域内水排水対策調査業務外11件	
	工事請負費	63,097,292円	小田排水機場排水ポンプ設置工事外3件(ポンプ操作盤N=3基)	35,334,360円
			三田地区圧送管設置工事外1件(圧送管設置工事 一式)	17,967,960円
			その他19件	9,794,972円
	備品購入費	22,631,832円	三田排水路及び小田地区排水ポンプ用発電機購入外5件	
	その他経費	1,975,053円		
	計	94,377,251円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	・河川施設整備事業	
		地方債	24,700	94,900	86,000		
		その他	0	0	0		
		一般財源	5,492	9,007	8,378		4,785
		合計(A)	30,192	103,907	94,378		4,785
事業費	人件費	正規職員	業務量 1.39 人	1.39 人	1.17 人	0.99 人	
		人件費	10,407	10,830	9,116	7,763	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	10,407	10,830	9,116	7,763	
合計(A+B)	40,599	114,737	103,494	12,548			
市民1人当たりのコスト(円)		428	1,218	1,098	134		

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
指標	内水排水施設の整備率	%	目標		57	100
			実績	29	57	100
指標化できない成果		達成		100.0%	100.0%	

方向	継続	課題及び改善案	平成28年度においてハード面の内水排水対策が大きく前進したため、今後の維持管理手法についてもコスト節減に向けて更なる検討が必要なため、地元協議を進めます。
----	----	---------	---

整理番号
381 - 0

決算書頁
287

(款)8土木費(項)3河川費(目)3準用河川改修対策費(細目)355準用河川管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	21	自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-08-03-03-355-03
	施策	2109	河川環境の保全・整備	担当部署	部・課名等
	事務事業名	青山工業団地調整池管理業務経費	建設部建設2課	評価責任者・連絡先	課長 辻村 武臣 0595-43-2328

事務事業の概要	対象	青山工業団地調整池										
	目的	調整池を保全し、機能を十分に発揮させる。										
	内容	<p>【事業概要】 青山工業団地の調整池について適切に維持管理します。</p> <p>【平成28年度事業内容】 調整池の除草作業を行いました。</p>										
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>745,200円</td> <td rowspan="2">除草業務委託</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>33,573円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>778,773円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	745,200円	除草業務委託	その他	33,573円	計	778,773円
経費	金額	摘要										
委託料	745,200円	除草業務委託										
その他	33,573円											
計	778,773円											

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	2,175	2,221	779	126		
	一般財源	0	0	0	0		
	合計(A)	2,175	2,221	779	126		
人件費	正規職員	業務量	0.17 人	0.17 人	0.21 人	0.15 人	
		人件費	1,273	1,325	1,637	1,177	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	1,273	1,325	1,637	1,177		
	合計(A+B)	3,448	3,546	2,416	1,303		
		市民1人当たりのコスト(円)	37	38	26	14	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	苦情件数	調整池の雑草に関する苦情件数	箇所	目標		0	0	0
				実績	0	0	0	
	指標化できない成果		達成		100.0%	100.0%		

方向	縮小	課題及び改善案	今後は、施設の維持管理に影響のない範囲で、除草回数や範囲等を見直すことで、経費節減に努める必要がある。
----	----	---------	---

(款)8土木費(項)3河川費(目)3準用河川改修対策費(細目)355準用河川管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	21 自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-08-03-03-355-04
	施策	2109 河川環境の保全・整備	担当部署	部・課名等
事務事業名	河川維持経費	伊賀支所振興課	評価責任者・連絡先	課長 中原 康雅 0595-45-9111

事務事業の概要	対象	伊賀支所管内の準用河川		
	目的	準用河川を維持管理し、環境を保全する。		
	内容	伊賀支所管内の準用河川において、河川環境を守り、自然災害や万が一の事故に備えるため、河川周辺の草刈りを地域集落へ委託しました。また、草刈りの燃料を支給しました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	燃料費	8,500円	準用河川草刈燃料費支給 (支給先:山出区)	8,500円
	委託料	82,200円	準用河川井戸川草刈業務委託 (委託先:川東区)	82,200円
	計	90,700円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	102	103	91	101	
		合計(A)	102	103	91	101	
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.04 人	0.04 人	0.04 人	0.04 人	
		人件費	300	312	312	314	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	300	312	312	314	
合計(A+B)	402	415	403	415			
市民1人当たりのコスト(円)		5	5	5	5		

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
実施率	実施面積/必要面積	%	目標	100	100	100
			実績	100	100	100
指標化できない成果		達成		100.0%	100.0%	

方向	継続	課題及び改善案	定期的な草刈りを実施することが河川の環境を守るためには不可欠であり、今後も地域集落で草刈りを継続いただけるかが課題です。
----	----	---------	--

整理番号
383 - 0

決算書頁
287

(款)8土木費(項)3河川費(目)3準用河川改修対策費(細目)355準用河川管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	21 自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	平成 26 年度～平成 32 年度	01-08-03-03-355-05
	施策	2109 河川環境の保全・整備	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	調整池管理業務経費	建設部建設1課	課長 岩野 庄司 0595-43-2321

事務事業の概要	対象	調整池																											
	目的	調整池を保全し、円滑に機能を発揮させる。																											
	内容	<p>15箇所の調整池の維持管理で、特に草刈業務を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜ヶ丘(荒木)・ハイツ芭蕉A(千歳)・ハイツ芭蕉B(千歳)・東高倉ニュー青葉台(東高倉) ・佐那具ニュータウン(佐那具)・上野ニュータウン(長田)・上野陽光台(守田町)・緑ヶ丘南ニュータウン(下友生) ・桐ヶ丘団地(桐ヶ丘)3箇所・川上集団移転地(川上)・グリーンタウン虹が丘(甲野)・大澤団地(千戸) ・東山タウン(川合) 																											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td>528,098円</td> <td>修繕料 5件</td> <td>508,140円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他</td> <td>19,958円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>170,260円</td> <td>賠償責任保険料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>2,081,960円</td> <td>調整池草刈清掃業務委託外8件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>積立金</td> <td>4,372円</td> <td>住宅団地等調整池管理基金積立金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,784,690円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要		需用費	528,098円	修繕料 5件	508,140円			その他	19,958円	役務費	170,260円	賠償責任保険料		委託料	2,081,960円	調整池草刈清掃業務委託外8件		積立金	4,372円	住宅団地等調整池管理基金積立金		計	2,784,690円	
経費	金額	摘要																											
需用費	528,098円	修繕料 5件	508,140円																										
		その他	19,958円																										
役務費	170,260円	賠償責任保険料																											
委託料	2,081,960円	調整池草刈清掃業務委託外8件																											
積立金	4,372円	住宅団地等調整池管理基金積立金																											
計	2,784,690円																												

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	2,445	2,880	2,492	2,341		
	一般財源	319	384	293	366		
	合計(A)	2,764	3,264	2,785	2,707		
人件費	正規職員	業務量	0.65 人	0.65 人	0.52 人	0.46 人	
		人件費	4,867	5,065	4,052	3,607	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	4,867	5,065	4,052	3,607		
	合計(A+B)	7,631	8,329	6,837	6,314		
市民1人当たりのコスト(円)			81	89	73	68	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	管理箇所	管理箇所数	箇所	目標		15	15	15
				実績	15	15	15	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	各施設とも設置年次から、かなりの期間を経過していることから、今後、老朽化から修繕費等に多額な費用が必要となるため、財源確保が必要となります。

(款)8土木費(項)3河川費(目)3準用河川改修対策費(細目)632準用河川改修事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	21 自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	平成 26 年度～平成 32 年度	01-08-03-03-632-51
	施策	2109 河川環境の保全・整備	担当部署	部・課名等
事務事業名	臨時河川等整備事業	建設部建設1課	評価責任者・連絡先	課長 岩野 庄司 0595-43-2321

事務事業の概要	対象	河川		
	目的	降雨時における浸水被害を解消する。		
	内容	洪水による氾濫防止や河川環境の保全を図ります。 平成28年度は、河川浚渫を6河川実施しました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	1,346,039円	修繕料(小田川護岸復旧工事外4件)	
	工事請負費	6,861,240円	準用河川奥村谷川浚渫工事外5件浚渫工事1式	6,698,160円
			その他2件	163,080円
	計	8,207,279円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	11,001	4,300	8,208	3,830	
		合計(A)	11,001	4,300	8,208	3,830	
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.60 人	0.60 人	0.65 人	0.62 人	
		人件費	4,493	4,675	5,065	4,862	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	4,493	4,675	5,065	4,862	
合計(A+B)	15,494	8,975	13,273	8,692			
市民1人当たりのコスト(円)		163	96	141	93		

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
浚渫実施河川数	浚渫実施河川数	箇所	目標		4	5	3
			実績	4	5	6	
指標化できない成果		達成		125.0%	120.0%		

方向	継続	課題及び改善案	山間部からの河川については、豪雨時、山から流出する土砂等により、堆積土砂が河川断面を閉塞しているため、災害時の浸水被害を防ぐことから土砂浚渫が必要とされます。今後、浚渫予算の財源確保と残土処分地の確保等に係る地元協議に努めます。
----	----	---------	--

整理番号
385 - 0

決算書頁
287

(款)8土木費(項)3河川費(目)4ダム関連整備費(細目)358ダム周辺整備事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	32	人と人がつながる元気な農林業のまちづくり	平成 22 年度～平成 32 年度 01-08-03-04-358-55
	施策	3202	森林の整備と住民の取り組み	担当 部・課名等
	事務事業名	生産管理用道路整備事業	担当 部署	産業振興部農村整備課 評価責任者・連絡先
				課長 山本 学 0595-43-2304

事務事業の概要	対象	川上ダム湖面周辺の残地森林の所有者		
	目的	ダム水没地周辺の山林管理用道路を開設する。		
	内容	川上ダムの周辺整備として水資源機構から補償された基金により、山林管理用道路をダム竣工までに開設し、ダム湛水後の山林管理に支障がないように生産管理用道路開設工事を行いました。 生産管理用道路 W=4.0 m L=3,066 m		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	平成28年度 生産管理用道路開設工事(Ⅳ期)	26,830,440円	L=73m	
	その他の経費	3,164,560円		
	計	29,995,000円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	73,541	89,142	29,995	73,122		
	一般財源	0	0	0	0		
	合計(A)	73,541	89,142	29,995	73,122		
人件費	正規職員	業務量	0.49 人	0.00 人	0.60 人	0.60 人	
		人件費	3,669	0	4,675	4,705	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	3,669	0	4,675	4,705		
	合計(A+B)	77,210	89,142	34,670	77,827		
	市民1人当たりのコスト(円)	813	946	368	828		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	整備進捗率	供用開始する林道の延長	%	目標		41	50	52
				実績	28	39	41	
指標化できない成果			達成		95.1%	82.0%		

方向	継続	課題及び改善案	ダム本体着工が行われ完成湛水までに完成させる必要があるが、現在の進捗状況により完成が可能である。
----	----	---------	--

(款)8土木費(項)3河川費(目)4ダム関連整備費(細目)358ダム周辺整備事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	42	市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり	平成 20 年度～平成 30 年度	01-08-03-04-358-56
	施策	4201	市内幹線道路・生活道路の整備		
事務事業名	川上種生線他1線道路改良事業		担当部署 建設部建設2課	評価責任者・連絡先 課長 辻村 武臣 0595-43-2328	

事務事業の概要	対象	市道利用者		
	目的	交通便利を向上させ、ダム周辺住民の生活環境や産業基盤を再建するとともに地域の活性化を図る。		
	内容	<p>【事業概要】 川上ダム付替県道青山美杉線と青山ハーモニー・フォレストを結ぶ連絡道路を整備することで、地域の活性化と交通の利便性の向上を図ります。</p> <p>【工事概要】 延長L=923m 幅員W=7.0m (内第1工区L=543m)</p> <p>【平成28年度事業内容】 施工延長L=130mの区間について舗装工事を行いました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	工事請負費	5,001,480円	舗装工事	
	積立金	409,397円	川上ダム周辺整備事業基金積立金	
	その他事務経費	720,107円		
	計	6,130,984円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	2,750	16,500	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	4,083	14,951	3,381	21,736		
	一般財源	0	0	0	0		
	合計(A)	6,833	31,451	6,131	45,936		
	人件費	正規職員	業務量 0.50 人	0.50 人	0.51 人	0.51 人	
		人件費	3,744	3,896	3,974	3,999	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	3,744	3,896	3,974	3,999		
	合計(A+B)	10,577	35,347	10,105	49,935		
	市民1人当たりのコスト(円)	112	375	108	532		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	事業の進捗率	道路整備による作業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標		85	86	88
				実績	83	85	86	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	第2工区は、水資源機構との間にダム用地の買収に係る問題を抱える地権者について、機構との問題を解決するまで、用地買収が見込めないため、機構に対して速やかな問題解決を依頼している。
----	----	---------	--

整理番号
387 - 0

決算書頁
289

(款)8土木費(項)4都市計画費(目)1都市計画総務費(細目)363都市計画街路維持管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	42	市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-08-04-01-363-01
	施策	4202	道路環境の維持・向上	担当部署	部・課名等
	事務事業名	都市計画街路維持管理経費		建設部都市計画課	評価責任者・連絡先 課長 瀧川 司篤 0595-43-2314

事務事業の概要	対象	都市計画道路及び市道の街路樹の維持管理		
	目的	街路樹の維持管理を適切に行い、道路環境の美化向上に努める。		
	内容	都市計画街路について、街路樹の剪定・除草及び薬剤散布等の維持管理業務に努め、通行の際の安全確保及び環境美化を行いました。 街路樹の害虫の駆除・防除、剪定等の維持管理業務を行いました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	街路樹管理業務委託	20,726,280円	市道四十九町ゆめが丘線第1工区街路樹管理業務委託(委託先:石原園) ほか	
	その他維持管理業務委託	1,153,440円		
	その他経費	96,444円		
	計	21,976,164円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	22,214	19,000	21,977	17,376	
		合計(A)	22,214	19,000	21,977	17,376	
	人件費	正規職員	業務量 0.50 人	0.50 人	0.46 人	0.46 人	
			人件費 3,744	3,896	3,584	3,607	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
			人件費				
		小計(B)	3,744	3,896	3,584	3,607	
		合計(A+B)	25,958	22,896	25,561	20,983	
		市民1人当たりのコスト(円)	274	243	272	224	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	街路樹の剪定路線数	目標		路線		26	26	26
		実績			27	24	24	
指標化できない成果	達成				92.3%	92.3%		

方向	継続	課題及び改善案	維持管理費用が縮減される中、限られた管理費用で道路環境を向上させることは容易ではないが、選定箇所や樹種等の状況を把握して剪定場所や方法等工夫して行う必要があります。
----	----	---------	--

(款)8土木費(項)4都市計画費(目)1都市計画総務費(細目)367都市計画調査策定等事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	41	歴史文化や風土と調和した、秩序のあるまちづくり	平成 22 年度～平成 29 年度	01-08-04-01-367-51
	施策	4101	効率的で持続可能な都市構成をめざした制度づくり	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	都市計画調査策定等事業		建設部都市計画課	課長 瀧川 司篤 0595-43-2314

事務事業の概要	対象	伊賀市全域		
	目的	伊賀市都市マスタープランの方針による一體的なまちづくりを行うことを目的に、都市計画区域の再編と土地利用管理制度の統一を行う。		
	内容	土地利用管理手法検討委員会からの提言に基づき土地利用管理制度の設計を進めてきましたが、国、県との下協議が終了し、正式に都市計画法に基づく手続きが開始されました。 新たな土地利用管理の制度制定に向けて、次年度早々に行う地域説明会の準備を行いました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	伊賀市土地利用条例に関する調査業務委託	2,754,000円	・条例の制度内容の検証・精査業務 ・国県等との協議支援業務 委託先:(公財)都市計画協会	
	伊賀市の都市機能における立地適正化計画策定及び都市計画区域再編支援業務委託	4,280,000円	・条例の制度設計 ・都市計画区域再編案の作成 委託先:(株)パスコ三重支店	
	その他事務経費	293,628円		
	計	7,327,628円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	1,886	4,973	7,328	11,887	
		合計(A)	1,886	4,973	7,328	11,887	
	人件費	正規職員	業務量 0.71 人	0.71 人	0.15 人	0.71 人	
			人件費 5,316	5,532	1,169	5,568	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
			人件費				
		小計(B)	5,316	5,532	1,169	5,568	
		合計(A+B)	7,202	10,505	8,497	17,455	
		市民1人当たりのコスト(円)	76	112	91	186	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	都市計画区域の再編、区域区分制度設計	新制度発効までの進行率	%	目標		90	95	100
				実績	80	85	95	
指標化できない成果			達成		94.4%	100.0%		

方向	<p>継続</p> <p>課題及び改善案</p> <p>国県との下協議が終了し、正式に都市計画法に基づく決定要請を行いました。以後区域区分の決定権のある県で手続きを進めていますが、並行して伊賀市では、条例に基づく土地利用コントロールについて市民理解を得る説明会を市内全域を対象に開催するなどの手続きを経て、9月議会に条例案を提出しようと考えています。運用は平成30年度からと考えていますが、制定後は円滑な運用が図られるよう、民間の建築確認機関や宅地建物取引業者など、関係する方々にしっかりと理解していただくように周知する必要があります。</p>
----	---

整理番号
389 - 0

決算書頁
291

(款)8土木費(項)4都市計画費(目)1都市計画総務費(細目)367都市計画調査策定等事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	41	歴史文化や風土と調和した、秩序のあるまちづくり	平成 28 年度～平成 28 年度	01-08-04-01-367-51
	施策	4101	効率的で持続可能な都市構成をめざした制度づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	都市計画調査策定等事業(繰越明許費分)		建設部都市計画課	評価責任者・連絡先 課長 瀧川 司篤 0595-43-2314

事務事業の概要	対象	伊賀市全域														
	目的	伊賀市都市マスタープランの方針による一体的なまちづくりを行うことを目的に、都市計画区域の再編と土地利用管理制度の統一を行う。														
	内容	土地利用管理手法検討委員会からの提言に基づき土地利用管理制度の設計を進めてきましたが、国、県との下協議が終了し、正式に都市計画法に基づく手続きが開始されました。 新たな土地利用管理の制度制定に向けて、次年度早々に行う地域説明会の準備を行いました。														
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>伊賀市都市計画区域再編業務委託</td> <td>4,752,000円</td> <td>・自主条例と立地適正化計画の併用検討 ・調整会議への資料提供及び運営支援 委託先:(株)パスコ三重支店</td> </tr> <tr> <td>伊賀市土地利用条例に関する調査業務委託</td> <td>2,214,000円</td> <td>・条例の制度内容の検証・精査業務 ・国県等との協議支援業務 委託先:(公財)都市計画協会</td> </tr> <tr> <td>その他事務経費</td> <td>202,554円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,168,554円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	伊賀市都市計画区域再編業務委託	4,752,000円	・自主条例と立地適正化計画の併用検討 ・調整会議への資料提供及び運営支援 委託先:(株)パスコ三重支店	伊賀市土地利用条例に関する調査業務委託	2,214,000円	・条例の制度内容の検証・精査業務 ・国県等との協議支援業務 委託先:(公財)都市計画協会	その他事務経費	202,554円		計	7,168,554円
経費	金額	摘要														
伊賀市都市計画区域再編業務委託	4,752,000円	・自主条例と立地適正化計画の併用検討 ・調整会議への資料提供及び運営支援 委託先:(株)パスコ三重支店														
伊賀市土地利用条例に関する調査業務委託	2,214,000円	・条例の制度内容の検証・精査業務 ・国県等との協議支援業務 委託先:(公財)都市計画協会														
その他事務経費	202,554円															
計	7,168,554円															

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		直接事業費	国県支出金 地方債 その他 一般財源 合計(A)		0 0 0 7,226 0	0 0 0 7,169 7,226		0 0 0 7,169 7,169
人件費	正規職員	業務量	人	0.00 人	0.76 人	人		
		人件費	0	0	5,922	0		
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費						
		小計(B)	0	0	5,922	0		
		合計(A+B)	0	7,226	13,091	0		
		市民1人当たりのコスト(円)	0	77	139	0		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	都市計画区域の再編、区域区分制度設計	新制度発効までの進行率	%	目標		90	95	100
				実績	80	85	95	
指標化できない成果			達成		94.4%	100.0%		

方向	完了	課題及び改善案	<p>国県との下協議が終了し、正式に都市計画法に基づく決定要請を行いました。 以後区域区分の決定権のある県で法手続きを進めていますが、並行して伊賀市では、条例に基づく土地利用コントロールについて市民理解を得る説明会を市内全域を対象に開催するなどの手続きを経て、9月議会に条例案を提出しようと考えています。運用は平成30年度からと考えていますが、制定後は円滑な運用が図られるよう、民間の建築確認機関や宅地建物取引業者など、関係する方々にしっかりと理解していただくように周知する必要があります。</p>
----	----	---------	---

整理番号
390 - 0

決算書頁
291

(款)8土木費(項)4都市計画費(目)1都市計画総務費(細目)680立地適正化計画推進事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	41	歴史文化や風土と調和した、秩序のあるまちづくり	平成 28 年度～平成 29 年度	01-08-04-01-680-01
	施策	4101	効率的で持続可能な都市構成をめざした制度づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	立地適正化計画推進事業		建設部都市計画課	評価責任者・連絡先 課長 瀧川 司篤 0595-43-2314

事務事業の概要	対象	伊賀市全域											
	目的	コンパクト・プラス・ネットワークに誘導するための立地適正化計画を作成する。											
	内容	本格的な人口減少・高齢化社会に対応し、持続可能なコンパクトシティを実現するために、都市再生特別措置法の改正により創設された立地適正化計画の作成検討を進めてきました。 今年度は、庁内検討会議を重ね、国、県とも協議を行うなどして素案の取り纏めまで行い、次年度からの地域説明会に入る準備ができました。											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>伊賀市の都市機能における立地適正化計画策定及び都市計画区域再編支援業務委託</td> <td>4,206,000円</td> <td>・立地適正化計画策定業務 委託先:(株)パスコ三重支店</td> </tr> <tr> <td>その他事務経費</td> <td>4,400円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,210,400円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	伊賀市の都市機能における立地適正化計画策定及び都市計画区域再編支援業務委託	4,206,000円	・立地適正化計画策定業務 委託先:(株)パスコ三重支店	その他事務経費	4,400円		計	4,210,400円
経費	金額	摘要											
伊賀市の都市機能における立地適正化計画策定及び都市計画区域再編支援業務委託	4,206,000円	・立地適正化計画策定業務 委託先:(株)パスコ三重支店											
その他事務経費	4,400円												
計	4,210,400円												

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金		2,100	500	
		地方債		0	0	0	
		その他		0	0	0	
		一般財源		2,490	3,711	2,528	
		合計(A)	0	4,590	4,211	4,743	
	人件費	正規職員	業務量	人	0.67 人	0.67 人	0.67 人
人件費			0	5,220	5,220	5,254	
臨時・嘱託・再雇用職員		業務量	人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	0	5,220	5,220	5,254	
		合計(A+B)	0	9,810	9,431	9,997	
		市民1人当たりのコスト(円)	0	105	101	107	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	都市計画区域の再編、区域区分制度設計	新制度発行までの進行率	%	目標		90	95	100
				実績	80	85	95	
指標化できない成果			達成		94.4%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	地域説明会やパブリックコメントを実施し、次年度に策定する予定をしています。なお土地利用条例と一体的な運用が図れるように調整しながら事務を進めています。
----	----	---------	---

整理番号
391 - 0

決算書頁
291

(款)8土木費(項)4都市計画費(目)1都市計画総務費(細目)690産業集積開発事業推進経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	35	だれもが働きやすく、働く意欲が持てるまちづくり	平成 27 年度～平成 32 年度	01-08-04-01-690-51
	施策	3503	若者の地元雇用に向けた就業支援	担当部署	部・課名等
	事務事業名	産業集積開発事業推進経費		建設部産業集積開発課	評価責任者・連絡先 課長 福田 康彦 0595-43-2334

事務事業の概要	対象	新たな産業用地の確保																		
	目的	新たな雇用の創設と就業機会の拡大に繋げ、若者の定住の推進を図る。																		
	内容	<p>当市は、大阪・名古屋の2大都市圏の中間に位置にあるという地理的条件や、地震などの災害による生産施設のリスク回避のため、津波被害の無い内陸地域への産業用地の需用の拡大等から、当市への進出に興味を示す企業が増加傾向にありますが、市内において、販売する公的な産業用地が無く、紹介する民間の産業用地も非常に少ない状況にあります。そのことから、市として新たな雇用の創設と人口減少の歯止めを掛け、就業機会の拡大に繋げるため、民間開発事業者を誘致し、民間主導による新たな産業用地計画を推進する。</p>																		
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>旅費</td> <td>134,140円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>193,913円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料費</td> <td>11,888円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>有料道路通行料</td> <td>720円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>340,661円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	旅費	134,140円		消耗品費	193,913円		燃料費	11,888円		有料道路通行料	720円		計	340,661円	
経費	金額	摘要																		
旅費	134,140円																			
消耗品費	193,913円																			
燃料費	11,888円																			
有料道路通行料	720円																			
計	340,661円																			

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			直接事業費	国県支出金	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	241	3,581	341	3,258		
		合計(A)	241	3,581	341	3,258		
	人件費	正規職員	業務量	0.45 人	1.80 人	1.80 人	3.00 人	
人件費			3,370	14,024	14,024	23,523		
臨時・嘱託・再雇用職員		業務量	人	1.00 人	人	1.00 人		
		人件費						
		小計(B)	3,370	14,024	14,024	23,523		
		合計(A+B)	3,611	17,605	14,365	26,781		
		市民1人当たりのコスト(円)	38	187	153	285		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	上野南部丘陵地整備推進協議会の開催	上野南部丘陵地の遊休地における土地利用の検討を行い整備促進を図る	回	目標		-	1	2
				実績	-	-	1	
指標化できない成果			達成		-	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	開発事業に携わる開発事業者が決定しないため、事業における課題を整理し、市の役割分担を明確にし、早期の事業着手に向け調整を行なう。
----	----	---------	--

(款)8土木費(項)4都市計画費(目)2市街地整備推進費(細目)371市街地整備推進事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	41 歴史文化や風土と調和した、秩序のあるまちづくり	平成 20 年度～平成 32 年度	01-08-04-02-371-51
	施策	4103 伊賀市らしい魅力ある景観を守り、活かす体制づくり	担当 部署	部・課名等 建設部都市計画課
事務事業名	市街地整備推進事業費		評価責任者・連絡先 課長 瀧川 司篤 0595-43-2314	

事務事業の概要	対象	城下町重点風景区域内等における建築行為等		
	目的	伊賀市景観計画で定める基準に適合させる。		
	内容	建築行為等に対し、景観計画に基づいて行為の届出を求めるとともに、景観形成基準への適合審査を行い、必要に応じて景観アドバイザーの意見を求めながら景観の保全・形成を進めました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	事務経費	46,077円		
	計	46,077円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	171	254	47	244
		合計(A)	171	254	47	244
人件費	正規職員	業務量	0.76 人	0.76 人	0.50 人	0.50 人
		人件費	5,691	5,922	3,896	3,921
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費				
	小計(B)	5,691	5,922	3,896	3,921	
合計(A+B)	5,862	6,176	3,943	4,165		
市民1人当たりのコスト(円)		62	66	42	45	

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
適合率	届出行為の景観形成基準への適合率	%	目標	100	100	100
			実績	100	97	96
指標化できない成果		達成		97.0%	96.0%	

方向	継続	課題及び改善案	城下町風景をはじめとする景観の保全・形成の必要性に関する建築主等の理解が重要であり、市民啓発等の実施方法についてさらなる検討が必要です。
----	----	---------	--

整理番号
393 - 0

決算書頁
291

(款)8土木費(項)4都市計画費(目)2市街地整備推進費(細目)371市街地整備推進事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	33	中心市街地と各地域が連携した賑わいあるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-08-04-02-371-51
	施策	3301	中心市街地の魅力を発掘し、市内外へ発信する体制づくり		
	事務事業名	市街地整備推進事業費		担当部署	部・課名等 産業振興部中心市街地推進課
				評価責任者・連絡先 課長 堀川 敬二 0595-22-9825	

事務事業の概要	対象	市民、来街者、観光客																							
	目的	町家の魅力を広く発信することで、回遊人口、まちなかでの居住者や出店者の増加を促進し、にぎわいを創出する。																							
	内容	<p>まちめぐりの拠点・交流施設として整備した国の登録有形文化財である武家屋敷「赤井家住宅」を指定管理者制度により管理を行いました。(利用者21,876人)</p> <p>また、町家活用推進業務を伊賀上野町家みらいセンターに委託し町家の利活用の啓発を実施しました。(参加者68人)</p>																							
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>赤井邸犬矢来修繕</td> <td>108,000円</td> <td>受注者: (株)西建</td> </tr> <tr> <td>町家活用推進業務委託</td> <td>600,000円</td> <td>委託先: 伊賀上野町家みらいセンター</td> </tr> <tr> <td>赤井家住宅指定管理料</td> <td>4,592,000円</td> <td>指定管理者: 公益財団法人伊賀市文化都市協会</td> </tr> <tr> <td>赤井家住宅樹木剪定業務</td> <td>336,960円</td> <td>委託先: 吉寄造園</td> </tr> <tr> <td>玉岡邸草刈業務</td> <td>42,408円</td> <td>委託先: 公益社団法人伊賀市シルバー人材センター</td> </tr> <tr> <td>その他業務委託費</td> <td>32,724円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5,712,092円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	赤井邸犬矢来修繕	108,000円	受注者: (株)西建	町家活用推進業務委託	600,000円	委託先: 伊賀上野町家みらいセンター	赤井家住宅指定管理料	4,592,000円	指定管理者: 公益財団法人伊賀市文化都市協会	赤井家住宅樹木剪定業務	336,960円	委託先: 吉寄造園	玉岡邸草刈業務	42,408円	委託先: 公益社団法人伊賀市シルバー人材センター	その他業務委託費	32,724円		計	5,712,092円
経費	金額	摘要																							
赤井邸犬矢来修繕	108,000円	受注者: (株)西建																							
町家活用推進業務委託	600,000円	委託先: 伊賀上野町家みらいセンター																							
赤井家住宅指定管理料	4,592,000円	指定管理者: 公益財団法人伊賀市文化都市協会																							
赤井家住宅樹木剪定業務	336,960円	委託先: 吉寄造園																							
玉岡邸草刈業務	42,408円	委託先: 公益社団法人伊賀市シルバー人材センター																							
その他業務委託費	32,724円																								
計	5,712,092円																								

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	1,459	1,355	1,372	1,851		
	一般財源	4,384	4,364	4,341	4,195		
	合計(A)	5,843	5,719	5,713	6,046		
	人件費	正規職員	業務量 0.40 人	0.40 人	0.60 人	0.60 人	
			人件費 2,995	3,117	4,675	4,705	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	
			人件費				
		小計(B)	2,995	3,117	4,675	4,705	
		合計(A+B)	8,838	8,836	10,388	10,751	
		市民1人当たりのコスト(円)	93	94	111	115	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	イベントの参加者数	町家活用の事例紹介、実証実験	人	目標		5,200	70	70
				実績	4,813	5,196	68	
指標化できない成果			達成		99.9%	97.1%		

方向	<p>縮小</p> <p>課題及び改善案</p> <p>町家活用に関して伊賀上野町家みらいセンターとの協働により取り組んできたが、自立に向けた組織強化、支援体制を整える必要がある。赤井家住宅については、引き続き指定管理者制度により管理を行うが、施設の利用促進についての周知が必要である。また、その他管理物件については、市民や民間事業者の参画など、有効な活用方法を検討していきたい。</p>
----	---

(款)8土木費(項)4都市計画費(目)2市街地整備推進費(細目)371市街地整備推進事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	41 歴史文化や風土と調和した、秩序のあるまちづくり	平成 20 年度～平成 32 年度	01-08-04-02-371-52
	施策	4103 伊賀市らしい魅力ある景観を守り、活かす体制づくり	担当 部署	部・課名等 建設部都市計画課
事務事業名	街なみ環境整備事業			

事務事業の概要	対象	城下町重点風景地区内等において、建築行為等を行う建築主		
	目的	景観計画で定める重点風景区域における建築行為(修繕含む)等について、景観形成基準に適合させる。		
	内容	<p>景観計画で定める重点風景地区において、景観まちづくりに寄与する建築行為等を行う建築主に対し、景観の保全・形成に要した建築費用の一部を助成しました。</p> <p>ふるさと風景づくり助成金 交付件数3件、建築相談件数5件</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	謝礼	6,000円	景観アドバイザー会議謝礼(@3,000円×2名×1回)	
	ふるさと風景づくり助成金	1,167,000円	重点風景地区の建築物等の改修及び景観形成対象物の改修工事	
	その他事務経費	108,367円		
	計	1,281,367円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国庫支出金	1,500	2,500	1,167	2,500	社会資本整備総合交付金
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	1,621	2,657	115	2,586	
		合計(A)	3,121	5,157	1,282	5,086	
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.40 人	0.40 人	0.36 人	0.36 人	
		人件費	2,995	3,117	2,805	2,823	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	2,995	3,117	2,805	2,823	
合計(A+B)	6,116	8,274	4,087	7,909			
市民1人当たりのコスト(円)		65	88	44	85		

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
助成金の交付件数		件	目標		3	4
			実績	0	1	3
指標化できない成果		達成		33.3%	75.0%	

方向	改善	課題及び改善案	助成金の上限が、景観形成工事に伴う追加経費と似合ったものになっていないとの指摘もあり、上限額の引き上げについて検討が必要となってきているが、同時に、まちの魅力を高める公の利益のための取組みでもあることを、建築主に丁寧に説明し理解を得る努力も続けていかなければなりません。さらに市民への意識醸成の取組みや制度の周知方法についても検討が必要です。
----	----	---------	---

整理番号
395 - 0

決算書頁
291

(款)8土木費(項)4都市計画費(目)2市街地整備推進費(細目)371市街地整備推進事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	33	中心市街地と各地域が連携した賑わいあるまちづくり	平成 20 年度～平成 29 年度	01-08-04-02-371-52
	施策	3302	商業・文化の交流拠点となる中心市街地の再生	担当部署	部・課名等
	事務事業名	街なみ環境整備事業		産業振興部中心市街地推進課	評価責任者・連絡先 課長 堀川 敬二 0595-22-9825

事務事業の概要	対象	市民、来街者、観光客																							
	目的	住みやすく歩きやすい住環境を整備することで、回遊人口、まちなかでの居住者や出店者の増加を促進し、にぎわいを創出する。																							
	内容	社会資本総合整備計画に基づき、城下町の回遊性向上のため伊賀市中心市街地の基盤づくりを推進しました。街並み環境整備事業として道路美装化の住環境整備を図りました。																							
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上野東町ポケットパーク設計業務委託</td> <td>2,430,000円</td> <td>委託先: 桔梗測量設計(株)</td> </tr> <tr> <td>街区基準点復元業務</td> <td>284,040円</td> <td>委託先: (株)サンクリエイト</td> </tr> <tr> <td>街区基準点観測業務</td> <td>118,800円</td> <td>委託先: (株)サンクリエイト</td> </tr> <tr> <td>市道愛宕町恵美須町線道路美装化工事</td> <td>53,417,880円</td> <td>受注者: (株)大栄 L=250m</td> </tr> <tr> <td>市道農人町八幡町線道路美装化工事(前金分)</td> <td>24,620,000円</td> <td>受注者: (株)二幸建設</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>811,745円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>81,682,465円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	上野東町ポケットパーク設計業務委託	2,430,000円	委託先: 桔梗測量設計(株)	街区基準点復元業務	284,040円	委託先: (株)サンクリエイト	街区基準点観測業務	118,800円	委託先: (株)サンクリエイト	市道愛宕町恵美須町線道路美装化工事	53,417,880円	受注者: (株)大栄 L=250m	市道農人町八幡町線道路美装化工事(前金分)	24,620,000円	受注者: (株)二幸建設	その他経費	811,745円		計	81,682,465円
経費	金額	摘要																							
上野東町ポケットパーク設計業務委託	2,430,000円	委託先: 桔梗測量設計(株)																							
街区基準点復元業務	284,040円	委託先: (株)サンクリエイト																							
街区基準点観測業務	118,800円	委託先: (株)サンクリエイト																							
市道愛宕町恵美須町線道路美装化工事	53,417,880円	受注者: (株)大栄 L=250m																							
市道農人町八幡町線道路美装化工事(前金分)	24,620,000円	受注者: (株)二幸建設																							
その他経費	811,745円																								
計	81,682,465円																								

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	81,900	67,516	46,643	
	地方債	93,500	65,000	23,700	76,600		
	その他	0	0	347	202		
	一般財源	7,329	3,692	10,993	4,308		
	合計(A)	182,729	136,208	81,683	115,130		
	人件費	正規職員	業務量 1.50 人	1.50 人	0.50 人	0.50 人	
		人件費	11,231	11,687	3,896	3,921	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	11,231	11,687	3,896	3,921	
		合計(A+B)	193,960	147,895	85,579	119,051	
		市民1人当たりのコスト(円)	2,041	1,569	908	1,267	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	整備延長	道路整備による作業進捗	m	目標		612	500	250
				実績	475	612	250	
指標化できない成果			達成		100.0%	50.0%		

方向	継続	課題及び改善案	残事業の見直しを行うとともに今後の事業を計画的に進めていく。
----	----	---------	--------------------------------

整理番号
396 - 0

決算書頁
291

(款)8土木費(項)4都市計画費(目)2市街地整備推進費(細目)371市街地整備推進事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	33	中心市街地と各地域が連携した賑わいあるまちづくり	平成 21 年度～平成 32 年度	01-08-04-02-371-54
	施策	3301	中心市街地の魅力を発掘し、市内外へ発信する体制づくり		
事務事業名	中心市街地活性化事業		担当部署	部・課名等 産業振興部中心市街地推進課	評価責任者・連絡先 課長 堀川 敬二 0595-22-9825

事務事業の概要	対象	市民、来街者、観光客		
	目的	中活計画に盛り込まれた事業を展開することにより、中心市街地の賑わいを創出する。		
	内容	<p>伊賀市中心市街地活性化基本計画に基づく事業が円滑に実施されるように専門的知識を持つアドバイザーを設置するなど中心市街地活性化協議会の活動を助成し、進行管理や第2期基本計画策定にむけての検討を行いました。(17回開催)</p> <p>また、「伊賀市中心市街地活性化基本計画」の進行管理に関し、基本計画に掲げる目標数値である「歩行者・自転車通行量」の現状把握のため、通行量調査業務を実施しました。(6地点・年1回 6,709人)</p> <p>①ハイトピア前1,299人 ②新天地南口前1,792人 ③本町通郵便局前1,015人 ④まちやガーデン伊賀前586人 ⑤丸之内交差点943人 ⑥白鳳門前1,074人</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	中心市街地活性化協議会運営活動費補助金	1,114,266円		
	その他事務経費	802,552円		
	計	1,916,818円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	5,869	5,454	1,917	5,936	
		合計(A)	5,869	5,454	1,917	5,936	
	人件費	正規職員	業務量 1.00 人	1.00 人	1.05 人	1.05 人	
			人件費 7,487	7,791	8,181	8,234	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
			人件費				
		小計(B)	7,487	7,791	8,181	8,234	
		合計(A+B)	13,356	13,245	10,098	14,170	
		市民1人当たりのコスト(円)	141	141	108	151	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	中心市街地活性化協議会参加者数	情報数	人	目標		72	70	
				実績	95	64	44	
指標化できない成果			達成		88.9%	62.8%		

方向	継続	課題及び改善案	引き続き中心市街地活性化に取り組むために第2期中心市街地活性化基本計画の認定を目指しているが、2期計画の核事業となる南庁舎における賑わい創出の方針が決定していないため、計画に盛り込むべき事業が確定できず、認定手続きを進めることができない状況である。方針が決定し次第、中心市街地活性化基本計画に盛り込み、認定を目指す。
----	----	---------	--

整理番号
397 - 0

決算書頁
293

(款)8土木費(項)4都市計画費(目)2市街地整備推進費(細目)371市街地整備推進事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	33 中心市街地と各地域が連携した賑わいあるまちづくり	平成 28 年度～平成 28 年度	01-08-04-02-371-52
	施策	3302 商業・文化の交流拠点となる中心市街地の再生	担当部署	部・課名等
	事務事業名	街なみ環境整備事業(繰越明許費分)	産業振興部中心市街地推進課	評価責任者・連絡先 課長 堀川 敬二 0595-22-9825

事務事業の概要	対象	市民、来街者、観光客											
	目的	住みやすく歩きやすい住環境を整備することで、回遊人口、まちなかでの居住者や出店者の増加を促進し、にぎわいを創出する。											
	内容	社会資本総合整備計画に基づき、城下町の回遊性向上のため伊賀市中心市街地の基盤づくりを推進しました。街並み環境整備事業として道路美装化の住環境整備を図りました。											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>街区基準点復元業務</td> <td>113,400円</td> <td>委託先:(株)サンクリエト</td> </tr> <tr> <td>市道東丸之内西大手線道路美装化工事</td> <td>41,821,280円</td> <td>受注者:アイトム建設(株) L=260m</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>41,934,680円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	街区基準点復元業務	113,400円	委託先:(株)サンクリエト	市道東丸之内西大手線道路美装化工事	41,821,280円	受注者:アイトム建設(株) L=260m	計	41,934,680円
経費	金額	摘要											
街区基準点復元業務	113,400円	委託先:(株)サンクリエト											
市道東丸之内西大手線道路美装化工事	41,821,280円	受注者:アイトム建設(株) L=260m											
計	41,934,680円												

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金		0	0			
		地方債		41,800	39,700			
		その他		0	0			
		一般財源		2,200	2,235			
		合計(A)	0	44,000	41,935		0	
事業費	人件費	正規職員	業務量	0.50 人	0.50 人			
			人件費	0	3,896		3,896	0
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量					
			人件費					
		小計(B)	0	3,896	3,896		0	
合計(A+B)		0	47,896	45,831	0			
市民1人当たりのコスト(円)		0	509	487	0			

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
整備延長	道路整備による作業進捗	m	目標		260	
			実績		260	
指標化できない成果		達成			100.0%	

方向	完了	課題及び改善案	残事業の見直しを行うとともに今後の事業を計画的に進めていく。
----	----	---------	--------------------------------

(款)8土木費(項)4都市計画費(目)2市街地整備推進費(細目)371市街地整備推進事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	33	中心市街地と各地域が連携した賑わいあるまちづくり	平成 28 年度～平成 28 年度	01-08-04-02-371-54
	施策	3301	中心市街地の魅力を発掘し、市内外へ発信する体制づくり		
	事務事業名	中心市街地活性化事業(繰越明許費分)		担当部署	部・課名等 産業振興部中心市街地推進課

事務事業の概要	対象	市民、来街者、観光客								
	目的	中活計画に盛り込まれた事業を展開することにより、中心市街地の賑わいを創出する。								
	内容	<p>伊賀市中心市街地活性化基本計画に基づく事業が円滑に実施されるように専門的知識を持つアドバイザーを設置するなど中心市街地活性化協議会の活動を助成し、進行管理や第2期基本計画策定にむけての検討を行いました。(17回開催)</p> <p>また、「伊賀市中心市街地活性化基本計画」の進行管理に関し、基本計画に掲げる目標数値である「歩行者・自転車通行量」の現状把握のため、通行量調査業務を実施しました。(6地点・年1回 6,709人)</p> <p>①ハイトピア前1,299人 ②新天地南口前1,792人 ③本町通郵便局前1,015人 ④まちやガーデン伊賀前586人 ⑤丸之内交差点943人 ⑥白鳳門前1,074人</p>								
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ライトアップ実施委員会業務委託</td> <td>2,870,686円</td> <td>委託先:お城の周りライトアップ実施委員会 平成28年8月13日・14日実施 13,000人参加 アンケート結果では、来場者の約半数は30歳未満の方であり、地域別では、70%は市内、20%は県外となっており、お盆で帰省されている方も多くきていただいたという結果となった。また、スタンプラリー応募者の95%がイベント内容に満足したと回答している。</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,870,686円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	ライトアップ実施委員会業務委託	2,870,686円	委託先:お城の周りライトアップ実施委員会 平成28年8月13日・14日実施 13,000人参加 アンケート結果では、来場者の約半数は30歳未満の方であり、地域別では、70%は市内、20%は県外となっており、お盆で帰省されている方も多くきていただいたという結果となった。また、スタンプラリー応募者の95%がイベント内容に満足したと回答している。	計	2,870,686円
経費	金額	摘要								
ライトアップ実施委員会業務委託	2,870,686円	委託先:お城の周りライトアップ実施委員会 平成28年8月13日・14日実施 13,000人参加 アンケート結果では、来場者の約半数は30歳未満の方であり、地域別では、70%は市内、20%は県外となっており、お盆で帰省されている方も多くきていただいたという結果となった。また、スタンプラリー応募者の95%がイベント内容に満足したと回答している。								
計	2,870,686円									

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金		3,000	2,871	
	地方債		0	0			
	その他		0	0			
	一般財源		0	0			
	合計(A)		0	3,000	2,871	0	
	人件費	正規職員	業務量	0.95 人	0.95 人		
		人件費	0	7,402	7,402	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量				
		人件費					
	小計(B)		0	7,402	7,402	0	
	合計(A+B)		0	10,402	10,273	0	
	市民1人当たりのコスト(円)		0	111	109	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	中心市街地活性化協議会参加者数	情報数	人	目標			70	
				実績			44	
指標化できない成果			達成			62.8%		

方向	完了	課題及び改善案	引き続き中心市街地活性化に取り組むために第2期中心市街地活性化基本計画の認定を目指しているが、2期計画の核事業となる南庁舎における賑わい創出の方針が決定していないため、計画に盛り込むべき事業が確定できず、認定手続きを進めることができない状況である。方針が決定し次第、中心市街地活性化基本計画に盛り込み、認定を目指す。
----	----	---------	--

(款)8土木費(項)4都市計画費(目)3下水道整備費(細目)376下水路等維持管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	23	環境に配慮した生活環境が整うまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度 01-08-04-03-376-01
	施策	2306	生活排水処理施設整備の推進と適正な維持管理	
	事務事業名	下水路等維持管理経費	担当部署 建設部下水道課	評価責任者・連絡先 課長 山本 昇 0595-24-2136

事務事業の概要	対象	上野支所管内の既設下水路		
	目的	清掃・補修等、適正な維持管理を行う。		
	内容	<p>上野支所管内の下水路の機能維持のために清掃及び補修等を行い、また、下水路の施設把握及び管理に必要な下水道台帳整備を行いました。</p> <p>事業実績 下水路管渠等修繕工事 下水路管渠清掃業務 排水樋門操作点検業務 人孔蓋購入</p>		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	需用費	3,904,275円	下水路・人孔蓋等修繕 等	
	委託料	2,138,888円	施設維持管理業務 等	
	工事請負費	183,600円	施設補修工事	
	備品等購入費	2,121,448円	発電機等	
	公有財産購入費	315,360円	人孔鉄蓋	
	その他事務経費	266,890円		
	計	8,930,461円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	1,008	716	924	0	
		一般財源	8,109	9,497	8,007	6,919	
		合計(A)	9,117	10,213	8,931	6,919	
	人件費	正規職員	業務量 0.44 人	0.44 人	0.36 人	0.36 人	
			人件費 3,295	3,429	2,805	2,823	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
			人件費				
		小計(B)	3,295	3,429	2,805	2,823	
		合計(A+B)	12,412	13,642	11,736	9,742	
		市民1人当たりのコスト(円)	131	145	125	104	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	道路陥没発生件数	道路陥没発生件数	件	目標		0	0	0
				実績	0	0	1	
指標化できない成果			達成		100.0%	0.0%		

方向	改善	課題及び改善案 設置された下水道管は老朽化しているものも見られ、突然の道路陥没等の事故が無いように管理する必要がある。財源確保の課題はあるが、効率的、効果的な点検・管理及び早期修繕に努めていきます。
----	----	--

整理番号
400 - 0

決算書頁
295

(款)8土木費(項)4都市計画費(目)3下水道整備費(細目)377下水路等整備事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	23	環境に配慮した生活環境が整うまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度 01-08-04-03-377-51
	施策	2308	排水路の改修、整備	
	事務事業名	市単下排水路整備事業	担当部署	部・課名等 建設部下水道課 評価責任者・連絡先 課長 山本 昇 0595-24-2136

事務事業の概要	対象	旧上野市の下排水路														
	目的	旧上野市街地及び村落部の生活雑排水を対象として下水路整備を行う。														
	内容	<p>野間地区の公共用水域の水質保全を図るため、管路新設工事を実施しました。 四十九町地区の公共用水域の水質保全を図るため、管路施設工事を実施しました。</p> <p>野間地区 整備計画延長 L=3, 200m 管路工事 L=219m</p> <p>四十九町地区 整備計画延長 L=305m 管路工事 L=131m</p>														
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>291,600円</td> <td>四十九町下排水路修正設計業務 委託先 (株)共同技術コンサルタント</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>22,189,680円</td> <td>野間下排水路新設工事 四十九町下排水路新設工事</td> </tr> <tr> <td>補償費</td> <td>621,000円</td> <td>下排水路水道管移設補償</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>23,102,280円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	291,600円	四十九町下排水路修正設計業務 委託先 (株)共同技術コンサルタント	工事請負費	22,189,680円	野間下排水路新設工事 四十九町下排水路新設工事	補償費	621,000円	下排水路水道管移設補償	計	23,102,280円
経費	金額	摘要														
委託料	291,600円	四十九町下排水路修正設計業務 委託先 (株)共同技術コンサルタント														
工事請負費	22,189,680円	野間下排水路新設工事 四十九町下排水路新設工事														
補償費	621,000円	下排水路水道管移設補償														
計	23,102,280円															

全体コスト(千円)	事業費	項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	人件費					
		国県支出金		0	0	0	0	寄付金収入 2,810,754円
		地方債		24,800	24,100	19,300	17,300	
		その他		1,937	4,964	2,811	1,500	
		一般財源		1,934	1,300	992	992	
		合計(A)		28,671	30,364	23,103	19,792	
		正規職員	業務量	0.19 人	0.19 人	0.26 人	0.26 人	
			人件費	1,423	1,481	2,026	2,039	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
		小計(B)		1,423	1,481	2,026	2,039	
		合計(A+B)		30,094	31,845	25,129	21,831	
		市民1人当たりのコスト(円)		317	338	267	233	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	管路整備率	新設管路延長／整備予定 管路延長	%	目標		65	75	80
				実績	62	65	75	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	改善	課題及び改善案	引き続き予算確保に努め、下排水路工事の早期完成に努めます。
----	----	---------	-------------------------------

整理番号
401 - 0

決算書頁
295

(款)8土木費(項)4都市計画費(目)4都市下水路費(細目)381都市下水路維持管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	23	環境に配慮した生活環境が整うまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度 01-08-04-04-381-01
	施策	2306	生活排水処理施設整備の推進と適正な維持管理	担当 部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	緑ヶ丘都市下水路浄化施設維持管理経費	担当 部署 建設部下水道課	課長 山本 昇 0595-24-2136

事務事業の概要	対象	緑ヶ丘都市下水路浄化施設														
	目的	機能維持のための管理と周辺環境の保全を行う。														
	内容	<p>伊賀市緑ヶ丘地内の家庭並びに工場等の雑排水が一級河川久米川に流入し、水質汚濁を招いているため、昭和59年に「都市下水路雑排水対策モデル事業」として本施設が建設された。公共用水域の水質保全のため緑ヶ丘下水路浄化施設の適切な維持管理を行いました。</p> <p>集水面積 84.5ha 計画対象人口 4,000人</p> <p>事業実績 施設維持管理 1式</p>														
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td>2,101,589円</td> <td>光熱水費、施設修繕</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>5,720,294円</td> <td>施設維持管理業務 等</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>1,296,000円</td> <td>施設補修工事費</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9,117,883円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	需用費	2,101,589円	光熱水費、施設修繕	委託料	5,720,294円	施設維持管理業務 等	工事請負費	1,296,000円	施設補修工事費	計	9,117,883円
経費	金額	摘要														
需用費	2,101,589円	光熱水費、施設修繕														
委託料	5,720,294円	施設維持管理業務 等														
工事請負費	1,296,000円	施設補修工事費														
計	9,117,883円															

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	10,253	11,331	9,118	11,400	
		合計(A)	10,253	11,331	9,118	11,400	
	人件費	正規職員	業務量 0.17 人	0.17 人	0.11 人	0.11 人	
		人件費	1,273	1,325	858	863	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	1,273	1,325	858	863	
		合計(A+B)	11,526	12,656	9,976	12,263	
		市民1人当たりのコスト(円)	122	135	106	131	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	自主設定基準の水質検査合格率	自主基準合格回数/検査回数	%	目標		100	100	100
				実績	100	100	91.7	
指標化できない成果			達成		100.0%	91.7%		

方向	改善	課題及び改善案	本施設は築後32年を経過しており、処理施設の老朽化が進んでいる。適切に施設の維持管理をしていくとともに老朽化対策についても検討をしていく。
----	----	---------	---

整理番号
402 - 0

決算書頁
295

(款)8土木費(項)4都市計画費(目)5公園費(細目)383公園施設維持管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	41 歴史文化や風土と調和した、秩序のあるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-08-04-05-383-01
	施策	4102 快適で潤いある都市空間の形成と安全・安心の公園整備	担当部署	評価責任者・連絡先
事務事業名	公園施設維持管理経費	建設部都市計画課	課長 瀧川 司篤 0595-43-2314	

事務事業の概要	対象	都市公園施設		
	目的	都市公園施設を安全で安心して利用できるよう維持管理を行う。		
	内容	都市公園施設の維持管理業務(施設整備保守、清掃業務、施設補修工事、岩倉峡公園キャンプ場指定管理)を実施しました。		
事業に要した主な経費など		経費	金額	摘要
		施設設備保守点検委託料	5,726,268円	浄化槽保守点検、清掃等 委託先:(有)白鳳清掃ほか
		施設維持管理委託料	52,576,942円	都市公園清掃等業務、樹木管理業務等 委託先:(公財)伊賀市シルバー人材センターほか
		草刈業務委託料	22,107,720円	上野公園他草刈、抜根除草
		その他維持管理経費	17,133,980円	施設維持管理経費・事務費等
		計	97,544,910円	

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	公園使用料 電気使用料 草刈費用県負担金 保険料	
		地方債	0	0	0		
		その他	4,945	4,688	6,895		4,810
		一般財源	95,388	90,328	90,650		87,672
		合計(A)	100,333	95,016	97,545		95,232
人件費	正規職員	業務量	1.45 人	1.45 人	1.62 人	1.62 人	
		人件費	10,857	11,297	12,622	12,703	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	10,857	11,297	12,622	12,703		
合計(A+B)	111,190	106,313	110,167	107,935			
市民1人当たりのコスト(円)		1,170	1,128	1,169	1,149		

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
指標	都市公園施設の清掃作業日数	延べ日数	目標		1,299	1,299
			実績	1,299	1,301	1,312
指標化できない成果		達成		100.2%	101.0%	

方向	継続	課題及び改善案	老朽化した施設も多くあるため、補助事業を組み合わせ限られた予算内で都市公園施設の維持管理を効率的、効果的に行う必要があります。
----	----	---------	---

整理番号
403 - 0

決算書頁
295

(款)8土木費(項)4都市計画費(目)5公園費(細目)383公園施設維持管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	41	歴史文化や風土と調和した、秩序のあるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-08-04-05-383-02
	施策	4102	快適で潤いある都市空間の形成と安全・安心の公園整備	担当 部署	部・課名等 伊賀支所振興課
	事務事業名	新堂駅周辺施設公園管理費		評価責任者・連絡先 課長 中原 康雅 0595-45-9111	

事務事業の概要	対象	JR新堂駅前公園																	
	目的	JR新堂駅前公園を維持管理する。																	
	内容	<p>JR新堂駅前公園のトイレ及び公園・駐車場の清掃と、公園内の芝生管理及び樹木の剪定について、委託を行いました。 また、公園内の時計と、凍結によるトイレ漏水等の修繕を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前公園トイレ清掃委託 ・駅前公園清掃等委託 ・駅前公園芝生管理等委託 																	
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>1,849,080円</td> <td>駅前公園トイレ清掃委託料 346,740円 (委託先: 有限会社新堂駅管理商会)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>駅前公園清掃等委託料 346,740円 (委託先: 有限会社新堂駅管理商会)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>駅前公園芝生管理等委託料 1,155,600円 (委託先: 有限会社清風園)</td> </tr> <tr> <td>その他事務経費</td> <td>232,625円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,081,705円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	1,849,080円	駅前公園トイレ清掃委託料 346,740円 (委託先: 有限会社新堂駅管理商会)			駅前公園清掃等委託料 346,740円 (委託先: 有限会社新堂駅管理商会)			駅前公園芝生管理等委託料 1,155,600円 (委託先: 有限会社清風園)	その他事務経費	232,625円		計	2,081,705円
経費	金額	摘要																	
委託料	1,849,080円	駅前公園トイレ清掃委託料 346,740円 (委託先: 有限会社新堂駅管理商会)																	
		駅前公園清掃等委託料 346,740円 (委託先: 有限会社新堂駅管理商会)																	
		駅前公園芝生管理等委託料 1,155,600円 (委託先: 有限会社清風園)																	
その他事務経費	232,625円																		
計	2,081,705円																		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	2,092	2,162	2,082	2,154	
		合計(A)	2,092	2,162	2,082	2,154	
	人件費	正規職員	業務量 0.14 人	0.14 人	0.14 人	0.14 人	
			人件費 1,049	1,091	1,091	1,098	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
			人件費				
		小計(B)	1,049	1,091	1,091	1,098	
		合計(A+B)	3,141	3,253	3,173	3,252	
		市民1人当たりのコスト(円)	34	35	34	35	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	公園及びトイレの清掃等作業日数			延べ日数	目標	732	730	730
					実績	730	732	730
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	老朽化した設備もあるため、他の事業も活用するなど、限られた予算内で公園の維持管理を効率的、効果的に行う必要があります。
----	----	---------	---

(款)8土木費(項)4都市計画費(目)5公園費(細目)384緑化推進経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	41	歴史文化や風土と調和した、秩序のあるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-08-04-05-384-01
	施策	4103	伊賀市らしい魅力ある景観を守り、活かす体制づくり	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	緑化推進経費		建設部都市計画課	課長 瀧川 司篤 0595-43-2314

事務事業の概要	対象	庭木等の管理を行う市民											
	目的	整枝剪定に関する知識や技術の向上を図る。											
	内容	都市緑化推進の一環として庭木の整枝剪定講習会を開催し、庭木づくりへの関心や樹木への親しみを深めるとともに、整枝剪定に関する知識や技能の普及により、手入れが行き届いた庭や緑地等の増加を図りました。 講習会1回開催、参加者24名											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>謝礼</td> <td>30,000円</td> <td>庭木の整枝剪定講習会講師謝礼</td> </tr> <tr> <td>その他事務経費</td> <td>16,784円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>46,784円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	謝礼	30,000円	庭木の整枝剪定講習会講師謝礼	その他事務経費	16,784円		計	46,784円
経費	金額	摘要											
謝礼	30,000円	庭木の整枝剪定講習会講師謝礼											
その他事務経費	16,784円												
計	46,784円												

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	67	67	47	60	
		合計(A)	67	67	47	60	
	人件費	正規職員	業務量 0.13 人	0.13 人	0.07 人	0.07 人	
			人件費 974	1,013	546	549	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
			人件費				
		小計(B)	974	1,013	546	549	
		合計(A+B)	1,041	1,080	593	609	
		市民1人当たりのコスト(円)	11	12	7	7	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	参加者数			人	目標	50	50	50
					実績	32	28	24
指標化できない成果				達成	56.0%	48.0%		

方向	継続	課題及び改善案	参加者が減少傾向にあり、周知方法の再検討が必要です。
----	----	---------	----------------------------

整理番号
405 - 0

決算書頁
297

(款)8土木費(項)4都市計画費(目)5公園費(細目)674公園施設長寿命化対策支援事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	41	歴史文化や風土と調和した、秩序のあるまちづくり	平成 27 年度～平成 31 年度	01-08-04-05-674-01	
	4102	快適で潤いある都市空間の形成と安全・安心の公園整備	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	公園施設長寿命化対策支援事業			

事務事業の概要	対象	都市公園の施設																									
	目的	都市公園施設の老朽化に対する安全対策の強化及び将来の改築・更新に係るコストの縮減を図る。																									
	内容	施設の老朽化に伴い、上野運動公園、上野公園及びくれば水辺公園の照明施設の改修、上野南公園のローラースライダーの撤去、しらさぎ運動公園のからくり時計の改修及びさくら公園の遊具改修を実施しました。																									
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th colspan="2">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">施設改修工事費</td> <td rowspan="4">30,386,880円</td> <td>上野公園他施設改修工事</td> <td>5,231,520円</td> </tr> <tr> <td>しらさぎ運動公園他施設改修工事</td> <td>5,287,680円</td> </tr> <tr> <td>上野南公園遊具改修工事</td> <td>13,853,160円</td> </tr> <tr> <td>さくら公園遊具改修工事</td> <td>6,014,520円</td> </tr> <tr> <td>その他工事費(1件)</td> <td>60,480円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他事務経費</td> <td>438,704円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>30,886,064円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要		施設改修工事費	30,386,880円	上野公園他施設改修工事	5,231,520円	しらさぎ運動公園他施設改修工事	5,287,680円	上野南公園遊具改修工事	13,853,160円	さくら公園遊具改修工事	6,014,520円	その他工事費(1件)	60,480円			その他事務経費	438,704円			計	30,886,064円	
経費	金額	摘要																									
施設改修工事費	30,386,880円	上野公園他施設改修工事	5,231,520円																								
		しらさぎ運動公園他施設改修工事	5,287,680円																								
		上野南公園遊具改修工事	13,853,160円																								
		さくら公園遊具改修工事	6,014,520円																								
その他工事費(1件)	60,480円																										
その他事務経費	438,704円																										
計	30,886,064円																										

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	15,000	15,000	15,000	
	地方債	14,400	15,100	14,900	15,100		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	822	869	987	818		
	合計(A)	30,222	30,969	30,887	30,918		
	人件費	正規職員	業務量 0.62 人	0.62 人	0.88 人	0.88 人	
		人件費	4,642	4,831	6,857	6,901	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	4,642	4,831	6,857	6,901		
	合計(A+B)	34,864	35,800	37,744	37,819		
	市民1人当たりのコスト(円)	367	380	401	403		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	事業進捗率			%	目標	17.9	35.8	53.9
					実績	16.6	33.3	
指標化できない成果			達成	92.7%	93.0%			

方向	継続	課題及び改善案	事業期間内においても施設の老朽化は進行していくため、存続の必要性や優先度を見極めながら効率的に整備を進める必要があります。
----	----	---------	---

整理番号
406 - 0

決算書頁
297

(款)8土木費(項)4都市計画費(目)6都市公園整備費(細目)386都市公園整備事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	41	歴史文化や風土と調和した、秩序のあるまちづくり	平成 22 年度～平成 28 年度	01-08-04-06-386-52
	施策	4102	快適で潤いある都市空間の形成と安全・安心の公園整備	担当部署	部・課名等
	事務事業名	しらさぎ運動公園整備事業	建設部都市計画課	評価責任者・連絡先	課長 瀧川 司篤 0595-43-2314

事務事業の概要	対象	防災拠点、スポーツ愛好者、公園利用者		
	目的	防災公園の整備及び運動公園の整備をする。		
	内容	<p>平成27年度に管理棟、多目的グラウンド施設、第1駐車場等の供用を開始しているところですが、平成28年度で全ての工事が完了し、平成29年4月1日より供用開始できるようになりました。</p> <p>総事業費:18億3千万円 整備面積:7.9ha 主な施設:多目的グラウンド1棟、管理棟1棟、トイレ3棟、芝生広場、園路、ターゲットバードゴルフスペース 第1、第2、第3駐車場(計261台)</p>		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	工事費	67,864,522円	公園施設工事	15,727,522円
			施設案内板設置工事	21,628,080円
			園路舗装工事その2	17,256,240円
			植生工事その4	13,252,680円
	その他工事費(8件)	28,469,318円		
	その他事務経費	1,142,157円		
	計	97,475,997円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	65,000	65,000	
	地方債	69,100	67,700	49,800			
	その他	0	0	0			
	一般財源	6,335	3,588	2,676			
	合計(A)	140,435	136,288	97,476	0		
	人件費	正規職員	業務量 1.38 人	1.38 人	0.62 人		
		業務費	10,333	10,752	4,831	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	10,333	10,752	4,831	0	
		合計(A+B)	150,768	147,040	102,307	0	
		市民1人当たりのコスト(円)	1,586	1,560	1,086	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	整備進捗率			%	目標	96	100	
					実績	72	90	100
	指標化できない成果			達成	93.8%	100.0%		

方向	完了	課題及び改善案	残工事の内容の精査を行いながら適切に必要な施設整備を進め、年度内での事業完成が図られた。
----	----	---------	--

(款)8土木費(項)4都市計画費(目)6都市公園整備費(細目)386都市公園整備事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	41	歴史文化や風土と調和した、秩序のあるまちづくり	平成 28 年度～平成 28 年度	01-08-04-06-386-52
	施策	4102	快適で潤いある都市空間の形成と安全・安心の公園整備	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
事務事業名	しらさぎ運動公園整備事業(繰越明許費分)		建設部都市計画課	課長 瀧川 司篤 0595-43-2314	

事務事業の概要	対象	防災拠点、スポーツ愛好者、公園利用者		
	目的	防災公園の整備及び運動公園の整備をする。		
	内容	<p>平成27年度に管理棟、多目的グラウンド施設、第1駐車場等の供用を開始しているところですが、平成28年度で全ての工事が完了し、平成29年4月1日より供用開始できるようになりました。</p> <p>総事業費:18億3千万円 整備面積:7.9ha 主な施設:多目的グラウンド1棟、管理棟1棟、トイレ3棟、芝生広場、園路、ターゲットバードゴルフスペース 第1、第2、第3駐車場(計261台)</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	工事費	92,030,040円	防災施設設置工事	14,180,400円
			トイレ棟建築工事	12,069,000円
			造成工事その7	24,229,282円
			公園施設工事	41,551,358円
	その他工事費(5件)	44,474,600円		
	その他事務経費	554,566円		
	計	137,059,206円		

項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
直接事業費	国県支出金		68,252	68,252	
	地方債		65,600	65,200	
	その他		0	0	
	一般財源		3,514	3,608	
	合計(A)	0	137,366	137,060	
人件費	正規職員	業務量	0.00 人	0.62 人	
		人件費	0	4,831	0
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人
		人件費			
	小計(B)	0	0	4,831	0
合計(A+B)	0	137,366	141,891	0	
市民1人当たりのコスト(円)	0	1,458	1,506	0	

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
整備進捗率		%	目標	96	100	
			実績	72	90	100
指標化できない成果		達成		93.8%	100.0%	

方向	完了	課題及び改善案	残工事の内容の精査を行いながら適切に必要な施設整備を進め、年度内での事業完成が図られた。
----	----	---------	--

整理番号
408 - 0

決算書頁
297

(款)8土木費(項)5住宅費(目)1住宅管理費(細目)387住宅維持管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	41	歴史文化や風土と調和した、秩序のあるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-08-05-01-387-01
	施策	4105	市営住宅の建替・改善事業の推進	担当部署	部・課名等
	事務事業名	住宅管理経費	建設部建築住宅課	評価責任者・連絡先	課長 川瀬 正司 0595-43-2330

事務事業の概要	対象	市営住宅		
	目的	市営住宅の管理や付帯設備である浄化槽等の管理、また、周辺の草刈などを行う。		
	内容	付帯設備である浄化槽の管理や住宅敷地内の草刈などを実施し、適正な維持管理に努めました。また、改良住宅の高架水槽や鳥害対策の業務委託を実施し、住環境整備の向上に努めました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	委託料	31,131,211円	浄化槽清掃等保守点検業務	2,529,900円
			汚水処理施設維持管理業務	9,147,600円
			鳥害対策業務	1,205,280円
			受水槽・高架水槽清掃業務	1,587,600円
			樹木剪定伐採等業務	577,260円
			ほか	
	その他経費	23,728,136円		
	計	54,859,347円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	931	
	地方債	20,400	0	0	0		
	その他	43,987	53,067	50,698	52,869		
	一般財源	3,716	7,531	3,393	14,665		
	合計(A)	68,103	61,529	54,860	68,271		
	人件費	正規職員	業務量 0.60 人	0.60 人	0.40 人	0.40 人	
		人件費	4,493	4,675	3,117	3,137	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	4,493	4,675	3,117	3,137		
	合計(A+B)	72,596	66,204	57,977	71,408		
	市民1人当たりのコスト(円)	764	703	615	760		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	入居率	入居世帯/管理戸数	%	目標		92.5	92.5	92.6
				実績	84.9	82.6	77.8	
指標化できない成果			達成		89.3%	84.1%		

方向	継続	課題及び改善案	老朽化の進んだ住宅が多いので、公共施設最適化計画や公営住宅等長寿命化計画により、適切な建て替えや改修、集約化や用途廃止を進めながら維持管理に努めます。
----	----	---------	---

整理番号
409 - 0

決算書頁
297

(款)8土木費(項)5住宅費(目)1住宅管理費(細目)387住宅維持管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	41	歴史文化や風土と調和した、秩序のあるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-08-05-01-387-02
	施策	4105	市営住宅の建替・改善事業の推進	担当部署	部・課名等
	事務事業名	市営住宅維持補修事業		建設部建築住宅課	評価責任者・連絡先 課長 川瀬 正司 0595-43-2330

事務事業の概要	対象	市営住宅																	
	目的	市営住宅を快適に使用できるよう、不備が発生した箇所について、随時、修繕を行う。																	
	内容	市内にあるすべての公営住宅及び改良住宅について、入居者からの通報により、不備の発生した箇所を確認し、早急に業者への修繕工事の発注を行い、快適な使用環境を整えました。また、優先順位等を考慮して、大規模な改修工事等を実施しました。																	
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修繕料</td> <td>25,416,860円</td> <td>市営住宅募集に伴う入退去修繕(4件) 894,240円 市営住宅等その他の修繕(412件) 24,522,620円</td> </tr> <tr> <td>市営住宅補修工事費</td> <td>10,839,960円</td> <td>西之平団地17号棟屋上防水改修工事 3,240,000円 上之丘団地6号棟電気許容量改修工事 2,372,760円 西之平団地汚水処理場自動微細目スクリーン修繕工事 2,160,000円</td> </tr> <tr> <td>ほか</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>1,830,455円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>38,087,275円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	修繕料	25,416,860円	市営住宅募集に伴う入退去修繕(4件) 894,240円 市営住宅等その他の修繕(412件) 24,522,620円	市営住宅補修工事費	10,839,960円	西之平団地17号棟屋上防水改修工事 3,240,000円 上之丘団地6号棟電気許容量改修工事 2,372,760円 西之平団地汚水処理場自動微細目スクリーン修繕工事 2,160,000円	ほか			その他経費	1,830,455円		計	38,087,275円
経費	金額	摘要																	
修繕料	25,416,860円	市営住宅募集に伴う入退去修繕(4件) 894,240円 市営住宅等その他の修繕(412件) 24,522,620円																	
市営住宅補修工事費	10,839,960円	西之平団地17号棟屋上防水改修工事 3,240,000円 上之丘団地6号棟電気許容量改修工事 2,372,760円 西之平団地汚水処理場自動微細目スクリーン修繕工事 2,160,000円																	
ほか																			
その他経費	1,830,455円																		
計	38,087,275円																		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	958	1,210	2,003	
	地方債	40,100	7,900	6,400	10,900		
	その他	22,706	25,630	29,382	22,470		
	一般財源	6,980	3,631	303	2,452		
	合計(A)	70,744	38,371	38,088	37,857		
	人件費	正規職員	業務量 2.00 人	2.00 人	1.10 人	1.10 人	
		人件費	14,974	15,582	8,571	8,626	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	14,974	15,582	8,571	8,626		
	合計(A+B)	85,718	53,953	46,659	46,483		
	市民1人当たりのコスト(円)	902	573	495	495		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	修繕実施率	修繕対応件数/入居者からの通報件数	%	目標		100	100	100
				実績	100	100	100	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	老朽化の進んだ住宅が多いので、公共施設最適化計画や公営住宅等長寿命化計画により、適切な建て替えや改修、集約化や用途廃止を進めながら維持管理に努めます。
----	----	---------	---

整理番号
410 - 0

決算書頁
299

(款)8土木費(項)5住宅費(目)1住宅管理費(細目)388個人住宅耐震診断支援事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	41	歴史文化や風土と調和した、秩序のあるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-08-05-01-388-51
	施策	4104	既存住宅の耐震診断・耐震補強の促進	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	個人住宅耐震診断支援事業		建設部建築住宅課	課長 川瀬 正司 0595-43-2330

事務事業の概要	対象	個人が所有する昭和56年5月31日以前に着工され、旧建築基準法で建設された、階数が3階以下の木造住宅					
	目的	地震に対する安全性を、客観的に認識できる。また、耐震補強工事費に関する情報が確認できる。					
	内容	市広報と共にケーブルテレビを媒体とした啓発活動、また、地区を設定しての戸別訪問の実施で、耐震診断の受診者を募集しました。その結果、64戸の木造住宅の耐震診断を行い、地震に対する耐震性及び耐震補強工事に関する費用等の情報提供を行いました。					
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>2,964,480円</td> <td>木造住宅耐震診断事業派遣等業務委託 (委託先:三重県木造住宅耐震促進協議会)</td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	2,964,480円
経費	金額	摘要					
委託料	2,964,480円	木造住宅耐震診断事業派遣等業務委託 (委託先:三重県木造住宅耐震促進協議会)					

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	1,597	1,737	2,223	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	534	579	742	579		
	合計(A)	2,131	2,316	2,965	2,316		
人件費	正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	
		人件費	749	780	780	785	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	749	780	780	785		
	合計(A+B)	2,880	3,096	3,745	3,101		
市民1人当たりのコスト(円)			31	33	40	33	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	耐震診断実施率	耐震診断件数/S55年以前の木造住宅数(耐震診断実施済戸数を除く)※H25住宅・土地統計調査より引用	%	目標		0.73	0.73	0.74
				実績	0.27	0.48	0.67	
指標化できない成果			達成		65.8%	91.8%		

方向	<p>継続</p> <p>課題及び改善案</p> <p>目標70戸に対し、実績64戸であったので、更なる周知啓発に努めて、実績値の向上を図ります。今年度も国費等が目標数値分配分されていませんが、今後も予算の範囲内で最大限の実施を目指します。</p>
----	---

整理番号
411 - 0

決算書頁
299

(款)8土木費(項)5住宅費(目)1住宅管理費(細目)389高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	11	健康寿命が長く、安心な医療が受けられるまちづくり	平成 16 年度～平成 31 年度	01-08-05-01-389-51
	施策	1102	市民一人ひとりが健康で健やかに暮らせる環境づくり		
	事務事業名	高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業		担当部署	部・課名等
			建設部建築住宅課	評価責任者・連絡先	
				課長 川瀬 正司 0595-43-2330	

事務事業の概要	対象	バリアフリー化された高齢者向けの民間賃貸住宅を必要としている高齢低所得世帯										
	目的	高齢者の快適な居住環境、安全で安心できる生活を実現する。										
	内容	<p>伊賀市上野恵美須町「エルピスハウス伊賀」の入居高齢者6名分の家賃補助を行い、高齢者が快適で安心できる居住環境の実現に役立てました。</p> <p>(月別補助件数)平成28年 4月 7名 5月 7名 6月 7名 7月 7名 8月 6名 9月 6名 10月 6名 11月 6名 12月 6名 平成29年 1月 6名 2月 6名 3月 6名</p>										
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>1,570,400円</td> <td>高齢者向け優良賃貸住宅家賃補助金</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,570,400円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			経費	金額	摘要	負担金、補助及び交付金	1,570,400円	高齢者向け優良賃貸住宅家賃補助金	計	1,570,400円
経費	金額	摘要										
負担金、補助及び交付金	1,570,400円	高齢者向け優良賃貸住宅家賃補助金										
計	1,570,400円											

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		直接事業費	国県支出金	0	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	1,591	1,985	1,571	1,486		
		合計(A)	1,591	1,985	1,571	1,486		
	人件費	正規職員	業務量	0.01 人	0.01 人	0.01 人	0.01 人	
人件費			75	78	78	79		
臨時・嘱託・再雇用職員		業務量	人	人	人	人		
		人件費						
		小計(B)	75	78	78	79		
		合計(A+B)	1,666	2,063	1,649	1,565		
		市民1人当たりのコスト(円)	18	22	18	17		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	優良住宅利用率	補助件数/優良住宅室数	%	目標		100	100	100
				実績	100	87.5	75.0	
	指標化できない成果		達成		87.5%	75.0%		

方向	<p>縮小</p> <p>課題及び改善案</p> <p>平成26年10月で10年間の国庫補助が終了しましたが、激変緩和措置のため、市費による補助を平成28年度末まで100%継続し、平成29年度から平成31年度までの3ヶ年で段階的に減額し、事業を終了します。</p>
----	---

(款)8土木費(項)5住宅費(目)1住宅管理費(細目)390住宅・建築物耐震改修等事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	41	歴史文化や風土と調和した、秩序のあるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-08-05-01-390-51
	施策	4104	既存住宅の耐震診断・耐震補強の促進	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	住宅・建築物耐震改修等事業		建設部建築住宅課	課長 川瀬 正司 0595-43-2330

事務事業の概要	対象	耐震診断の結果、巨大地震発生時に倒壊の可能性が高いと診断された木造建築物。高齢者・障がい者宅の家具。											
	目的	地震に対して倒壊または大破壊する住宅を削減し、宅内家具の転倒による2次災害等を削減する。また、大災害時の行政負担を軽減できる。											
	内容	<p>昭和56年5月31日以前の旧建築基準法で建築された木造住宅を対象とし、無料耐震診断での評点0.7未満の住宅を1.0以上に耐震改修に係る、設計費、改修費の補助を行うとともに、同時に行うリフォームについても補助を行いました。また、市内の高齢者、障がい者宅居室内の家具3台を固定し、家具の固定の重要性等について周知啓発を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅耐震補強設計事業 8戸 ・木造住宅耐震補強事業 3戸 ・リフォーム事業 2戸 ・災害時要援護者宅家具固定事業 18戸 											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>79,704円</td> <td>災害時要援護者宅家具固定事業にかかる固定金具</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>5,360,000円</td> <td>耐震補強設計事業費補助金 8戸 1,280,000円 耐震補強事業費補助金 3戸 4,080,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5,439,704円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	消耗品費	79,704円	災害時要援護者宅家具固定事業にかかる固定金具	負担金、補助及び交付金	5,360,000円	耐震補強設計事業費補助金 8戸 1,280,000円 耐震補強事業費補助金 3戸 4,080,000円	計	5,439,704円
経費	金額	摘要											
消耗品費	79,704円	災害時要援護者宅家具固定事業にかかる固定金具											
負担金、補助及び交付金	5,360,000円	耐震補強設計事業費補助金 8戸 1,280,000円 耐震補強事業費補助金 3戸 4,080,000円											
計	5,439,704円												

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	8,054	10,179	
人件費	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	3,557	5,487	1,923	4,088		
	合計(A)	11,611	15,666	5,440	12,548		
	正規職員	業務量 0.05 人	0.05 人	0.05 人	0.05 人		
人件費	375	390	390	393			
臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人			
人件費							
小計(B)	375	390	390	393			
合計(A+B)	11,986	16,056	5,830	12,941			
市民1人当たりのコスト(円)			127	171	62	138	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	耐震補強実施率	耐震補強実施件数/無料耐震診断で評点0.7未満の住宅	%	目標		9.6	7.5	7.2
				実績	7.3	7.3	7.1	
指標化できない成果			達成		15.0%	15.0%		

方向	<p>継続</p> <p>課題及び改善案</p> <p>目標5件に対し実績3件であったが、国費等の配分額が不足しており、十分な補助ができなかった。今後も限られた予算の中で最大限の補助ができるように更なる周知啓発に努めて、実績値の向上を図ります。</p>
----	---

(款)8土木費(項)5住宅費(目)1住宅管理費(細目)407移住促進空き家改修事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	63 地域活動や地域産業などの担い手が育ち、活躍するまちづくり	平成 28 年度～平成 32 年度	01-08-05-01-407-51
	施策	6302 地域の人材育成の促進	担当部署	部・課名等
	事務事業名	移住促進空き家改修事業	建設部建築住宅課	評価責任者・連絡先 課長 川瀬 正司 0595-43-2330

事務事業の概要	対象	県外からの移住者		
	目的	県外から移住を促進する。		
	内容	伊賀市内の空き家住宅又は空き建築物を住宅として使用するために必要な改修工事に対し補助を行い、移住の促進を図った。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	負担金、補助及び交付金	244,000円	移住促進のための空き家リノベーション支援事業費補助金 1戸	

全体コスト(千円)	事業費	項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	人件費					
		国県支出金			2,000	122	2,000	移住促進のための空き家リノベーション支援事業費補助金
		地方債			0	0	0	
		その他			0	0	0	
		一般財源			2,000	122	2,000	
		合計(A)		0	4,000	244	4,000	
	人件費	正規職員	業務量	人	0.01	0.01	0.01	
			人件費	0	78	78	79	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
		小計(B)		0	78	78	79	
		合計(A+B)		0	4,078	322	4,079	
		市民1人当たりのコスト(円)		0	44	4	44	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	移住促進の措置	補助件数/予算額(件数)	戸	目標		-	2	2
				実績	-	-	1	
指標化できない成果			達成		-	50.0%		

方向	継続	課題及び改善案	空き家バンク等を利用して、住宅改修を希望する人が増えつつあるなかで、ニーズの高い補助制度ではあるものの、移住後の補助申請期限が6ヶ月以内であり、特に旧耐震基準で建築された住宅では、耐震性の確保も同時に必要となるため、耐震補強に至るまでの準備期間等を考慮すると、補助申請に間に合わないケースがあります。このことから、県の補助要綱と併せて補助申請期限の見直しの検討が必要です。
----	----	---------	--

(款)9消防費(項)1消防費(目)1常備消防費(細目)393常備消防一般管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	21 自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-09-01-01-393-01
	施策	2104 消防体制の強化推進	担当部署	部・課名等
	事務事業名	常備消防一般管理経費	消防本部消防総務課	評価責任者・連絡先 課長 城戸 直人 0595-24-9100

事務事業の概要	対象	伊賀市民																										
	目的	現場装備品を適切に更新・整備することで、安全安心なまちづくりを推進する。																										
	内容	火災・救急・救助活動のために各署所の消防車両など現場装備品の更新・整備を実施し、装備の充実により、円滑な消防活動を実施しました。																										
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>旅費</td> <td>518,380円</td> <td>一般旅費・研修会・研究会旅費</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>41,802,544円</td> <td>消耗品費・燃料費・印刷製本費・光熱水費・修繕料</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>9,342,856円</td> <td>通信運搬費・手数料・火災保険料・自動車損害保険</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>5,034,729円</td> <td>施設設備保守点検委託料・施設維持管理委託料等(日本電気株式会社三里支店ほか)</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>9,414,015円</td> <td>電算機借上料・機械器具借上料等</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>4,935,492円</td> <td>機械器具購入費・管理用備品購入費</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>2,008,720円</td> <td>全国消防長会負担金・三重県防災行政無線負担金等</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>73,056,736円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	旅費	518,380円	一般旅費・研修会・研究会旅費	需用費	41,802,544円	消耗品費・燃料費・印刷製本費・光熱水費・修繕料	役務費	9,342,856円	通信運搬費・手数料・火災保険料・自動車損害保険	委託料	5,034,729円	施設設備保守点検委託料・施設維持管理委託料等(日本電気株式会社三里支店ほか)	使用料及び賃借料	9,414,015円	電算機借上料・機械器具借上料等	備品購入費	4,935,492円	機械器具購入費・管理用備品購入費	その他経費	2,008,720円	全国消防長会負担金・三重県防災行政無線負担金等	計	73,056,736円
経費	金額	摘要																										
旅費	518,380円	一般旅費・研修会・研究会旅費																										
需用費	41,802,544円	消耗品費・燃料費・印刷製本費・光熱水費・修繕料																										
役務費	9,342,856円	通信運搬費・手数料・火災保険料・自動車損害保険																										
委託料	5,034,729円	施設設備保守点検委託料・施設維持管理委託料等(日本電気株式会社三里支店ほか)																										
使用料及び賃借料	9,414,015円	電算機借上料・機械器具借上料等																										
備品購入費	4,935,492円	機械器具購入費・管理用備品購入費																										
その他経費	2,008,720円	全国消防長会負担金・三重県防災行政無線負担金等																										
計	73,056,736円																											

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		その他	3,071	3,250	3,455		3,070
		一般財源	78,760	69,109	69,602		70,131
		合計(A)	81,831	72,359	73,057		73,201
事業費	人件費	正規職員	業務量 178.00 人	185.00 人	178.00 人	178.00 人	
		人件費	1,332,686	1,441,335	1,386,798	1,395,698	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	1,332,686	1,441,335	1,386,798	1,395,698	
合計(A+B)	1,414,517	1,513,694	1,459,855	1,468,899			
市民1人当たりのコスト(円)		14,880	16,057	15,486	15,627		

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
指標	現場装備品が不足した回数	回	目標	0	0	0
			実績	0	0	0
指標化できない成果	経常経費に係る経常的な経費	達成		100.0%	100.0%	

方向	充実	課題及び改善案 防火衣は購入から10年以上経過し、耐用年数を超過していることから、平成27年度より計画的に更新・購入している。消防ホース等の現場装備品も計画的な購入をしている。しかし、当初の計画数の継続購入が困難なため、見直しが必要です。
----	----	--

(款)9消防費(項)1消防費(目)1常備消防費(細目)395消防職員研修経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	21 自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	平成 25 年度～平成 32 年度	01-09-01-01-395-51
	施策	2105 救急・救助体制の強化	担当部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
事務事業名	消防職員研修経費	消防本部消防総務課	課長 城戸 直人 0595-24-9100	

事務事業の概要	対象	消防職員		
	目的	救急救命士として専門的な知識、技術を取得し、高度化した救急業務に対応する。救急救命研修所・消防大学校・消防学校に入学し専門的な知識と技術を身に付け、各種災害被害を軽減する。		
	内容	救急救命士養成のため、救急救命研修所及び消防・救急知識技術の習得のため、消防大学校・消防学校で研修を受けました。 27名（救急救命研修所1名・消防大学校1名・消防学校25名）		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	旅費	1,754,340円	消防学校入校等旅費	
	需用費	80,692円	消耗品費	
	役務費	46,100円	国家試験受験料・免許申請手数料	
	委託料	1,248,000円	救急救命士病院研修委託料(上野総合市民病院ほか)	
	負担金・補助及び交付金	5,200,180円	救急救命士研修負担金・研修会等参加負担金	
	計	8,329,312円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	10,475	8,845	8,330	5,903
		合計(A)	10,475	8,845	8,330	5,903
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
		人件費	0	0	0	0
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人
		人件費				
		小計(B)	0	0	0	0
合計(A+B)	10,475	8,845	8,330	5,903		
市民1人当たりのコスト(円)		111	94	89	63	

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
指標	救急救命研修所及び消防大学校・消防学校各課程修了者数	人	目標		41	28
			実績	38	41	27
指標化できない成果		達成		100.0%	96.0%	

方向	継続	課題及び改善案	救急救命士の処置拡大に伴い研修が増加する傾向にある。より高度な知識技術の習得のため消防大学校に長期間の研修出向時は勤務人員確保の調整が必要です。
----	----	---------	--

(款)9消防費(項)1消防費(目)1常備消防費(細目)666救急活動関係経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	21 自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	平成 25 年度～平成 32 年度	01-09-01-01-666-51
	施策	2105 救急・救助体制の強化	担当部署	部・課名等
事務事業名	救急活動関係経費	消防本部消防総務課	評価責任者・連絡先	課長 城戸 直人 0595-24-9100

事務事業の概要	対象	救急装備品		
	目的	救急装備品を適切に管理し適正な救急活動を行う。		
	内容	救急業務に係る経常的な経費や救急装備品を更新・整備しました。平成28年中は救急件数4,583件で搬送人員4,173人でした。救急救命士の処置拡大が実施され、心肺機能停止前の重度傷病者に対して、ブドウ糖投与13件 静脈路確保と輸液105件 実施しました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	旅費	727,300円	県内外救急・転院搬送等	
	需用費	7,849,957円	消耗品費・印刷製本費・修繕料・医薬材料費	
	役務費	1,158,862円	手数料・自動車損害保険料・賠償責任保険料	
	委託料	810,648円	施設整備保守点検料・廃棄物処理委託料	
	使用料及び賃貸料	967,680円	AEDリース	
	公課費	131,200円	自動車重量税	
	計	11,645,647円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 救急活動に伴う救急用品、医薬品、救急用毛布クリーニング、医療廃棄物処理料等
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	11,363	11,030	11,646	11,173	
	合計(A)	11,363	11,030	11,646	11,173			
	人件費	正規職員	業務量	0.30 人	0.30 人	0.32 人	0.33 人	
			人件費	2,247	2,338	2,494	2,588	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		2,247	2,338	2,494	2,588			
合計(A+B)	13,610	13,368	14,140	13,761				
市民1人当たりのコスト(円)			144	142	150	147		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	救急救命士の特定行為実施数	救急救命士が実施した高度救命処置による救命行為数。	件	目標	-	-	-
				実績	-	161	249
指標化できない成果	指標の性質上、目標の設定ができない。	達成					

方向	充実	課題及び改善案	処置拡大認定救命士が増えるとともに処置件数も増え、病気や交通事故等の重度傷病状態の方にとって有益なことから、救急救命士の育成及び教育を充実させる必要がある。
----	----	---------	--

(款)9消防費(項)1消防費(目)2非常備消防費(細目)397消防団本部管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	21 自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-09-01-02-397-01
	施策	2106 非常備消防体制の充実強化	担当部署	部・課名等
事務事業名	消防団本部管理経費	消防本部消防救急課	評価責任者・連絡先	課長 宮本 啓吾 0595-24-9115

事務事業の概要	対象	消防団																										
	目的	各種災害に対応すべく、消防団員の確保を図るため団員に対し活動意欲を喚起する体制作りを行う。																										
	内容	「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律(平成25年制定)」が示すとおり、地域防災力の中核を担う消防団が地域の安全・安心を確保するために果たす役割は極めて大きい。少子高齢化社会での消防団員の確保は困難であり、大規模災害や昼間の消防団活動を補完するため、支援団員(機能別団員)の確保を行なうとともに、女性消防団員の普及啓発活動等と合わせ入団促進を実施しました。 さらに、消防団幹部がアドバイザーとなり、自主防災組織リーダーと研修を行い、災害対策にかかる地域の状況把握と防災活動を共有し、更なる地域連携を深めました。また、全国女性消防団員活性化大会や近隣市町(奈良市)との交流研修や防災訓練にも参加し、災害対応、消防団活動について情報交換を行い交流を深めました。台風等の警戒警備、火災、行方不明者の捜索の出動など各種災害に出動し対応しました。災害対応訓練(夏期訓練など)、啓発訪問、消防団応急手当普及員による救命講習会等々の消防団活動を補完すべく体制を整備し、その活動を広報することで、団員の活動意欲を高め消防団の士気をあげ、消防団員確保に繋げました。																										
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>41,562,100円</td> <td>団員報酬・出動手当</td> </tr> <tr> <td>消防団員福祉共済</td> <td>4,410,000円</td> <td>福祉共済加入金</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>24,661,541円</td> <td>退職消防団員報奨金</td> </tr> <tr> <td>燃料費</td> <td>1,279,234円</td> <td>積載車・消防ポンプ燃料代</td> </tr> <tr> <td>光熱水費</td> <td>1,041,864円</td> <td>消防ポンプ庫電気、水道料金</td> </tr> <tr> <td>修繕料</td> <td>5,551,657円</td> <td>団車両整備、修理・ポンプ修理など</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>50,581,087円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>129,087,483円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報酬	41,562,100円	団員報酬・出動手当	消防団員福祉共済	4,410,000円	福祉共済加入金	報償費	24,661,541円	退職消防団員報奨金	燃料費	1,279,234円	積載車・消防ポンプ燃料代	光熱水費	1,041,864円	消防ポンプ庫電気、水道料金	修繕料	5,551,657円	団車両整備、修理・ポンプ修理など	その他	50,581,087円		計	129,087,483円	
経費	金額	摘要																										
報酬	41,562,100円	団員報酬・出動手当																										
消防団員福祉共済	4,410,000円	福祉共済加入金																										
報償費	24,661,541円	退職消防団員報奨金																										
燃料費	1,279,234円	積載車・消防ポンプ燃料代																										
光熱水費	1,041,864円	消防ポンプ庫電気、水道料金																										
修繕料	5,551,657円	団車両整備、修理・ポンプ修理など																										
その他	50,581,087円																											
計	129,087,483円																											

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国庫支出金	9,066	10,000	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	24,040	45,950	24,592	45,950		
	一般財源	98,972	106,671	95,541	98,467		
	合計(A)	132,078	162,621	129,088	154,417		
人件費	正規職員	業務量 0.96 人	0.96 人	0.96 人	0.96 人		
	人件費	7,188	7,480	7,480	7,528		
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人		
	人件費						
	小計(B)	7,188	7,480	7,480	7,528		
	合計(A+B)	139,266	170,101	136,568	161,945		
	市民1人当たりのコスト(円)	1,465	1,805	1,449	1,723		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	消防団員数		消防機械器具整備とともに、基本団員・支援団員の入団促進を図り定数1,510名の団員を確保する。	人	目標	1,510	1,510	1,510
					実績	1,476	1,471	1,471
指標化できない成果			達成	97.4%	97.4%			

方向	継続	課題及び改善案	市域が広範であるため各地域で災害に対応する消防団員の確保が必須です。消防団員定数等については、団長、副団長により現体制を検証し平成30年4月を目途に適正な体制となるよう協議を進めます。
----	----	---------	--

(款)9消防費(項)1消防費(目)2非常備消防費(細目)397消防団本部管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	21 自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-09-01-02-397-51
	施策	2106 非常備消防体制の充実強化	担当部署	部・課名等
事務事業名	消防操法大会出場経費	消防本部消防救急課	評価責任者・連絡先	課長 宮本 啓吾 0595-24-9115

事務事業の概要	対象	消防団員		
	目的	消防団員の技術の向上と士気の高揚を図る。		
	内容	三重県消防操法大会は、2年に1度開催され、伊賀市消防団は、小型ポンプの部で優勝をしました。全国大会に向けて県大会を制した後も更に練習を重ね、長野県で10月14日に開かれた「第25回全国消防操法大会 小型ポンプの部」に三重県代表として初優勝の栄誉に輝きました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	4,676,400円	団員大会出場出動手当	
	旅費	618,100円	日当・旅費・宿泊代	
	消耗品費	943,728円	選手用活動服・皮手袋・ヘルメット等	
	会場借上料等	139,080円	長野市営犀第二運動場他	
	運行業務委託料	803,260円	大会に係るバス運行業務委託料	
	備品購入費	1,114,776円	大会用消防器具購入	
	その他	324,284円		
	計	8,619,628円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金		0	0	
		地方債		0	0	
		その他		0	0	
		一般財源		4,832	8,620	0
		合計(A)	0	4,832	8,620	0
事業費	人件費	正規職員	業務量	0.20 人	0.20 人	
			人件費	0	1,559	0
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量			
			人件費			
		小計(B)	0	1,559	1,559	0
合計(A+B)	0	6,391	10,179	0		
市民1人当たりのコスト(円)		0	68	108	0	

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
県大会目標成績	優勝を目標	順位	目標		1	
			実績	2		1
指標化できない成果	基本訓練等の回数と大会結果	達成			100.0%	

方向	継続	課題及び改善案	特定の分団から選手を選抜すると分団の負担が大きいため、今年度は各分団から選手の選抜をしたことで消防団全体の結束が図れた。消防操法は、消防隊が火事現場で放水する基礎であり、消防団員が相互に連携し活動を行ううえで重要な事業である。
----	----	---------	---

整理番号
419 - 0

決算書頁
305

(款)9消防費(項)1消防費(目)3消防施設費(細目)398消防施設整備事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	21	自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-09-01-03-398-52
	施策	2106	非常備消防体制の充実強化	担当部署	部・課名等
	事務事業名	防災基盤整備事業	消防本部消防救急課	評価責任者・連絡先	課長 宮本 啓吾 0595-24-9115

事務事業の概要	対象	消防団											
	目的	耐震性貯水槽の新設、小型動力ポンプを配備することにより消火活動対応を可能にする。											
	内容	消防水利の低充足地に耐震性貯水槽 4基(上高尾・西之澤・予野・三田)を新設しました。災害時における孤立化地域との通信手段を確保するため、孤立化防止対策推進事業でIP無線15台を購入しました。災害時における要援護者対策として、避難時に活用する折りたたみ式リヤカー10台を購入しました。											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事請負費</td> <td>19,787,600円</td> <td>耐震性貯水槽新設工事</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>3,348,000円</td> <td>IP無線 1,857,600円 折りたたみ式リヤカー 1,490,400円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>23,135,600円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	工事請負費	19,787,600円	耐震性貯水槽新設工事	備品購入費	3,348,000円	IP無線 1,857,600円 折りたたみ式リヤカー 1,490,400円	計	23,135,600円
経費	金額	摘要											
工事請負費	19,787,600円	耐震性貯水槽新設工事											
備品購入費	3,348,000円	IP無線 1,857,600円 折りたたみ式リヤカー 1,490,400円											
計	23,135,600円												

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	10,000	10,701	10,673	
	地方債	11,000	14,500	11,600	5,700		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	508	2,201	863	300		
		合計(A)	21,508	27,402	23,136	12,000	
	人件費	正規職員	業務量 0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	耐震性貯水槽4基新設 IP無線 15台 折りたたみ式リヤカー 10台
		人件費	749	780	780	785	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	749	780	780	785	
		合計(A+B)	22,257	28,182	23,916	12,785	
		市民1人当たりのコスト(円)	235	299	254	137	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	全体更新率	耐用年数内ポンプ(20年以内)/小型動力ポンプ保有数(115台)	%	目標		100.0	100.0	100.0
				実績	99.1	95.7	91.3	
	指標化できない成果		達成		95.7%	91.3%		

方向	継続	課題及び改善案	平成25年4月に消防団適正化計画に基づき、小型動力ポンプ付積載車の配置換え及び、組織改革を実施したが、平成30年4月を目途に現体制を検証し、消防団長、副団長が主となり不備を再編成行なうよう協議を進めます。
----	----	---------	--

整理番号
420 - 0

決算書頁
305

(款)9消防費(項)1消防費(目)3消防施設費(細目)398消防施設整備事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	21	自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-09-01-03-398-53
	施策	2106	非常備消防体制の充実強化	担当部署	部・課名等
	事務事業名	市単消防施設整備事業		消防本部消防救急課	評価責任者・連絡先 課長 宮本 啓吾 0595-24-9115

事務事業の概要	対象	防火水槽、消防ポンプ庫、ホース乾燥柱及び消火栓等の消防施設																					
	目的	消防施設を適切に維持管理することにより、各種災害に迅速に対応する。																					
	内容	<p>上野福居町のホース乾燥柱設置工事を実施しました。 円徳院防火水槽周辺改修工事を実施しました。 防火水槽漏水などの修理を行いました。 露出防火水槽にかかるフェンスや標識、支柱等の修繕資材を購入し、安全を確保しました。 消火栓の新設、修繕費として水道部へ繰出金を支出しました。</p>																					
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>16,416円</td> <td>防火水槽標示用テープ</td> </tr> <tr> <td>修繕料</td> <td>200,200円</td> <td>防火水槽漏水補修修繕等</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>1,013,774円</td> <td>ホース乾燥柱設置工事・防火水槽周辺改修工事</td> </tr> <tr> <td>原材料費</td> <td>352,895円</td> <td>露出防火水槽等修繕資機材、</td> </tr> <tr> <td>繰出金</td> <td>6,450,510円</td> <td>水道事業会計繰出金 消火栓に要する経費</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8,033,795円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	消耗品費	16,416円	防火水槽標示用テープ	修繕料	200,200円	防火水槽漏水補修修繕等	工事請負費	1,013,774円	ホース乾燥柱設置工事・防火水槽周辺改修工事	原材料費	352,895円	露出防火水槽等修繕資機材、	繰出金	6,450,510円	水道事業会計繰出金 消火栓に要する経費	計	8,033,795円	
経費	金額	摘要																					
消耗品費	16,416円	防火水槽標示用テープ																					
修繕料	200,200円	防火水槽漏水補修修繕等																					
工事請負費	1,013,774円	ホース乾燥柱設置工事・防火水槽周辺改修工事																					
原材料費	352,895円	露出防火水槽等修繕資機材、																					
繰出金	6,450,510円	水道事業会計繰出金 消火栓に要する経費																					
計	8,033,795円																						

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	14,578	10,364	8,034	43,513		
	合計(A)	14,578	10,364	8,034	43,513		
人件費	正規職員	業務量	0.32 人	0.32 人	0.32 人	0.32 人	
		人件費	2,396	2,494	2,494	2,510	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	2,396	2,494	2,494	2,510		
	合計(A+B)	16,974	12,858	10,528	46,023		
	市民1人当たりのコスト(円)	179	137	112	490		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	消防施設の新設及び修繕	ホース乾燥柱新設 防火水槽周辺の改修 防火水槽等の修理	1件 1件 5件	件	目標	7	7	7
					実績	8	7	7
指標化できない成果				達成	100.0%	100.0%		

方向	<p>継続</p> <p>課題及び改善案</p> <p>既設の防火水槽など消防施設の維持管理について、地区要望から緊急を要するものを優先し、各種災害に迅速な対応ができるよう実施します。 毎年2基をコンクリート消防ホース乾燥柱へ建替計画をしていますが、平成29年には猿野地区にサイレン・ホース乾燥柱設置工事を実施します。</p>
----	---

整理番号
421 - 0

決算書頁
305

(款)9消防費(項)1消防費(目)3消防施設費(細目)398消防施設整備事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	21 自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	平成 23 年度～平成 29 年度	01-09-01-03-398-55
	施策	2104 消防体制の強化推進	担当部署	部・課名等
	事務事業名	消防救急無線デジタル化事業	消防本部消防総務課	評価責任者・連絡先 課長 城戸 直人 0595-24-9100

事務事業の概要	対象	消防無線											
	目的	デジタル波への移行を行う。											
	内容	電波法改正により、平成28年5月末日で消防無線はアナログ波からデジタル波への移行が法令で決まっており、計画的に整備を実施し、平成28年2月8日から移行運用を開始しました。											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>3,898,800円</td> <td>消防救急デジタル無線設備共通波移設業務委託</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>8,447,135円</td> <td>消防救急無線デジタル化整備負担金</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12,345,935円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	3,898,800円	消防救急デジタル無線設備共通波移設業務委託	負担金、補助及び交付金	8,447,135円	消防救急無線デジタル化整備負担金	計	12,345,935円
経費	金額	摘要											
委託料	3,898,800円	消防救急デジタル無線設備共通波移設業務委託											
負担金、補助及び交付金	8,447,135円	消防救急無線デジタル化整備負担金											
計	12,345,935円												

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			直接事業費	国県支出金	0	0		0
		地方債	139,300	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	3,779	20,112	12,346	7,948		
		合計(A)	143,079	20,112	12,346	7,948		
	人件費	正規職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
			人件費	0	0	0	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
		小計(B)	0	0	0	0		
		合計(A+B)	143,079	20,112	12,346	7,948		
		市民1人当たりのコスト(円)	1,506	214	131	85		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	総事業に対する進捗率	デジタル工事の進捗	%	目標		100	-	-
				実績	55	100	-	
指標化できない成果			達成		100.0%	-		

方向	継続	課題及び改善案	
----	----	---------	--

整理番号
422 - 0

決算書頁
305

(款)9消防費(項)1消防費(目)3消防施設費(細目)399庁舎整備事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	21 自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	平成 16 年度～平成 28 年度	01-09-01-03-399-54
	施策	2104 消防体制の強化推進	担当 部署	部・課名等
	事務事業名	消防本部新庁舎整備事業		消防本部消防総務課

事務事業の概要	対象	消防本部新庁舎														
	目的	各種災害に強い消防本部庁舎を整備することにより迅速な対応と活動を実施する。														
	内容	消防本部新庁舎・訓練棟の整備を実施し、平成28年9月28日に竣工式を行い、平成28年11月21日に稼働しました。														
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>役員費</td> <td>308,000円</td> <td>手数料</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>3,254,000円</td> <td>新庁舎意図伝達業務</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>613,287,223円</td> <td>庁舎建築工事、庁舎及び付帯施設整備工事 庁舎場内道路整備工事</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>616,849,223円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	役員費	308,000円	手数料	委託料	3,254,000円	新庁舎意図伝達業務	工事請負費	613,287,223円	庁舎建築工事、庁舎及び付帯施設整備工事 庁舎場内道路整備工事	計	616,849,223円
経費	金額	摘要														
役員費	308,000円	手数料														
委託料	3,254,000円	新庁舎意図伝達業務														
工事請負費	613,287,223円	庁舎建築工事、庁舎及び付帯施設整備工事 庁舎場内道路整備工事														
計	616,849,223円															

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	42,983	31,320		平成28年度 指令台・デジタル無線・三重県防災行政無線新庁舎移設 新庁舎庁内LAN及び電話工事 備品・引越し
		地方債	547,200	563,100	556,200		
		その他	0	0	0		
		一般財源	28,810	29,637	29,330		
		合計(A)	576,010	635,720	616,850	0	
人件費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	人	
		人件費	0	0	0	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	0	0	0	0		
合計(A+B)	576,010	635,720	616,850	0			
市民1人当たりのコスト(円)		6,060	6,744	6,544	0		

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
総事業に対する進捗率	新消防本部庁舎(訓練棟を含む) 決算額(見込分/総事業費)	%	目標		87.54	100.00
			実績	10.52	87.54	100.00
指標化できない成果		達成		100.0%	100.0%	

方向	完了	課題及び改善案	計画通り新庁舎を維持管理していく。
----	----	---------	-------------------

整理番号
423 - 0

決算書頁
305

(款)9消防費(項)1消防費(目)3消防施設費(細目)399庁舎整備事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	21	自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	平成 28 年度～平成 28 年度	01-09-01-03-399-54
	施策	2104	消防体制の強化推進	担当部署	部・課名等
	事務事業名	消防本部新庁舎整備事業(通次繰越分)		消防本部消防総務課	評価責任者・連絡先 課長 城戸 直人 0595-24-9100

事務事業の概要	対象	消防本部新庁舎																	
	目的	各種災害に強い消防本部庁舎を整備することにより迅速な対応と活動を実施する。																	
	内容	消防本部新庁舎・訓練棟の整備を実施し、平成28年9月28日に竣工式を行い、平成28年11月21日に移動しました。																	
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>役務費</td> <td>128,700円</td> <td>手数料</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>15,944,640円</td> <td>新庁舎整備事業工事管理業務 計画変更申請用図面作成業務 他</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>68,110,000円</td> <td>庁舎建設工事費 庁舎場内道路整備工事</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>1,398,892円</td> <td>初度備品購入費</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>85,582,232円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	役務費	128,700円	手数料	委託料	15,944,640円	新庁舎整備事業工事管理業務 計画変更申請用図面作成業務 他	工事請負費	68,110,000円	庁舎建設工事費 庁舎場内道路整備工事	備品購入費	1,398,892円	初度備品購入費	計	85,582,232円
経費	金額	摘要																	
役務費	128,700円	手数料																	
委託料	15,944,640円	新庁舎整備事業工事管理業務 計画変更申請用図面作成業務 他																	
工事請負費	68,110,000円	庁舎建設工事費 庁舎場内道路整備工事																	
備品購入費	1,398,892円	初度備品購入費																	
計	85,582,232円																		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金		0	0	
		地方債		74,100	74,100		
		その他		0	0		
		一般財源		182,501	11,483		
		合計(A)	0	256,601	85,583	0	
	人件費	正規職員	業務量	10.00 人	10.00 人		
			人件費	0	77,910	77,910	0
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量				
			人件費				
		小計(B)	0	77,910	77,910	0	
		合計(A+B)	0	334,511	163,493	0	
		市民1人当たりのコスト(円)	0	3,549	1,735	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	総事業に対する進捗率	新消防本部庁舎(訓練棟を含む)決算額(見込分/総事業費)	%	目標		87.54	100.00	
				実績	10.52	87.54	100.00	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	完了	課題及び改善案
----	----	---------

整理番号
424 - 0

決算書頁
305

(款)9消防費(項)1消防費(目)4水防費(細目)401水防経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	21	自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-09-01-04-401-01
	施策	2104	消防体制の強化推進	担当部署	部・課名等
	事務事業名	水防経費	消防本部消防救急課	評価責任者・連絡先	課長 宮本 啓吾 0595-24-9115

事務事業の概要	対象	消防、自主防災組織(市民)											
	目的	市民の生命・財産をまもるため風水害等の災害に備える。											
	内容	風水害等の災害に備え、水防資機材を備蓄整備しました。 土のう袋、防水シートの水防資機材と安全対策として救命胴衣を購入し、災害の対応に備えました。 伊賀市消防団が夏期訓練(7月6日)において水防訓練を行い、積み土のう、シート張り工法などの技術の修得を行い、作成した土のうを各分団で備蓄し、台風などの水害に備えました。											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>85,320円</td> <td>土のう袋・ブルーシート</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>81,000円</td> <td>救命胴衣</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>166,320円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	消耗品費	85,320円	土のう袋・ブルーシート	備品購入費	81,000円	救命胴衣	計	166,320円
経費	金額	摘要											
消耗品費	85,320円	土のう袋・ブルーシート											
備品購入費	81,000円	救命胴衣											
計	166,320円												

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	201	171	167	75		
		合計(A)	201	171	167	75	ブルーシート購入 26年度 50枚 27年度 6枚 28年度 20枚
人件費	正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	
		人件費	749	780	780	785	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		小計(B)	749	780	780	785	ライフジャケット購入 26年度 10着 27年度 10着 28年度 10着
	合計(A+B)	950	951	947	860		
		市民1人当たりのコスト(円)	10	11	11	10	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	土のう袋の保有状況	水防活動に使用した土のう袋の補充及び備蓄	枚	目標		18,000	18,000	18,000
				実績	17,000	17,900	18,000	
指標化できない成果			達成		99.4%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	近年の台風、局地的豪雨に備え、災害時初動体制を確保し、被害を最小限に食い止めるためにも、現状での資機材を堅持し、今後も備蓄の継続を実施します。
----	----	---------	---

整理番号
425 - 0

決算書頁
307

(款)10教育費(項)1教育総務費(目)1教育委員会費(細目)402委員会事務管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	53	将来を支える子どもたちが充実した教育を受けられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-01-01-402-01
	施策	5301	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を推進する体制づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	委員会管理経費	教育委員会教育総務課	評価責任者・連絡先	課長 馬場 清 0595-47-1280

事務事業の概要	対象	教育委員会														
	目的	教育委員会活動により教育の振興を図る。														
	内容	教育委員会の円滑な運営に努めました。 教育委員会定例会及び臨時会の開催(13回) 委員研修の実施(3回 4日) 教育委員学校施設及び教育施設訪問の実施(4日) 教育行政評価委員会の運営(3回)														
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>3,420,000円</td> <td>教育委員報酬(4人) 3,312,000円 教育行政評価委員報酬 108,000円 (延べ18人 3回開催)</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>147,120円</td> <td>三重県市町教育委員会連絡協議会負担金</td> </tr> <tr> <td>その他事務経費</td> <td>175,672円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,742,792円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報酬	3,420,000円	教育委員報酬(4人) 3,312,000円 教育行政評価委員報酬 108,000円 (延べ18人 3回開催)	負担金、補助及び交付金	147,120円	三重県市町教育委員会連絡協議会負担金	その他事務経費	175,672円		計	3,742,792円
経費	金額	摘要														
報酬	3,420,000円	教育委員報酬(4人) 3,312,000円 教育行政評価委員報酬 108,000円 (延べ18人 3回開催)														
負担金、補助及び交付金	147,120円	三重県市町教育委員会連絡協議会負担金														
その他事務経費	175,672円															
計	3,742,792円															

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	3,802	3,840	3,743	3,837	
		合計(A)	3,802	3,840	3,743	3,837	
	人件費	正規職員	業務量 0.20 人	0.20 人	0.25 人	0.25 人	
		人件費	1,498	1,559	1,948	1,961	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	1,498	1,559	1,948	1,961	
		合計(A+B)	5,300	5,399	5,691	5,798	
		市民1人当たりのコスト(円)	56	58	61	62	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	教育委員会等の開催回数	定例会、臨時会、委員協議会の開催回数	回	目標		13	13	13
				実績	13	13	13	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	継続 課題及び改善案 市長が招集する総合教育会議において、教育大綱を新たに策定した。教育行政にかかる責任の明確化と首長と教育委員の両者の教育政策の連携の強化を意識した教育委員会改革に努める必要がある。
----	---

整理番号	426 - 0	(款)10教育費(項)1教育総務費(目)2事務局費(細目)403一般管理経費	決算書頁	307
------	---------	--	------	-----

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	53 将来を支える子どもたちが充実した教育を受けられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-01-02-403-01
	施策	5301 個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を推進する体制づくり	担当部署	部・課名等
事務事業名	事務局管理経費	教育委員会教育総務課	評価責任者・連絡先	課長 馬場 清 0595-47-1280

事務事業の概要	対象	委員会事務局		
	目的	教育行政推進のため安心して事務執行ができる環境を整える		
	内容	<p>教育委員会事務局の適正な管理に努めました。</p> <p>学校施設の小規模営繕業務対応のための嘱託職員任用</p> <p>教育委員会所管公用車(29台)の管理</p> <p>教育委員会所管施設及び備品の火災保険、損害保険加入</p> <p>廃校施設の管理</p> <p>全国都市教育長協議会・三重県都市教育長会等の負担金支出</p> <p>意育教育特区学校審議会の運営(8回)</p> <p>履修認定委員会の運営(4回)</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	3,757,200円	意育教育特区学校審議会委員報酬 186,000円 (延べ31人 8回開催)	
			履修認定委員会委員報酬 54,000円 (延べ7人 4回開催)	
			業務嘱託員報酬 3,517,200円	
	光熱水費	3,943,022円		
	その他事務経費	19,408,643円		
	計	27,108,865円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金	0	0	0	0		市有土地建物貸付収入 960,000円 義務教育施設整備基金利子 3,830円 電気ガス等使用料 152,925円
			地方債	0	0	0	0		
			その他	1,898	1,482	1,117	1,478		
			一般財源	15,506	16,439	25,992	14,972		
	合計(A)	17,404	17,921	27,109	16,450				
	人件費	正規職員	業務量	0.05 人	0.05 人	0.55 人	0.55 人		
			人件費	375	390	4,286	4,313		
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人		
			人件費						
小計(B)		375	390	4,286	4,313				
合計(A+B)	17,779	18,311	31,395	20,763					
市民1人当たりのコスト(円)			188	195	334	221			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	公用車事故の件数	損害保険を適用した事故の件数(飛び石等による自損含む)	件	目標		0	0
				実績	5	6	0
指標化できない成果			達成		-	-	

方向	充実	課題及び改善案	<p>廃校施設の管理経費の負担をなくすため、早期に利活用・処分検討を進める必要がある。</p> <p>小規模修繕対応嘱託職員は、処理対応の早さ、原材料のみでの修繕工事、学校長等との相談によるきめ細かな修繕対応ができており、相当効果的であることから、増員を検討したい。</p>
----	----	---------	---

整理番号
427 - 0

決算書頁
307

(款)10教育費(項)1教育総務費(目)2事務局費(細目)403一般管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	53	将来を支える子どもたちが充実した教育を受けられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度 01-10-01-02-403-51
	施策	5302	望ましい学校教育環境を提供する体制づくり	
	事務事業名	代替職員等雇用経費	担当 部署	部・課名等 教育委員会教育総務課 評価責任者・連絡先 課長 馬場 清 0595-47-1280

事務事業の概要	対象	学校給食、スクールバス運行、幼稚園運営に従事する臨時職員											
	目的	円滑な学校(園)の運営を図る。											
	内容	<p>学校給食調理員、スクールバス運転手等の代替雇用を行い、円滑な学校運営に努めました。</p> <p>(任用者数) 臨時職員(常勤) 調理員 24人 幼稚園教諭 4人 幼稚園養護教諭 1人 (非常勤) 調理員 43人 スクールバス運転手 7人</p>											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業務従事者賃金</td> <td>55,697,252円</td> <td>学校給食調理員等賃金及び幼稚園教諭等賃金</td> </tr> <tr> <td>共済費</td> <td>6,062,242円</td> <td>業務従事者保険料</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>61,759,494円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	業務従事者賃金	55,697,252円	学校給食調理員等賃金及び幼稚園教諭等賃金	共済費	6,062,242円	業務従事者保険料	計	61,759,494円
経費	金額	摘要											
業務従事者賃金	55,697,252円	学校給食調理員等賃金及び幼稚園教諭等賃金											
共済費	6,062,242円	業務従事者保険料											
計	61,759,494円												

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		直接事業費	国県支出金	0	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	62,909	68,044	61,760	70,552		
		合計(A)	62,909	68,044	61,760	70,552		
	人件費	正規職員	業務量	0.20 人	0.20 人	0.25 人	0.25 人	
人件費			1,498	1,559	1,948	1,961		
臨時・嘱託・再雇用職員		業務量	人	人	人	人		
		人件費						
		小計(B)	1,498	1,559	1,948	1,961		
		合計(A+B)	64,407	69,603	63,708	72,513		
		市民1人当たりのコスト(円)	678	739	676	772		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	給食等業務計画達成率		代替者の補充により、給食等の業務が当初の予定通りに実施できたか	%	目標	100	100	100
					実績	100	100	100
指標化できない成果			達成	100.0%	100.0%			

方向	改善	課題及び改善案	給食調理員や用務員・幼稚園教諭及びスクールバス運転手の欠員に対し早急に対応することで、現行の学校運営ができています。しかし、正規給食調理員の退職者不補充という状況の中、センター化による集中調理、また調理業務の民間委託といった改善が不可欠となっている。
----	----	---------	---

(款)10教育費(項)1教育総務費(目)2事務局費(細目)404奨学金等支給経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	53 将来を支える子どもたちが充実した教育を受けられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-01-02-404-51
	施策	5302 望ましい学校教育環境を提供する体制づくり	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	奨学金等支給経費	教育委員会教育総務課	課長 馬場 清 0595-47-1280

事務事業の概要	対象	経済的理由等により、高等学校及び大学等に修学の困難な生徒・学生											
	目的	教育の機会均等を保障し、人材を育成する。											
	内容	高等教育機関での教育機会を支援し、社会に貢献する人材を育成するため、奨学金を希望する高校生及び大学生等に支給しました。 伊賀市奨学金 (新規)26人 (継続)29人 計55人 支給額:4,133,000円 伊賀市同和奨学金 (新規)14人 (継続)21人 計35人 支給額:4,080,000円 伊賀市ササユリ奨学金 (新規)2人 (継続)5人 計7人 支給額:1,680,000円 選考委員会委員報酬 (同和・ササユリ) 54,000円 合計支給額:9,947,000円											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>54,000円</td> <td>同和奨学金支給選考委員会委員報酬 (5人、1回開催)</td> </tr> <tr> <td>奨学金</td> <td>9,893,000円</td> <td>ササユリ奨学金支給審査委員会委員報酬 (延べ4人、2回開催) 奨学金(55人) 同和奨学金(35人) ササユリ奨学金(7人)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9,947,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報酬	54,000円	同和奨学金支給選考委員会委員報酬 (5人、1回開催)	奨学金	9,893,000円	ササユリ奨学金支給審査委員会委員報酬 (延べ4人、2回開催) 奨学金(55人) 同和奨学金(35人) ササユリ奨学金(7人)	計	9,947,000円
経費	金額	摘要											
報酬	54,000円	同和奨学金支給選考委員会委員報酬 (5人、1回開催)											
奨学金	9,893,000円	ササユリ奨学金支給審査委員会委員報酬 (延べ4人、2回開催) 奨学金(55人) 同和奨学金(35人) ササユリ奨学金(7人)											
計	9,947,000円												

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	1,580	1,680	1,680	1,920		
	一般財源	8,508	10,884	8,267	9,364		
	合計(A)	10,088	12,564	9,947	11,284		
人件費	正規職員	業務量	0.20 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人	
		人件費	1,498	1,559	1,559	1,569	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	1,498	1,559	1,559	1,569		
合計(A+B)	11,586	14,123	11,506	12,853			
市民1人当たりのコスト(円)			122	150	123	137	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	年間継続受給率	伊賀市奨学金・伊賀市同和奨学金の中退者等を除く受給率	%	目標		100.0	100.0	100
				実績	98.9	98.9	100	
指標化できない成果			達成		98.9%	100.0%		

方向	改善	課題及び改善案	教育基本法第4条及び学校教育法第19条に、「経済的理由によって、修学が困難な者に対して、奨学の措置を講じなければならない。」としており、市独自の奨学金制度を維持している。今後、奨学生の「ふるさと居住」等の要件導入により、地域創生へ繋げる施策の検討も必要である。
----	----	---------	--

整理番号
429 - 0

決算書頁
309

(款)10教育費(項)1教育総務費(目)2事務局費(細目)405教職員住宅維持管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目		
	政策	53	将来を支える子どもたちが充実した教育を受けられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-01-02-405-01	
	施策	5302	望ましい学校教育環境を提供する体制づくり	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	教職員住宅維持管理経費		教育委員会教育総務課	課長 馬場 清 0595-47-1280	

事務事業の概要	対象	伊賀市立小中学校の教職員		
	目的	伊賀市へ赴任する教職員を確保する		
	内容	伊賀市教職員住宅の維持管理及び建設割賦金の償還を行いました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	公有財産購入費	12,920,474円	教職員住宅建設費割賦償還金	
	需用費	56,915円	光熱水費	
	負担金、補助及び交付金	20,218円	教職員住宅災害負担金	
	計	12,997,607円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	教職員住宅使用料 2,795,142円 教職員住宅共益費 361,039円	
		地方債	0	0	0	0		
		その他	3,252	3,252	3,157	3,252		
		一般財源	9,741	9,779	9,841	9,797		
		合計(A)	12,993	13,031	12,998	13,049		
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.20 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人		
		人件費	1,498	1,559	1,559	1,569		
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費						
		小計(B)	1,498	1,559	1,559	1,569		
合計(A+B)	14,491	14,590	14,557	14,618				
市民1人当たりのコスト(円)		153	155	155	156			

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
指標	入居率	%	目標	100	100	100
			実績	100	100	97.5
指標化できない成果			達成	100.0%	97.5%	

方向	改善	課題及び改善案	平成9年に2億あまりで建設し、割賦返済期間20年での家賃収入見込みは約5,700万である。教育環境の安定的確保のため、市が約1億5,000万円を支出した状況である。近い将来、リフォームの必要も生じることから、他施策である「空き家」の有効活用、あるいは、家賃の見直し等も考慮しながら、今後のあり方を検討したい。
----	----	---------	--

整理番号
430 - 0

決算書頁
309

(款)10教育費(項)1教育総務費(目)3義務教育振興費(細目)102一般管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	53	将来を支える子どもたちが充実した教育を受けられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-01-03-102-01
	施策	5301	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を推進する体制づくり		
	事務事業名	一般管理経費		担当 部署	部・課名等 教育委員会学校教育課 評価責任者・連絡先 課長 澤田 剛 0595-47-1282

事務事業の概要	対象	市内小中学校児童・生徒、幼稚園児																															
	目的	学校(園)経営において、マニフェスト評価、いじめ問題に取り組み、子どもたちが充実した教育を受けることができる。																															
	内容	<p>1. 各小中学校(園)に学校評議員、学校評価委員を配置し、家庭や地域と連携、協力しながら、地域や社会に開かれた学校づくりを推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員による校(園)長の経営に対する助言・協力 ・学校評価委員による学校関係者評価の実施 <p>2. 学校運営協議会の運営により、保護者と地域住民等の学校運営への参画を促し、学校、保護者、地域住民が一体となって心豊かで健やかな子どもたちの育成に取り組みました。</p> <p>3. 児童生徒や保護者からの相談を受け、いじめ、対人関係のトラブル等の問題の早期解決に資するため、いじめ問題相談員を配置しました。</p>																															
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th colspan="2">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>1,818,000円</td> <td>学校評議員報酬(97人)</td> <td>1,004,400円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>学校評価委員報酬(66人)</td> <td>669,600円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>学校運営協議会委員報酬(12人)</td> <td>144,000円</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>2,613,195円</td> <td>三重県公立小中学校校長会負担金</td> <td>1,209,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>ほか14件</td> <td>1,404,195円</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>2,468,371円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6,899,566円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要		報酬	1,818,000円	学校評議員報酬(97人)	1,004,400円			学校評価委員報酬(66人)	669,600円			学校運営協議会委員報酬(12人)	144,000円	負担金、補助及び交付金	2,613,195円	三重県公立小中学校校長会負担金	1,209,000円			ほか14件	1,404,195円	その他経費	2,468,371円			計	6,899,566円	
経費	金額	摘要																															
報酬	1,818,000円	学校評議員報酬(97人)	1,004,400円																														
		学校評価委員報酬(66人)	669,600円																														
		学校運営協議会委員報酬(12人)	144,000円																														
負担金、補助及び交付金	2,613,195円	三重県公立小中学校校長会負担金	1,209,000円																														
		ほか14件	1,404,195円																														
その他経費	2,468,371円																																
計	6,899,566円																																

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	77	0	129	0		
	一般財源	7,752	6,726	6,771	4,930		
	合計(A)	7,829	6,726	6,900	4,930		
	人件費	正規職員	業務量 0.06 人	0.06 人	0.06 人	0.06 人	
		人件費	450	468	468	471	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	450	468	468	471	
		合計(A+B)	8,279	7,194	7,368	5,401	
		市民1人当たりのコスト(円)	88	77	79	58	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	設置者による小中学校評価平均値(点)	教育委員による100点満点での学校評価の平均点	点	目標		85	85	85
				実績	83	78.1	81.7	
指標化できない成果			達成		91.9%	96.1%		

方向	継続	課題及び改善案	学校(園)の評価及び改善は継続して実施すべきことである。今後は評価で明らかになった課題について、地域に学校経営に参画してもらう仕組みの構築に取り組まなければならない。また、平成28年度からいじめ問題相談員の報酬については廃止し、ボランティアとして地域に協力を依頼している。
----	----	---------	--

整理番号	431 - 0	(款)10教育費(項)1教育総務費(目)3義務教育振興費(細目)102一般管理経費	決算書頁	309
------	---------	---	------	-----

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	53	将来を支える子どもたちが充実した教育を受けられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-01-03-102-02
	施策	5302	望ましい学校教育環境を提供する体制づくり	担当部署	部・課名等
事務事業名	学校保健管理経費		教育委員会学校教育課	課長 澤田 剛	0595-47-1282

事務事業の概要	対象	小中学校・幼稚園在(園)生及び教職員																																
	目的	児童・生徒・教職員の健康管理。在(園)中に発生した災害に対する災害給付を行う。																																
	内容	<p>小中学校・幼稚園在(園)生及び教職員を対象に健康診断を実施し、児童生徒・園児・教職員の健康管理に努めました。また、小中学校・幼稚園に在(園)する児童生徒・園児の在(園)中に発生した災害に対して給付を行うことにより、保護者の経済的負担を軽減し、学校教育を円滑に実施することができるように負担金を支出しました。また、健康診断後の指導区分、ストレスチェックを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心臓検診業務委託(小学校716人、中学校736人)委託先:(一財)三重県学校保健会 ・尿検査業務(尿検査延べ7,064人)委託先:(一財)滋賀保健研究センター ・教職員健康診断業務委託(200人)委託先:(一財)滋賀保健研究センター ・教職員胃がん検診業務委託(53人)(一財)滋賀保健研究センター ・教職員人間ドック指導区分決定業務委託料(延べ262人)委託先:上野市民病院、岡波病院、寺田病院 ・ストレスチェック(642人)委託先:公立学校共済組合 ・日本スポーツ振興センター負担金(小・中学校延べ5,856人、幼稚園148人) ・日本スポーツ振興センター災害共済負担金(災害発生件数 小学校368件、中学校342件) ・伊賀学校保健会負担金 ・よい歯のコンクール開催負担金 																																
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>5,617,063円</td> <td>心臓検診業務委託料</td> <td>2,038,608円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>尿検査業務委託料</td> <td>1,724,180円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>教職員健康診断、指導区分等委託料</td> <td>1,787,726円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>ストレスチェック オプション</td> <td>66,549円</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>13,369,239円</td> <td>日本スポーツ振興センター負担金</td> <td>6,332,075円</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>1,257,974円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>20,244,276円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要		委託料	5,617,063円	心臓検診業務委託料	2,038,608円			尿検査業務委託料	1,724,180円			教職員健康診断、指導区分等委託料	1,787,726円			ストレスチェック オプション	66,549円	負担金、補助及び交付金	13,369,239円	日本スポーツ振興センター負担金	6,332,075円	その他経費	1,257,974円			計	20,244,276円			
経費	金額	摘要																																
委託料	5,617,063円	心臓検診業務委託料	2,038,608円																															
		尿検査業務委託料	1,724,180円																															
		教職員健康診断、指導区分等委託料	1,787,726円																															
		ストレスチェック オプション	66,549円																															
負担金、補助及び交付金	13,369,239円	日本スポーツ振興センター負担金	6,332,075円																															
その他経費	1,257,974円																																	
計	20,244,276円																																	

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金	0	0	0	0		交付税算入のない、市単事業歳入(その他):日本スポーツ振興センター災害共済給付金
			地方債	0	0	0	0		
			その他	10,542	12,353	9,391	12,360		
			一般財源	12,829	11,856	10,854	11,920		
	合計(A)	23,371	24,209	20,245	24,280				
	人件費	正規職員	業務量	0.57 人	0.57 人	0.57 人	0.57 人		
			人件費	4,268	4,441	4,441	4,470		
			臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
				人件費					
小計(B)			4,268	4,441	4,441	4,470			
合計(A+B)	27,639	28,650	24,686	28,750					
市民1人当たりのコスト(円)			291	304	262	306			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	各種健康診断・検診の受診率	児童・生徒・教職員の健康診断、検診の受診割合	%	目標		100.0	100.0
				実績	99.9	99.9	99.9
指標化できない成果			達成		99.9%	99.9%	

方向	継続	課題及び改善案	教職員健康診断の指導区分の判定が実施できていなかったため、公立学校共済組合が実施している人間ドック事業の指導区分判定を、平成28年度から市が健康診断の指導区分の判定を行えるよう措置をとった。今後は市の健康診断の予算確保を図る必要がある。
----	----	---------	--

(款)10教育費(項)1教育総務費(目)3義務教育振興費(細目)408児童生徒指導経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	53 将来を支える子どもたちが充実した教育を受けられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-01-03-408-51
	施策	5302 望ましい学校教育環境を提供する体制づくり	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	教育振興一般経費	教育委員会学校教育課	課長 澤田 剛 0595-47-1282

事務事業の概要	対 象	市内小中学校児童生徒														
	目 的	交通事故発生件数や不審者からの被害が減少する。														
	内 容	<p>教育活動サポーターの配置・登下校安全サポート事業の委託・自転車ヘルメットの配付・「子どもSOSの家」旗及び注意喚起看板等の購入により、児童生徒の安全を確保しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校、幼稚園への教育活動サポーターの配置(47人) ・児童生徒の安全対策 <ul style="list-style-type: none"> 自転車用ヘルメットの配付(412個) 「子どもSOSの家」旗の作成(330本) 注意喚起看板(立看板「あぶない」)の作成(200枚) 登下校安全サポート事業の委託(市内10中学校区) 														
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>21,365,100円</td> <td>教育活動サポーター</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>1,284,660円</td> <td>中学生自転車通学用ヘルメット 880,308円 立看板「あぶない」 270,000円 旗「子どもSOSの旗」 114,048円 横断旗 20,304円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>7,110,441円</td> <td>児童生徒登下校安全サポート業務委託料 <small>委託先:伊賀市シルバー人材センター、鳥ヶ原地域まちづくり協議会</small></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>29,760,201円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報酬	21,365,100円	教育活動サポーター	消耗品費	1,284,660円	中学生自転車通学用ヘルメット 880,308円 立看板「あぶない」 270,000円 旗「子どもSOSの旗」 114,048円 横断旗 20,304円	委託料	7,110,441円	児童生徒登下校安全サポート業務委託料 <small>委託先:伊賀市シルバー人材センター、鳥ヶ原地域まちづくり協議会</small>	計	29,760,201円
経費	金額	摘要														
報酬	21,365,100円	教育活動サポーター														
消耗品費	1,284,660円	中学生自転車通学用ヘルメット 880,308円 立看板「あぶない」 270,000円 旗「子どもSOSの旗」 114,048円 横断旗 20,304円														
委託料	7,110,441円	児童生徒登下校安全サポート業務委託料 <small>委託先:伊賀市シルバー人材センター、鳥ヶ原地域まちづくり協議会</small>														
計	29,760,201円															

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	2	1	1	2		
	一般財源	26,364	26,622	29,760	20,885		
	合計(A)	26,366	26,623	29,761	20,887		
	人件費	正規職員	業務量 0.19 人	0.19 人	0.91 人	0.91 人	
		人件費	1,423	1,481	7,090	7,136	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	1,423	1,481	7,090	7,136	
		合計(A+B)	27,789	28,104	36,851	28,023	
		市民1人当たりのコスト(円)	293	299	391	299	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	交通事故発生件数前年度差	伊賀市内の小中学生の交通事故数の前年度との差	件	目標		-3	-3	-2
				実績	-5	5	-1	
指標化できない成果			達成		0.0%	33.3%		

方向	継続	課題及び改善案	児童生徒が減少する中で、今までのような通学団でまとまった登下校ができなくなっている。また、市内小中学生の交通事故数も増加している。このような状況の中で、登下校の安全確保を図らなければならない。しかし、予算の確保が難しい。
----	----	---------	--

(款)10教育費(項)1教育総務費(目)3義務教育振興費(細目)408児童生徒指導経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	53	将来を支える子どもたちが充実した教育を受けられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-01-03-408-52
	施策	5301	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を推進する体制づくり		
	事務事業名	不登校児童生徒支援事業		担当部署	部・課名等 教育委員会学校教育課 評価責任者・連絡先 課長 澤田 剛 0595-47-1282

事務事業の概要	対象	不登校になった児童生徒		
	目的	不登校になった児童生徒が「ふれあい教室」へ通級する、学校登校を再開する等、改善される。		
	内容	伊賀市教育研究センターふれあい教室において、以下の内容について実施しました。 1. 不登校児童生徒に対する適応指導活動 2. 児童・生徒及び保護者との教育相談活動 3. 不登校の実態把握 4. 教育相談に関わる教職員研修の企画及び開催		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	報酬	3,400,424円	ふれあい教室指導業務嘱託員報酬(2人)	
	共済費	510,414円	業務従事者共済費	
	報償費	2,711,000円	活動指導員謝礼等	
	その他事務経費	755,019円		
	計	7,376,857円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	155	0	0	0	
		一般財源	5,038	7,763	7,377	7,743	
		合計(A)	5,193	7,763	7,377	7,743	
	人件費	正規職員	業務量 0.95 人	0.95 人	0.95 人	0.95 人	
			人件費 7,113	7,402	7,402	7,449	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
			人件費				
		小計(B)	7,113	7,402	7,402	7,449	
		合計(A+B)	12,306	15,165	14,779	15,192	
		市民1人当たりのコスト(円)	130	161	157	162	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	不登校児童生徒の好ましい状況変化の割合	ふれあい教室における適応指導や教育相談活動によって改善に至った不登校児童生徒の割合。	%	目標		82	85	82
				実績	79.3	82	80	
指標化できない成果			達成		100.0%	94.1%		

方向	継続	課題及び改善案	不登校児童生徒について、学校間や校内で情報共有が不十分なケースや関係機関との連携が遅くなったケースがある。年間9回実施されている伊賀市校(園)長会議や生徒指導総合連携会議において、各機関の機能やより望ましい連携のあり方について周知する。
----	----	---------	--

(款)10教育費(項)1教育総務費(目)3義務教育振興費(細目)408児童生徒指導経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	53	将来を支える子どもたちが充実した教育を受けられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-01-03-408-53
	施策	5301	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を推進する体制づくり	担当 部署	部・課名等 教育委員会学校教育課
事務事業名	英語指導助手招へい経費		評価責任者・連絡先	課長 澤田 剛 0595-47-1282	

事務事業の概要	対 象	市内小中学校児童生徒		
	目 的	小中学校における英語教育及び国際理解教育の充実につながる。		
	内 容	<p>中学校英語指導助手(ALT)として、アメリカ(2人)・カナダ・イギリスから招へいし、計4人のALTが10中学校において英語科をはじめ各校の教育活動に参画しました。</p> <p>21小学校にネイティブスピーカー(英語を母国語として話す人)2人を派遣(5・6年各クラス17時間)し、アシスタントティーチャーとして外国語活動を支援しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	給料	13,958,250円	外国語指導助手給料(4人)	
	共済費	1,905,452円	外国語指導助手共済費(4人)	
	委託料	7,931,520円	小学校外国語指導支援者派遣委託 委託先:(株)アルティアセントラル	
	使用料及び賃借料	2,724,100円	外国語指導助手住宅借上料(4人)	
	その他事務経費	1,781,086円		
	計	28,300,408円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	住宅賃借料本人負担金	
		地方債	0	0	0		
		その他	1,429	1,444	1,446		1,198
		一般財源	26,687	26,764	26,855		19,964
		合計(A)	28,116	28,208	28,301		21,162
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.63 人	0.63 人	0.63 人	0.63 人	
		人件費	4,717	4,909	4,909	4,940	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	4,717	4,909	4,909	4,940	
合計(A+B)	32,833	33,117	33,210	26,102			
市民1人当たりのコスト(円)		346	352	353	278		

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
指標	中学校1クラスあたりのALT派遣日数	日	目標		11	11
			実績	10.2	10.2	11.1
指標化できない成果		達成		95.3%	100.9%	

方向	継続	課題及び改善案	今後も、各校での打ち合わせの時間を十分確保しながら、ALTと指導者が連携した授業を展開することができるようにする。平成32年度から本格実施の小学校「英語科」に向けての国の動向を注視していく。
----	----	---------	---

整理番号
435 - 0

決算書頁
311

(款)10教育費(項)1教育総務費(目)3義務教育振興費(細目)408児童生徒指導経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	53	将来を支える子どもたちが充実した教育を受けられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-01-03-408-54
	施策	5301	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を推進する体制づくり		
	事務事業名	キャリア教育推進事業		担当 部署	部・課名等 教育委員会学校教育課 評価責任者・連絡先 課長 澤田 剛 0595-47-1282

事務事業の概要	対 象	市内小中学校児童生徒														
	目 的	中学生が地元企業等で職場体験をすることで、自己の生き方や進路を見つめ直す。														
	内 容	1. 「自分発見！中学生・地域ふれあい事業」において、全10中学校で職場体験活動を実施しました。 2. 各学校における発達段階に応じた教育課程のあり方を研究しました。 3. 「伊賀市キャリア教育研修会」を開催し、企業側からみたやキャリア教育のあり方を示してもらい、連携の意義を再確認し、今後の方向性を示しました。														
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>750,000円</td> <td>中学生・地域ふれあい事業委託料 委託先: 崇広中学校区地域ふれあい事業推進委員会</td> </tr> <tr> <td></td> <td>300,000円</td> <td>ほか9中学校 なにわ商人体験事業推進委託料 委託先: 伊賀市なにわ商人体験事業実行委員会</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>50,000円</td> <td>伊賀市キャリア教育研修会講師謝金</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,100,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	750,000円	中学生・地域ふれあい事業委託料 委託先: 崇広中学校区地域ふれあい事業推進委員会		300,000円	ほか9中学校 なにわ商人体験事業推進委託料 委託先: 伊賀市なにわ商人体験事業実行委員会	報償費	50,000円	伊賀市キャリア教育研修会講師謝金	計	1,100,000円
経費	金額	摘要														
委託料	750,000円	中学生・地域ふれあい事業委託料 委託先: 崇広中学校区地域ふれあい事業推進委員会														
	300,000円	ほか9中学校 なにわ商人体験事業推進委託料 委託先: 伊賀市なにわ商人体験事業実行委員会														
報償費	50,000円	伊賀市キャリア教育研修会講師謝金														
計	1,100,000円															

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	810	800	1,100	1,160		
	合計(A)	810	800	1,100	2,270		
人件費	正規職員	業務量	0.17 人	0.17 人	0.17 人	0.17 人	
		人件費	1,273	1,325	1,325	1,333	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	1,273	1,325	1,325	1,333		
	合計(A+B)	2,083	2,125	2,425	3,603		
市民1人当たりのコスト(円)		22	23	26	39		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	自分の生き方や進路を深く見つめることが「大変できた」「できた」生徒	中学校の職場体験学習を通して、自分の進路や将来について考える機会になった生徒の割合	%	目標		87	88	88
				実績	85	87	87	
指標化できない成果			達成		100.0%	98.8%		

方向	継続 課題及び改善案 職場体験活動を行う小学校が増加しているが、小中学校の連携を欠いたまま実施している現状がなかなか解消しきれていない。 各中学校区別における各校のキャリア教育全体計画・年間指導計画での交流や調整を図る必要がある。
----	---

(款)10教育費(項)1教育総務費(目)3義務教育振興費(細目)408児童生徒指導経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	53	将来を支える子どもたちが充実した教育を受けられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-01-03-408-55
	施策	5301	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を推進する体制づくり		
	事務事業名	外国人児童生徒支援事業		担当 部署	部・課名等 教育委員会学校教育課 評価責任者・連絡先 課長 澤田 剛 0595-47-1282

事務事業の概要	対 象	市内の外国人児童生徒とその保護者																		
	目 的	日本語指導や学習指導を行うことで、学習が保障され、外国人児童生徒が将来に展望を持つ。																		
	内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 初期適応指導教室(チャレンジ教室)の運営を行いました。 2. 「外国人児童生徒と保護者のための進路ガイダンス」を実施しました。 3. 日本語指導者研修会を実施しました。 4. 日本語指導コーディネーターを派遣しました。 5. 巡回相談員を派遣しました。 6. 外国人児童生徒日本語指導補助員を配置しました。 7. 教育相談、保護者への説明の際の通訳派遣、翻訳支援を行いました。 																		
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>賃金</td> <td>4,629,144円</td> <td>外国人児童生徒日本語指導補助員賃金(3人)</td> </tr> <tr> <td>共済費</td> <td>741,514円</td> <td>業務従事者共済費</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>4,253,370円</td> <td>外国語通訳謝礼・初期適応教室指導協力員謝礼等</td> </tr> <tr> <td>その他事務経費</td> <td>204,106円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9,828,134円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	賃金	4,629,144円	外国人児童生徒日本語指導補助員賃金(3人)	共済費	741,514円	業務従事者共済費	報償費	4,253,370円	外国語通訳謝礼・初期適応教室指導協力員謝礼等	その他事務経費	204,106円		計	9,828,134円	
経費	金額	摘要																		
賃金	4,629,144円	外国人児童生徒日本語指導補助員賃金(3人)																		
共済費	741,514円	業務従事者共済費																		
報償費	4,253,370円	外国語通訳謝礼・初期適応教室指導協力員謝礼等																		
その他事務経費	204,106円																			
計	9,828,134円																			

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国庫支出金	3,201	2,451	2,422	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	9,082	10,321	7,407	7,782		
	合計(A)	12,283	12,772	9,829	10,072		
	人件費	正規職員	業務量 0.67 人	0.67 人	0.67 人	0.67 人	
		人件費	5,017	5,220	5,220	5,254	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	5,017	5,220	5,220	5,254	
		合計(A+B)	17,300	17,992	15,049	15,326	
		市民1人当たりのコスト(円)	182	191	160	164	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	高校進学率		進路ガイダンスを開催することにより、将来に展望をもち、高校に進学する。	%	目標	90	95	90
					実績	86.6	86.7	82.1
	指標化できない成果			達成	96.3%	86.4%		

方向	<p>継続</p> <p>課題及び改善案</p> <p>これまで補助を受けてきた県の事業が打ち切りとなり、進路ガイダンスに係る費用やJSLカリキュラムについての講師招聘するための費用を全額市で負担する事態となった。市内小中学校の外国人児童生徒数やこれまでの成果から考え早急に予算を増額する必要がある。</p>
----	---

(款)10教育費(項)1教育総務費(目)3義務教育振興費(細目)408児童生徒指導経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	53	将来を支える子どもたちが充実した教育を受けられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-01-03-408-57
	施策	5301	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を推進する体制づくり		
	事務事業名	人権同和教育推進事業		担当部署	部・課名等 教育委員会学校教育課
				評価責任者・連絡先 課長 澤田 剛 0595-47-1282	

事務事業の概要	対象	全小中学校児童・生徒、全幼小中学校(園)教職員		
	目的	部落問題をはじめあらゆる差別をなくす取組や、教職員の人権・同和教育に対する正しい認識を深める。		
	内容	<p>1. 各学校(園)において、伊賀市人権同和教育基本方針に基づいた研究課題にそって、研究テーマを設定し、人権・同和教育の研究と実践を行いました。</p> <p>2. 幼稚園・小中学校全教職員で学校人権・同和教育部会を組織し、全市的に人権・同和教育の研究と推進を行いました。(伊賀市学校人権・同和教育部会研究事業)</p> <p>①授業交流会(10月21日柘植小学校、11月1日阿山小学校、11月14日阿山中学校、2月7日上野西小学校)</p> <p>②部落問題を考える小学生(11月29日参加者:参加者:児童99名)及び中学生の集い12月1日参加者:生徒60名)</p> <p>③教職員研修(人権・同和教育推進委員研修会6月17日、1月19日)など</p>		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	報償費	1,177,900円	人権教育研究推進事業 霊峰中学校区講師謝礼 589,000円 学校人権同和教育部研究事業講師謝礼 508,000円 子ども支援ネットワーク構築事業講師謝礼 80,900円	
	委託料	2,151,000円	伊賀市学校人権同和教育部研究事業委託料	
	その他経費	180,100円	人権教育研究推進事業用事業用消耗品 141,000円 学校人権同和教育部研究事業用消耗品 他 39,100円	
	計	3,509,000円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	820	850	850	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	2,790	2,835	2,659	2,850		
	合計(A)	3,610	3,685	3,509	3,760		
	人件費	正規職員	業務量 1.28 人	1.28 人	1.28 人	1.28 人	
		人件費	9,584	9,973	9,973	10,037	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	9,584	9,973	9,973	10,037		
	合計(A+B)	13,194	13,658	13,482	13,797		
	市民1人当たりのコスト(円)	139	145	144	147		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	人権・同和教育の推進を「十分図れた」「図れた」学校数	学校自己評価、保護者評価による割合がともに80%以上の学校	校	目標		32	31	31
				実績	35	32	31	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	この事業が伊賀市の学校教育の根幹に関わるものであり、子どもを取り巻く状況においても差別事象やいじめ等が起きていることから、「伊賀市人権同和教育基本方針」に基づき、学校(園)において今後も積極的に人権同和教育を展開することは重要である。
----	----	---------	---

(款)10教育費(項)1教育総務費(目)3義務教育振興費(細目)408児童生徒指導経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	53	将来を支える子どもたちが充実した教育を受けられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-01-03-408-58	
	5301	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を推進する体制づくり			
事務事業名	学力向上推進事業	担当部署	部・課名等 教育委員会学校教育課	評価責任者・連絡先	課長 澤田 剛 0595-47-1282

事務事業の概要	対 象	市内全小中学校児童生徒		
	目 的	標準学力検査を実施し、結果分析、校内研修を充実させ、分かる授業づくりに努め、学力向上につなげる。		
	内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小学校5年生児童、中学校2年生で標準学力検査(NRT)を実施しました。 2. 伊賀市学力向上プロジェクト委員会を開催しました。 3. 各校での学力向上アクションプランの作成・実行・評価・改善のサイクルを定着させました。 4. 標準授業時数の確保を図りました。 5. 学力向上支援事業(市費)の充実を図りました。 6. 全国学力・学習状況調査(国費)を実施しました。 7. 「家庭学習・読書のすすめ」を作成し、小1生・中1生に配付しました。 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報償費	80,000円	学力向上プロジェクト委員会謝礼	
消耗品費	1,073,820円	学力検査用紙代 340円×2,883枚 980,220円 事業用消耗品		
印刷製本費	199,367円	いがっこ家庭学習・読書のすすめ(小・中)		
計		1,353,187円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	2,413	1,326	1,354	2,667	
		合計(A)	2,413	1,326	1,354	2,667	
	人件費	正規職員	業務量 1.15 人	1.15 人	1.15 人	1.15 人	
		人件費	8,611	8,960	8,960	9,018	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	8,611	8,960	8,960	9,018	
		合計(A+B)	11,024	10,286	10,314	11,685	
		市民1人当たりのコスト(円)	116	110	110	125	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	学力検査における市内小中学校の平均点の全国比		全国平均を100として、どの教科も全国平均を上回ることを指標とする。	%	目標		107	107
					実績	100	105	100
指標化できない成果				達成		98.1%	93.4%	

方向	<p>継続</p> <p>課題及び改善案</p> <p>成果指標の数値でみると、児童生徒の学力はやや上がっているものの、目標には至っていない。児童生徒の学力の定着状況を把握・分析し、明らかになった課題を基に授業改善を行うとともに、学力向上プロジェクト委員会の機能を充実させ、教職員研修体制の充実に努める必要がある。</p>
----	--

整理番号
439 - 0

決算書頁
311

(款)10教育費(項)1教育総務費(目)3義務教育振興費(細目)408児童生徒指導経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	53	将来を支える子どもたちが充実した教育を受けられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-01-03-408-59
	施策	5301	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を推進する体制づくり	担当 部署	部・課名等 教育委員会学校教育課
	事務事業名	特別支援教育充実事業		評価責任者・連絡先	課長 澤田 剛 0595-47-1282

事務事業の概要	対 象	支援を必要とする児童生徒																																			
	目 的	個々のニーズにあった教育を受けることができる。																																			
	内 容	1. 生活学習支援員、特別支援教育支援員を配置し、児童生徒のニーズにあった支援を行う体制を作りました。 2. 児童生徒の正しい理解のために専門機関による巡回相談を実施し、適切な支援につなげました。																																			
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th colspan="2">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>102,000円</td> <td>就学指導委員会委員報酬(3人)</td> <td>18,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>就学指導委員会診断委員報酬</td> <td>84,000円</td> </tr> <tr> <td>賃金</td> <td>51,780,014円</td> <td>生活学習支援員賃金(47人)</td> <td>50,489,414円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>特別支援教育支援員賃金(1人)</td> <td>1,290,600円</td> </tr> <tr> <td>共済費</td> <td>7,182,347円</td> <td>業務従事者共済費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>1,440,000円</td> <td>事業推進報償費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他事務経費</td> <td>169,096円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>60,673,457円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要		報酬	102,000円	就学指導委員会委員報酬(3人)	18,000円			就学指導委員会診断委員報酬	84,000円	賃金	51,780,014円	生活学習支援員賃金(47人)	50,489,414円			特別支援教育支援員賃金(1人)	1,290,600円	共済費	7,182,347円	業務従事者共済費		報償費	1,440,000円	事業推進報償費		その他事務経費	169,096円			計	60,673,457円	
経費	金額	摘要																																			
報酬	102,000円	就学指導委員会委員報酬(3人)	18,000円																																		
		就学指導委員会診断委員報酬	84,000円																																		
賃金	51,780,014円	生活学習支援員賃金(47人)	50,489,414円																																		
		特別支援教育支援員賃金(1人)	1,290,600円																																		
共済費	7,182,347円	業務従事者共済費																																			
報償費	1,440,000円	事業推進報償費																																			
その他事務経費	169,096円																																				
計	60,673,457円																																				

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	62,014	66,215	60,674	62,113	
		合計(A)	62,014	66,215	60,674	62,113	
	人件費	正規職員	業務量	1.20 人	1.20 人	1.20 人	1.20 人
人件費			8,985	9,350	9,350	9,410	
臨時・嘱託・再雇用職員		業務量	人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	8,985	9,350	9,350	9,410	
		合計(A+B)	70,999	75,565	70,024	71,523	
		市民1人当たりのコスト(円)	747	802	743	761	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	生活学習支援員・特別支援教育支援員配置		多様な困り感を持つ子どものニーズに応えられるよう支援の補助として適正配置を行う。	人	目標		39	39
					実績	39	40.5	40.5
指標化できない成果	特別支援教育の指導内容		達成		105.1%	105.1%		

方向	継続 課題及び改善案 年々、発達に課題があり、支援を要する児童生徒は増加している。児童生徒の教育的ニーズに応じた取組が進んできているが、児童生徒一人ひとりの多様な課題に応えられるよう、より適切な支援が必要である。関係機関との連携により巡回相談や検査等を積極的に行い、児童生徒一人ひとりの多様な課題に対応できるよう適切な支援体制の整備の充実を目指していく。
----	--

整理番号
440 - 0

決算書頁
311

(款)10教育費(項)1教育総務費(目)3義務教育振興費(細目)408児童生徒指導経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	53	将来を支える子どもたちが充実した教育を受けられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-01-03-408-61
	施策	5301	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を推進する体制づくり		
	事務事業名	生徒指導推進事業		担当 部署	部・課名等 教育委員会学校教育課 評価責任者・連絡先 課長 澤田 剛 0595-47-1282

事務事業の概要	対象	市内小中学校の児童生徒及び保護者等																											
	目的	児童生徒が不安や悩みを軽減したり解消したりする支援ができ、心の安定が図られる。																											
	内容	1. 各学校において、家庭訪問、巡視・補導、関連機関との連携・対応、捜査活動等の生徒指導活動に取り組むとともに、教育相談体制・生徒指導体制を整備し、教育相談員等と連携しながら問題行動の早期発見・早期の対応や未然防止に取り組みました。 2. スクール・ソーシャル・ワーカーを2人配置しました。 3. 全小中学校で学級満足度調査(Q-U調査)を試行し、調査の方法・活用等の理解を図りました。 4. 全学校にいじめ問題相談員を配置し、地域においてもいじめ問題に相談できる体制を作りました。																											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>575,750円</td> <td>スクール・ソーシャル・ワーカー嘱託報酬</td> <td>539,750円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>いじめ問題対策連絡協議会</td> <td>36,000円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>1,185,640円</td> <td>教育相談員謝礼</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>858,551円</td> <td>学級満足度調査(Q-U調査) 他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他事務経費</td> <td>14,940円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,634,881円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要		報酬	575,750円	スクール・ソーシャル・ワーカー嘱託報酬	539,750円			いじめ問題対策連絡協議会	36,000円	報償費	1,185,640円	教育相談員謝礼		消耗品費	858,551円	学級満足度調査(Q-U調査) 他		その他事務経費	14,940円			計	2,634,881円	
経費	金額	摘要																											
報酬	575,750円	スクール・ソーシャル・ワーカー嘱託報酬	539,750円																										
		いじめ問題対策連絡協議会	36,000円																										
報償費	1,185,640円	教育相談員謝礼																											
消耗品費	858,551円	学級満足度調査(Q-U調査) 他																											
その他事務経費	14,940円																												
計	2,634,881円																												

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		直接事業費	国県支出金	0	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	1,799	2,029	2,635	4,171		
		合計(A)	1,799	2,029	2,635	4,171		
	人件費	正規職員	業務量	0.85 人	0.85 人	0.85 人	0.85 人	
人件費			6,364	6,623	6,623	6,665		
臨時・嘱託・再雇用職員		業務量	人	人	人	人		
		人件費						
		小計(B)	6,364	6,623	6,623	6,665		
		合計(A+B)	8,163	8,652	9,258	10,836		
		市民1人当たりのコスト(円)	86	92	99	116		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	小中学校における問題発生件数	小中学校における暴力行為等の問題行動発生件数	件	目標		35	30	33
				実績	31	39	32	
指標化できない成果	学級満足度調査(Q-U調査)における直接的な問題行動の減少数。	達成		89.7%	93.7%			

方向	継続 楽しい学校生活を送ることができるようにするための「学級満足度調査」(Q-U調査)の結果や、日常の児童生徒の状況を踏まえ、一人ひとりの課題を把握し、問題行動の未然防止に努めていく。
----	--

(款)10教育費(項)1教育総務費(目)3義務教育振興費(細目)408児童生徒指導経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	53 将来を支える子どもたちが充実した教育を受けられるまちづくり	平成 27 年度～平成 28 年度	01-10-01-03-408-82
	施策	5301 個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を推進する体制づくり	担当部署	部・課名等 教育委員会学校教育課
事務事業名	学校(園)マニフェスト推進事業		評価責任者・連絡先	課長 澤田 剛 0595-47-1282

事務事業の概要	対象	市内小中学校児童生徒																			
	目的	学力の形成、人権尊重の精神と豊かな感性、社会的・職業的自立に必要な能力や態度を育てる。																			
	内容	1. 各小中学校における学力向上推進事業 2. 各小中学校における人権同和教育研究事業 3. 各小中学校におけるキャリア形成事業 の三事業を実施し、各小中学校長が作成する「学校マニフェスト」の実現を図りました。																			
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>4,371,838円</td> <td>事業推進報償費(研修会講師謝金)</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>3,305,277円</td> <td>消耗品費 3,300,877円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">役務費</td> <td rowspan="3">205,837円</td> <td>食糧費 4,400円</td> </tr> <tr> <td>通信運搬費 13,938円</td> </tr> <tr> <td>手数料 864円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>543,647円</td> <td>傷害保険料 191,035円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8,426,599円</td> <td>自動車借上料、会場借上料等</td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報償費	4,371,838円	事業推進報償費(研修会講師謝金)	需用費	3,305,277円	消耗品費 3,300,877円	役務費	205,837円	食糧費 4,400円	通信運搬費 13,938円	手数料 864円	使用料及び賃借料	543,647円	傷害保険料 191,035円	計	8,426,599円
経費	金額	摘要																			
報償費	4,371,838円	事業推進報償費(研修会講師謝金)																			
需用費	3,305,277円	消耗品費 3,300,877円																			
役務費	205,837円	食糧費 4,400円																			
		通信運搬費 13,938円																			
		手数料 864円																			
使用料及び賃借料	543,647円	傷害保険料 191,035円																			
計	8,426,599円	自動車借上料、会場借上料等																			

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	9,012	8,789	8,427			
	合計(A)	9,012	8,789	8,427	0		
人件費	正規職員	業務量	0.42 人	0.40 人	0.40 人	人	
		人件費	3,145	3,117	3,117	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	3,145	3,117	3,117	0		
合計(A+B)	12,157	11,906	11,544	0			
市民1人当たりのコスト(円)			128	127	123	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	「人の役に立つ人間になりたい」と思える児童生徒	地域に誇りが持て、自分に自信が持てる児童生徒の育成に取り組む。	%	目標		95	96	
				実績	93.6	94.6	95.2	
指標化できない成果			達成		100.0%	99.2%		

方向	完了	課題及び改善案	各小中学校が地域の協力を得て、「学力の向上」「人権同和教育の充実」「キャリア教育の推進」を進めることは、伊賀市が目指す教育の根幹であり、市民に望まれている。今後は、学校と地域がより連携を深め、学校マニフェストを推進していく事業に深化していく必要がある。
----	----	---------	--